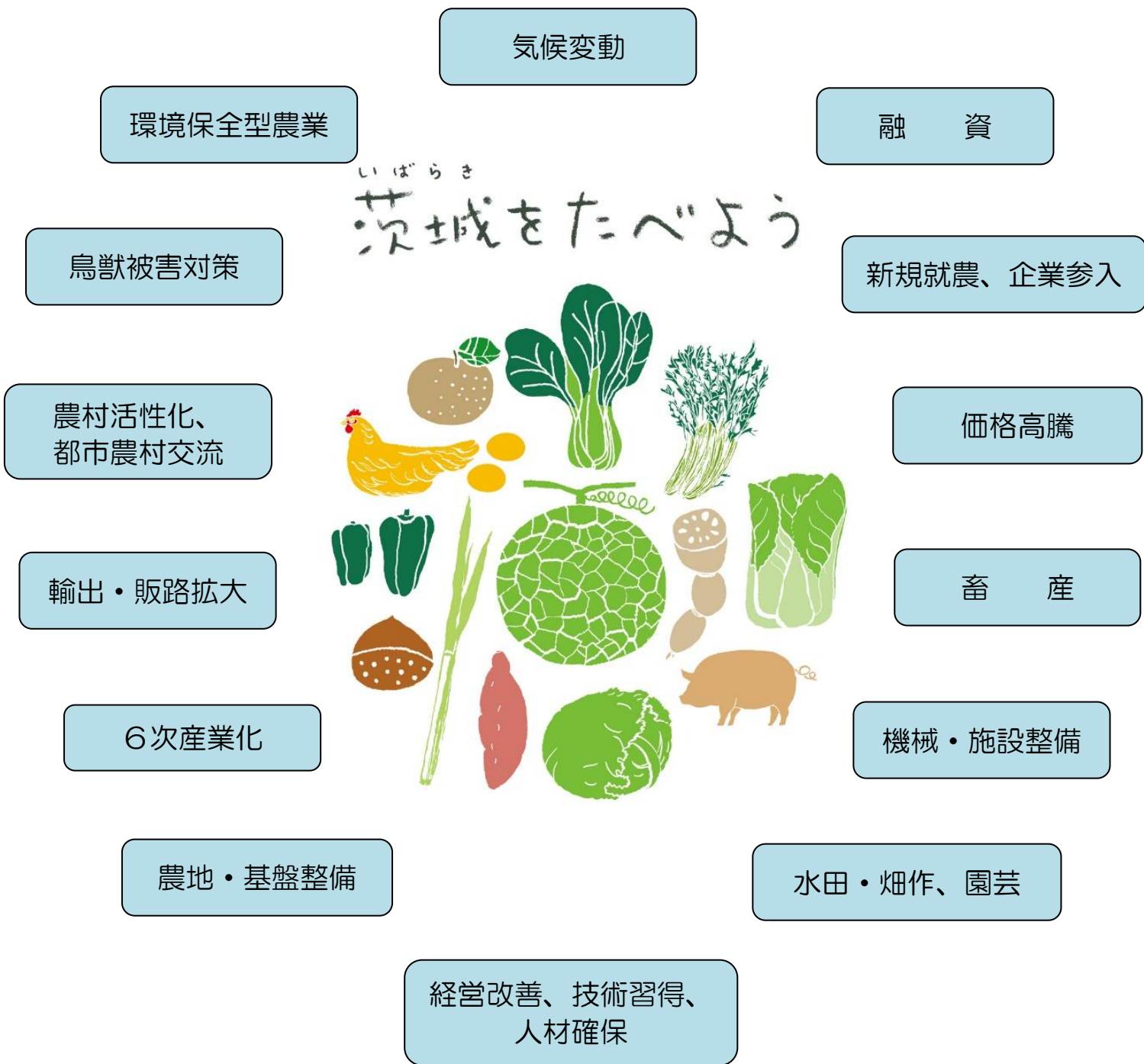


農業者、農業団体の皆様へ

令和8年度農業者等 支援施策活用ガイドブック



ご利用者の皆様へ

1 はじめに

本ガイドブックは、令和8年度に茨城県が儲かる農業の実現に向け、農業者や農業団体、新規就農をお考えの方などを対象として、取り組む融資や補助事業などの各種支援事業を紹介したものです。

茨城で農業を営む皆様の経営改善や、茨城で農業を始めたいとお考えの皆様の役に立つよう取りまとめましたので、ご活用ください。

2 凡例

| | |
|----------------|---------------------------|
| 気候変動 | …気候変動に対応する施設整備や技術導入に対する支援 |
| 価格高騰 | …飼料・肥料の自給化や農産物の価格転嫁に対する支援 |
| 水田・畑作、園芸 | …水田・畑作、園芸に対する支援 |
| 畜産 | …畜産業に対する支援 |
| 機械・施設整備 | …農業用機械・設備の購入や整備などに対する支援 |
| 融資 | …融資による支援 |
| 農地・基盤整備 | …農業基盤などの整備・保全に対する支援 |
| 新規就農、企業参入 | …担い手確保や新規就農、企業参入などに対する支援 |
| 経営改善、技術習得、人材確保 | …農業経営や技術習得に対する支援 |
| 6次産業化 | …6次産業化に対する支援 |
| 輸出・販路拡大 | …農産物等の販売や輸出などに対する支援 |
| 農村活性化、都市農村交流 | …農村の活性化や都市農村交流に対する支援 |
| 鳥獣被害対策 | …鳥獣被害対策に対する支援 |
| 環境保全型農業 | …農業環境の保全に対する支援 |

3 注意点

- ・補助要件は取組内容によって異なります。詳細は問合せ先にご確認ください。
- ・掲載内容は令和8年4月時点の情報でまとめており、年度途中で変更される場合や募集期間外の場合もあるため、最新の情報は問合せ先にご確認ください。

分類別事業一覧

| 分類 | 目的 | 事業名 | 主な対象者 | | | | | | ページ | |
|----------|------------------------------------|---|-------|-------|-------|------------|--------|-------|-----|-----|
| | | | 農業者 | 新規就農者 | 農業者組織 | 農協・協議会・公社等 | 地方公共団体 | 民間団体等 | | その他 |
| 気候変動 | 施設での園芸品目の高温対策に取り組みたい | 園芸産地高温対策事業 | ○ | ○ | ○ | | | | 1 | |
| | 環境にやさしい栽培技術又は気候変動適応対策と省力化技術に取り組みたい | 茨城県グリーンな栽培体系加速化事業 | | | | ○ | | | 2 | |
| | ハウスの補強や防風ネットを設置して災害に備えたい | 農業用ハウス強靱化緊急対策事業 (国：園芸産地における事業継続強化対策) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | 3 | |
| | 暑熱環境下でも家畜が快適に過ごせる環境づくりがしたい | 畜舎暑熱対策支援事業 | ○ | ○ | | | | | 4 | |
| 価格高騰 | 施設園芸等で燃料価格高騰に対する支援を受けたい | 施設園芸等燃料価格高騰対策 | | | ○ | ○ | | ○ | 5 | |
| | 国産飼料の利用を拡大したい | 飼料国内自給化緊急対策事業 | ○ | | ○ | ○ | | ○ | 6 | |
| | 国産飼料を増産し、利用を拡大したい | 国産飼料生産・利用拡大緊急対策事業 | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | 7 | |
| | 良質な飼料を生産したい | 飼料生産基盤立脚型酪農・肉用牛産地支援事業 | ○ | | ○ | ○ | ○ | | 8 | |
| | 良質な堆肥を地域で利用したい | 畜産堆肥循環型農業団地形成モデル事業 | ○ | | ○ | | | | 9 | |
| 水田・畑作、園芸 | 施設園芸等で燃料価格高騰に対する支援を受けたい | 施設園芸等燃料価格高騰対策〔再掲〕 | | | ○ | ○ | | ○ | 5 | |
| | 持続可能な地酒づくりに向け、酒造好適米の生産振興を図りたい | いばらきの酒米生産振興緊急支援事業 | ○ | ○ | | | | | 10 | |
| | 新たに米のブランド化に取り組みたい | いばらきの米トップランナー産地拡大事業 | ○ | | ○ | | | | 11 | |
| | 国内外の需要に対応するため枝物の生産体制を強化したい | いばらきの枝物トップランナー産地拡大事業 | ○ | ○ | ○ | | | | 12 | |
| | 果樹園の新植・改植をしたい | 果樹経営支援対策事業、果樹先導的取組支援事業、果樹未収益期間支援事業 | ○ | ○ | | | | ○ | 13 | |
| | 花きの生産、流通、需要の拡大に係る課題を一体的に解決したい | ジャパンフラワー強化プロジェクト推進事業 | | | ○ | | | ○ | ○ | 14 |
| | 老朽化した共同利用施設の再編集約・合理化を進めたい | いばらき共同利用施設再編集約・合理化支援事業 | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 15 |
| | 有機農業による付加価値向上に取り組みたい | いばらき有機農業トップランナー事業 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 16 |
| | みどりの食料システムに向けて環境にやさしい取組を進めたい | みどりの食料システム戦略推進事業 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | 19 |
| | 施設での園芸品目の高温対策に取り組みたい | 園芸産地高温対策事業〔再掲〕 | ○ | ○ | ○ | | | | | 1 |
| | 環境にやさしい栽培技術又は気候変動適応対策と省力化技術に取り組みたい | 茨城県グリーンな栽培体系加速化事業〔再掲〕 | | | | ○ | | | | 2 |
| | 良質な堆肥を地域で利用したい | 畜産堆肥循環型農業団地形成モデル事業〔再掲〕 | ○ | | ○ | | | | | 9 |

| 分類 | 目的 | 事業名 | 主な対象者 | | | | | | ページ | |
|----------------|-----------------------------------|---|-------|-------|-------|------------|--------|-------|-----|-----|
| | | | 農業者 | 新規就農者 | 農業者組織 | 農協・協議会・公社等 | 地方公共団体 | 民間団体等 | | その他 |
| 農地・基盤整備 | 遊休農地を解消して営農をしたい | 遊休農地解消対策事業 | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | 56 |
| | 農地を貸出したい（農地を貸す方等への支援） | 農地集積総合支援事業（農地集約化促進事業（旧機構集積協力金交付事業）） | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | 57 |
| | 農地の耕作条件の改善や農業用排水施設の長寿命化を図りたい | 耕作条件改善事業 | | | ○ | ○ | ○ | | | 58 |
| | 畦畔除去等の簡易な整備により農地の大区画化を図りたい | 大区画化加速化支援事業 | ○ | | ○ | ○ | ○ | | | 59 |
| | 地域共同で農地・農業用水や地域環境を守りたい | 多面的機能支払交付金 | ○ | ○ | ○ | | | | | 60 |
| | 農村の生活環境を改善したい | 農業集落排水施設接続支援事業（森林湖沼環境税活用） | | | | | ○ | | | 61 |
| | 畑地かんがいを活用した営農をしたい | 畑地かんがい営農確立普及事業 | | | | ○ | ○ | ○ | | 62 |
| | 水田を畑地化して、稲作営農から野菜などの高収益作物営農へ転換したい | 水田畑地化推進事業 | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | 63 |
| | 生産条件が不利な地域での営農を支援したい | 中山間地域農業基盤整備促進事業 | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | 64 |
| | 水田や畑を整備したい、古くなった土地改良施設を直したい | 県単土地改良事業 | | | | ○ | ○ | ○ | | 65 |
| 新規就農、企業参入 | 農業に関する先進的な知識や技術を学びたい | いばらき農業アカデミー事業 | ○ | ○ | | | | | | 66 |
| | 新規就農に関する相談をしたい | 新規就農相談センター事業 | ○ | ○ | | | | | ○ | 68 |
| | 新たに農業を始めたい・地域に新規就農者を呼び込みたい | 新規就農総合支援事業（就農準備資金、経営開始資金、経営発展支援事業、新規就農者誘致環境整備事業、新規就農者チャレンジ事業） | | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | 69 |
| | 農業経営に関する相談をしたい | 農業参入等支援センター事業 | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | 72 |
| | 新たに雇用した従業員を対象に農業技術等についての研修をしたい | 雇用就農資金 | ○ | | | | | ○ | ○ | 73 |
| | 商工業を営んでいるが農業にも参入するので融資を利用したい | 茨城県農業ビジネス保証制度 | | | | | | ○ | | 75 |
| | 繁殖和牛経営を学びたい | 新規繁殖和牛経営入門講座〔再掲〕 | ○ | ○ | | | | | | 34 |
| 経営改善、技術習得、人材確保 | 農業に関する先進的な知識や技術を学びたい | いばらき農業アカデミー事業〔再掲〕 | ○ | ○ | | | | | | 66 |
| | 地域資源の活用による付加価値創出を通じて経営改善を図りたい | 農山漁村振興交付金（地域資源活用価値創出対策のうち地域資源活用・地域連携都道府県サポート事業）（相談窓口） | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | 76 |
| | GAP認証の取組に係る支援を受けたい | 茨城県GAP推進事業（GAP認証取得支援アドバイザーの派遣） | ○ | ○ | ○ | | | | | 77 |
| | 農業経営に関する相談をしたい | 農業参入等支援センター事業〔再掲〕 | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | 72 |
| | 外国人材が農業に必要な資格を習得することを支援したい | 農業労働力確保総合支援対策事業（茨城県外国人農業労働力確保支援事業費補助金） | ○ | | | | | ○ | ○ | 78 |
| | 農福連携に取り組んでみたい | 農福連携推進事業 | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | 79 |
| | 長期・低利な融資に借り換えたい | 畜産リノベ資金・酪肉支援資金〔再掲〕 | ○ | | | | | | | 42 |

| 分類 | 目的 | 事業名 | 主な対象者 | | | | | | ページ |
|--------------|------------------------------------|--|-------|-------|-------|------------|--------|-------|-----|
| | | | 農業者 | 新規就農者 | 農業者組織 | 農協・協議会・公社等 | 地方公共団体 | 民間団体等 | |
| 6次産業化 | 6次産業化に取り組むために商品開発や施設整備を行いたい | 農山漁村振興交付金（地域資源活用価値創出対策のうち地域資源活用価値創出推進支援事業、地域資源活用価値創出整備事業（産業支援型））〔再掲〕 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 49 |
| | 農産物の付加価値向上に取り組みたい | 6次産業化総合支援事業（アグリビジネス講座の開催） | ○ | ○ | ○ | | | ○ | 80 |
| | 加工食品を開発したい | 6次産業化総合支援事業（6次産業化オープンラボラトリーの設置） | ○ | ○ | ○ | | | ○ | 81 |
| | 地域資源の活用による付加価値創出を通じて経営改善を図りたい | 農山漁村振興交付金（地域資源活用価値創出対策のうち地域資源活用・地域連携都道府県サポート事業）（相談窓口）〔再掲〕 | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | 76 |
| 輸出・販路拡大 | 有機農業による付加価値向上に取り組みたい | いばらき有機農業トップランナー事業〔再掲〕 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 16 |
| | 輸出先国の規制に対応した食品加工施設を整備したい | 茨城県食品産業の輸出向けHACCP等対応施設整備事業〔再掲〕 | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | 53 |
| | 輸出に向けた産地づくりを行いたい | いばらき大規模輸出産地モデル形成等支援事業 | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | 82 |
| | 農産物等の販路開拓に取り組みたい | 販路開拓チャレンジ事業（首都圏等向け販路開拓に対する支援） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 83 |
| | 農産物等を輸出したい | いばらきグローバルビジネス推進事業（いばらきグローバルビジネス推進協議会） | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | 84 |
| | GAP認証の取組に係る支援を受けたい | 茨城県GAP推進事業（GAP認証取得支援アドバイザーの派遣）〔再掲〕 | ○ | ○ | ○ | | | | 77 |
| 農村活性化・都市農村交流 | 都市農村交流により地域を活性化したい | 農山漁村振興交付金（地域資源活用価値創出対策のうち、地域資源活用価値創出推進事業（地域活性化型）、地域資源活用価値創出推進・整備事業（農泊推進型）） | | | | ○ | ○ | ○ | 85 |
| | 地域間交流の促進等により農山漁村の活性化を図りたい | 農山漁村振興交付金（地域資源活用価値創出対策のうち、地域資源活用価値創出整備事業（定住促進・交流対策型）） | | | ○ | | ○ | | 87 |
| | 市民農園を開設したい | 市民農園開設支援 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 88 |
| | 農家民宿を開設したい | 農家民宿開設支援 | ○ | | | | | ○ | 89 |
| | 未利用資源の活用等を通じて山村の所得や雇用の増大を図りたい | 農山漁村振興交付金（山村活性化支援交付金）のうち山村活性化対策事業 | | | | ○ | ○ | | 90 |
| | 農業生産条件が不利な中山間地域等で農業を続けたい | 中山間地域等直接支払交付金 | ○ | ○ | ○ | | | ○ | 91 |
| 鳥獣被害対策 | 鳥獣による農作物被害を減らしたい | 鳥獣被害防止総合対策事業 | | | | ○ | ○ | | 92 |
| | 農場の防疫対策（防鳥ネット、消毒機器の整備など）に取り組みたい | 農場防疫対策支援事業〔再掲〕 | | | ○ | ○ | ○ | ○ | 25 |
| 環境保全型農業 | 環境にやさしい栽培技術又は気候変動適応対策と省力化技術に取り組みたい | 茨城県グリーンな栽培体系加速化事業〔再掲〕 | | | | ○ | | | 2 |
| | 有機農業による付加価値向上に取り組みたい | いばらき有機農業トップランナー事業〔再掲〕 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 16 |
| | みどりの食料システムに向けて環境にやさしい取組を進めたい | みどりの食料システム戦略推進事業〔再掲〕 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | 19 |
| | 環境にやさしい農業の取組に対する支援を受けたい | 環境保全型農業直接支払事業 | | | ○ | | | ○ | 94 |
| | GAP認証の取組に係る支援を受けたい | 茨城県GAP推進事業（GAP認証取得支援アドバイザーの派遣）〔再掲〕 | ○ | ○ | ○ | | | | 77 |

施設での園芸品目の高温対策に取り組みたい

| | | | | | | | | | | | | | |
|-------------|---|----|--------------|----|--------------|----|--------------|----|--------------|----|--------------|--|--|
| 事業名 | 園芸産地高温対策事業 | | | | | | | | | | | | |
| 分類 | 【気候変動】【水田・畑作、園芸】【機械・施設整備】 | | | | | | | | | | | | |
| 事業要旨 | 近年の高温環境における施設園芸品目の安定生産技術を推進するため、ハウスの換気装置、遮光・遮熱資材、冷却技術の複数技術の導入を支援する。 | | | | | | | | | | | | |
| 事業概要 | <p>〔事業主体（事業対象）〕 施設園芸経営体、 認定農業者、認定新規就農者、農業法人、農業者の組織する団体※ ※農業者の組織する団体は、受益農家戸数が3戸以上に限る。</p> <p>〔事業内容〕 ①換気、②遮光・遮熱、③冷却の複数の高温対策技術の取組を支援</p> <p>〔対象品目〕 園芸品目（施設野菜、施設花き） ※露地栽培（野菜、花き）の育苗ハウスも対象。ただし、高温環境下で育苗する品目に限る。</p> <p>〔補助要件等〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必ず複数の対策技術に取り組むこと（①換気＋②遮光・遮熱は必須とする）。 ・既に対策技術に取り組んでいる場合は、既存の資材や装置も対策技術とみなす。 ・施設で園芸品目を栽培していること。 ・県が定める「強靱化ハウス」の要件を満たすこと、又は施設園芸共済や民間の保険等に加入していること。 ・収量目標について、現状から向上かつ県が設定する収量基準を概ね満たすこと。 ・事業終了後も同一品目を栽培すること（導入する機械、装置等の耐用年数以上）。 <p>〔対象経費〕</p> <p>①換気</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外気導入器、肩部分換気装置、妻面換気装置、天窓換気装置 等 ※サイド（側窓）換気は対象経費としない。 <p>②遮光・遮熱</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遮光ネット、遮熱ネット、遮熱フィルム 等 ※塗布剤は対象経費としない。 <p>③冷却</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒートポンプ、細霧冷房、エアコン夜冷装置、パッド&ファン、屋根散水 等 ※設置に係る費用も含む。ただし、自力施工に係る費用は除く。 <p>〔補助限度額・補助率〕 200万円（1経営体当たり）、1／3以内</p> | | | | | | | | | | | | |
| 問合せ先 | <p>◆農業技術課 有機農業・気候変動対策推進室 TEL：029-301-3931</p> <p>◆最寄りの農林事務所 企画調整部門 振興・環境室 農業振興課</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <tr> <td style="width: 25%;">県北</td> <td style="width: 25%;">0294-80-3303</td> <td style="width: 25%;">県央</td> <td style="width: 25%;">029-221-3034</td> <td style="width: 25%;">鹿行</td> <td style="width: 25%;">0291-33-4117</td> </tr> <tr> <td>県南</td> <td>029-822-7086</td> <td>県西</td> <td>0296-24-9174</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | 県北 | 0294-80-3303 | 県央 | 029-221-3034 | 鹿行 | 0291-33-4117 | 県南 | 029-822-7086 | 県西 | 0296-24-9174 | | |
| 県北 | 0294-80-3303 | 県央 | 029-221-3034 | 鹿行 | 0291-33-4117 | | | | | | | | |
| 県南 | 029-822-7086 | 県西 | 0296-24-9174 | | | | | | | | | | |

環境にやさしい栽培技術又は気候変動適応技術と省力化技術に取り組みたい

| | | | | | | | | | | | | | |
|-------------|--|----|--------------|----|--------------|----|--------------|----|--------------|----|--------------|--|--|
| 事業名 | 茨城県グリーンな栽培体系加速化事業 | | | | | | | | | | | | |
| 分類 | 【気候変動】【水田・畑作、園芸】【機械・施設整備】【環境保全型農業】 | | | | | | | | | | | | |
| 事業要旨 | 「環境にやさしい栽培技術」又は「気候変動適応技術」と「省力化に資する先端技術等」を取り入れた「グリーンな栽培体系」への転換を推進するため、産地に適した技術を検証し、定着を図る取組を支援する。 | | | | | | | | | | | | |
| 事業概要 | <p>〔事業主体（事業対象）〕 産地の農業者や農業協同組合等の関係者が参画する協議会、農業協同組合、市町村等</p> <p>〔事業内容〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 グリーンな栽培体系の検討（必須） <ul style="list-style-type: none"> ・ 検討会の開催 ・ グリーンな栽培体系の検証 ・ グリーンな栽培マニュアルの作成、産地戦略の策定 ・ 情報発信 2 グリーンな栽培体系の技術検証に必要なスマート農業機械等の導入（選択） <ul style="list-style-type: none"> ・ グリーンな栽培体系の検証に必要な環境負荷低減・省力化に資する機械の導入 <p>〔補助要件等〕 播種・定植前準備～収穫・収穫後作業までの作業段階において、検証・普及を加速化すべき環境にやさしい栽培技術又は気候変動適応技術と省力化に資する技術を検証すること。ただし、検証する技術は、試験研究機関等において、環境負荷低減、高温等の影響を回避・軽減する効果が認められているものに限る。</p> <p>〔対象経費〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 グリーンな栽培体系の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・ グリーンな栽培体系の検証に必要な以下の経費 ほ場・機械等の借上費、掛かり増し資材等の購入費、土壌診断等の役務費 等 ・ 検討会の開催等に係る以下の経費 会場借料・旅費・講師謝金・通信運搬費、印刷製本費 等 2 グリーンな栽培体系の技術検証に必要なスマート農業機械等の導入 <ul style="list-style-type: none"> ・ グリーンな栽培体系の検証に必要な機械の購入またはリース導入費用 ※対象とならない経費：汎用性の高い機械等の購入費、対照ほ場の資材費 等 <p>〔補助限度額・補助率〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 グリーンな栽培体系の検討 300万円・定額（有機農業の検討又は環境負荷低減・気候変動適応技術の取組を2つ以上実施する場合は360万円。 2でスマート農業技術活用促進法に規定する「生産方式革新実施計画」の達成に資する検証を実施する場合は限度額を100万円引上げ。） 2 グリーンな栽培体系の技術検証に必要なスマート農業機械等の導入 1,000万円・1/2以内 | | | | | | | | | | | | |
| 問合せ先 | <p>◆農業技術課 有機農業・気候変動対策推進室 TEL：029-301-3931</p> <p>◆最寄りの農林事務所 企画調整部門 振興・環境室 農業振興課</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">県北</td> <td style="width: 25%;">0294-80-3303</td> <td style="width: 25%;">県央</td> <td style="width: 25%;">029-221-3034</td> <td style="width: 25%;">鹿行</td> <td style="width: 25%;">0291-33-4117</td> </tr> <tr> <td>県南</td> <td>029-822-7086</td> <td>県西</td> <td>0296-24-9174</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | 県北 | 0294-80-3303 | 県央 | 029-221-3034 | 鹿行 | 0291-33-4117 | 県南 | 029-822-7086 | 県西 | 0296-24-9174 | | |
| 県北 | 0294-80-3303 | 県央 | 029-221-3034 | 鹿行 | 0291-33-4117 | | | | | | | | |
| 県南 | 029-822-7086 | 県西 | 0296-24-9174 | | | | | | | | | | |

ハウスの補強や防風ネットを設置して災害に備えたい

| | | | | | | | | | | | | | |
|-------------|--|----|--------------|----|--------------|----|--------------|----|--------------|----|--------------|--|--|
| 事業名 | 農業用ハウス強靱化緊急対策事業 (国：園芸産地における事業継続強化対策) | | | | | | | | | | | | |
| 分類 | 【気候変動】【機械・施設整備】 | | | | | | | | | | | | |
| 事業要旨 | 自然災害発生に予め備え、災害に強い産地を形成するため、園芸産地における非常時の対応能力向上に向けた、産地ごとに必要な耐候性を踏まえた複数農業者による事業継続計画(BCP)の見直し等を支援する。また、BCPの実行に必要な体制整備やBCPの実践に必要な技能習得、ハウスの補強、非常時の復旧の取組実証等を支援する。 | | | | | | | | | | | | |
| 事業概要 | <p>【事業主体（事業対象）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業実施主体：都道府県 ・取組主体：都道府県、市町村、農業者の組織する団体等 <p>【事業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 園芸産地における事業継続計画の検討、策定及び見直し等 <ul style="list-style-type: none"> ・事業継続計画策定や見直しに向けた検討会の開催、推進に向けた講習会の開催、非常時の協力体制整備に向けた検討会の開催 等 2 園芸産地における事業継続計画の実践 <ol style="list-style-type: none"> (1) 自力施工等の技能習得、災害復旧の実証 <ul style="list-style-type: none"> ・農業者自らがハウスの補強や復旧を行うための自力施工研修会の開催 ・被災後に協力体制や自力施工技術を活用してハウスの普及を行う実証の取組 (2) 既存ハウスへの被害防止対策 <p style="margin-left: 20px;">【対象：今後10年以上利用が見込まれるハウス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハウス本体の補強（筋交い直管、ダイバー等の設置） ・防風ネットの設置、非常用電源の導入 等 <p>【補助要件等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都道府県が策定した事業継続推進計画に位置付けられた取組であること。 ・2戸以上の農業者から構成されていること。 ・既存ハウスへの被害防止対策への取組については、以下の全てを満たすこと。 <ol style="list-style-type: none"> ①事業継続計画の検討、策定及び見直し等、非常時の協力体制整備を実施すること。 ②個々の経営体で事業継続計画を策定すること。 ③対象となるハウスについて園芸施設共済又は民間の保険に加入すること。 ④対象となるハウスは今後10年以上利用するものであること。 ⑤ハウス本体に直接補強する場合、風速36m/s以上に耐えうる対策をすること <p>【対象経費】 資材費、役務費、機械設備費、通信運搬費、消耗品費、委託費、旅費 等</p> <p>【補助限度額・補助率】 補助率：1 事業継続計画の検討、策定及び見直し、非常時の協力体制の整備：定額 ：2 園芸産地における事業継続計画の実践 (1) 自力施工等の技能習得、災害復旧の実証：定額 (2) 既存ハウスへの被害防止対策：1/2以内</p> | | | | | | | | | | | | |
| 問合せ先 | <p>◆農業技術課 有機農業・気候変動対策推進室 TEL：029-301-3931</p> <p>◆最寄りの農林事務所 企画調整部門 振興・環境室 農業振興課</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 25%;">県北</td> <td style="width: 25%;">0294-80-3303</td> <td style="width: 25%;">県央</td> <td style="width: 25%;">029-221-3034</td> <td style="width: 25%;">鹿行</td> <td style="width: 25%;">0291-33-4117</td> </tr> <tr> <td>県南</td> <td>029-822-7086</td> <td>県西</td> <td>0296-24-9174</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | 県北 | 0294-80-3303 | 県央 | 029-221-3034 | 鹿行 | 0291-33-4117 | 県南 | 029-822-7086 | 県西 | 0296-24-9174 | | |
| 県北 | 0294-80-3303 | 県央 | 029-221-3034 | 鹿行 | 0291-33-4117 | | | | | | | | |
| 県南 | 029-822-7086 | 県西 | 0296-24-9174 | | | | | | | | | | |

暑熱環境下でも家畜が快適に過ごせる環境づくりがしたい

| | | | | | | | | | | | | | |
|-------------|--|----|--------------|----|--------------|----|--------------|----|--------------|----|--------------|--|--|
| 事業名 | 畜舎暑熱対策支援事業 | | | | | | | | | | | | |
| 分類 | 【気候変動】【畜産】 | | | | | | | | | | | | |
| 事業要旨 | 暑熱環境下でも家畜が快適に過ごせる環境づくりに向け、畜舎内の温度低減に必要な設備等の導入を集中的に支援し、生産性の向上と持続可能な経営体の育成を図る。 | | | | | | | | | | | | |
| 事業概要 | <p>〔事業主体（事業対象）〕 畜産農家</p> <p>〔事業内容〕 畜舎内の温度を下げるために必要な設備等の導入を支援 例：細霧装置、送風機(据付型に限る)、屋根への遮熱剤の塗装等</p> <p>〔対象経費〕 当該事業を実施するのに要する経費</p> <p>〔補助率〕 1/3 以内</p> | | | | | | | | | | | | |
| 問合せ先 | <p>◆畜産課 経営環境G TEL：029-301-3988</p> <p>◆最寄りの農林事務所 企画調整部門 振興・環境室 畜産振興課</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">県北</td> <td style="width: 25%;">0294-87-6680</td> <td style="width: 25%;">県央</td> <td style="width: 25%;">029-231-0476</td> <td style="width: 25%;">鹿行</td> <td style="width: 25%;">0291-33-4118</td> </tr> <tr> <td>県南</td> <td>029-822-8521</td> <td>県西</td> <td>0296-24-9166</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | 県北 | 0294-87-6680 | 県央 | 029-231-0476 | 鹿行 | 0291-33-4118 | 県南 | 029-822-8521 | 県西 | 0296-24-9166 | | |
| 県北 | 0294-87-6680 | 県央 | 029-231-0476 | 鹿行 | 0291-33-4118 | | | | | | | | |
| 県南 | 029-822-8521 | 県西 | 0296-24-9166 | | | | | | | | | | |

施設園芸等で燃料価格高騰に対する支援を受けたい

| | | | | | | | | | | | | | |
|-------------|--|----|--------------|----|--------------|----|--------------|----|--------------|----|--------------|--|--|
| 事業名 | 施設園芸等燃料価格高騰対策 | | | | | | | | | | | | |
| 分類 | 【価格高騰】【水田・畑作、園芸】 | | | | | | | | | | | | |
| 事業要旨 | 燃料価格高騰の影響を受けにくい経営構造への転換を進めるため、施設園芸や茶等の産地に対して、燃料価格高騰時に農業者と国の拠出による補填金を交付するセーフティネットの構築を支援します。 | | | | | | | | | | | | |
| 事業概要 | <p>【事業主体】 日本施設園芸協会 ※県窓口団体(事業実施者)：茨城県農業再生協議会、全国茶生産団体連合会</p> <p>【事業対象（支援対象）】 農業協同組合連合会、農業協同組合、農事組合法人、農事組合法人以外の農地所有適格法人、特定農業団体、茨城県茶生産者組合連合会、その他農業者の組織する団体</p> <p>【事業内容】 燃料需要期(原則：11～4月、茶：4月～10月)に施設園芸用燃料(A重油・灯油・LPガス・LNG)の価格が一定基準以上に上昇した場合に補填金を交付するセーフティネットの構築(農業者：国＝1：1の拠出により積立をする)を支援します。</p> <p>【補助要件等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農産局長が別に定める省エネルギー等対策推進計画が策定されていること。 (10a 当たり燃料使用量を 15%以上削減する、生産物 1 トン当たりの燃料使用量を 15%以上削減する、又は民間の金融商品等を利用して燃料コストの変動を抑制すること。2 期目以降に継続して取り組む場合は、10a 当たり計 30%以上の燃料使用量削減目標を策定する)。 ・受益農家及び事業参加者が 3 戸以上又は農業従事者が 5 名以上であること。 ・農産局が別に定める要件及び基準を満たしていること。 <p>【対象経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・燃料^{※1} 価格が発動基準価格を超えた場合の価格差補填に要する経費^{※2} ※1 対象油種：A重油、灯油、LPガス、LNG ※2 農家は、基準価格に対し 115%、130%、150%、170%の 4 コースから選択して積立。 <p>【補助限度額・補助率】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補填金単価＝当該月の全国平均価格－発動基準価格 ・補填金＝補填金単価×当該月燃料使用量×補填割合（70～100%） (総限度額は農家積立額の 2 倍まで) ※補填割合は特例の適用により変動 | | | | | | | | | | | | |
| 問合せ先 | <p>◆最寄りの農林事務所 企画調整部門 振興・環境室 農業振興課</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 25%;">県北</td> <td style="width: 25%;">0294-80-3303</td> <td style="width: 25%;">県央</td> <td style="width: 25%;">029-221-3034</td> <td style="width: 25%;">鹿行</td> <td style="width: 25%;">0291-33-4117</td> </tr> <tr> <td>県南</td> <td>029-822-7086</td> <td>県西</td> <td>0296-24-9169</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>◆産地振興課 施設野菜・果樹花きG TEL：029-301-3954</p> | 県北 | 0294-80-3303 | 県央 | 029-221-3034 | 鹿行 | 0291-33-4117 | 県南 | 029-822-7086 | 県西 | 0296-24-9169 | | |
| 県北 | 0294-80-3303 | 県央 | 029-221-3034 | 鹿行 | 0291-33-4117 | | | | | | | | |
| 県南 | 029-822-7086 | 県西 | 0296-24-9169 | | | | | | | | | | |

国産飼料を主体にした経営構造へと転換したい

| | | | | | | | | | | | | | |
|-------------|---|----|--------------|----|--------------|----|--------------|----|--------------|----|--------------|--|--|
| 事業名 | 飼料国内自給化緊急対策事業 | | | | | | | | | | | | |
| 分類 | 【価格高騰】【畜産】 | | | | | | | | | | | | |
| 事業要旨 | 輸入飼料価格に左右されにくい国産飼料を主体にした経営構造へと転換するため、自給飼料の生産拡大の取組を支援するとともに、食品残さや未利用資源等を飼料として活用する取組を支援することで、持続的に発展できる足腰の強い畜産経営体の確立を目指す。 | | | | | | | | | | | | |
| 事業概要 | <p>【事業主体】 県内に農場あるいは事業所があり、国産飼料の生産・供給・利用拡大に取り組む以下に当てはまる者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 畜産農家または耕種農家 ・ 法人及び団体（農業協同組合、農事組合法人、株式会社（農業生産法人）等） ・ 県内に農場がある1戸以上の畜産農家を含む多様な事業者で構成される集団等（コンソーシアム等） <p>【事業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 国産飼料生産拡大対策 飼料作物の生産面積拡大の取組に対する支援 2 食品残さ等飼料化対策 食品残さや未利用資源の飼料化の検討に要する経費への補助 <p>【補助率及び補助額】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 10千円/10a 2 1/2以内 | | | | | | | | | | | | |
| 問合せ先 | <p>◆ 畜産課生産振興G TEL：029-301-3993</p> <p>◆ 最寄りの農林事務所 企画調整部門 振興・環境室 畜産振興課</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 25%;">県北</td> <td style="width: 25%;">0294-87-6680</td> <td style="width: 25%;">県央</td> <td style="width: 25%;">029-231-0476</td> <td style="width: 25%;">鹿行</td> <td style="width: 25%;">0291-33-4118</td> </tr> <tr> <td>県南</td> <td>029-822-8521</td> <td>県西</td> <td>0296-24-9166</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | 県北 | 0294-87-6680 | 県央 | 029-231-0476 | 鹿行 | 0291-33-4118 | 県南 | 029-822-8521 | 県西 | 0296-24-9166 | | |
| 県北 | 0294-87-6680 | 県央 | 029-231-0476 | 鹿行 | 0291-33-4118 | | | | | | | | |
| 県南 | 029-822-8521 | 県西 | 0296-24-9166 | | | | | | | | | | |

国産飼料を増産し、利用を拡大したい

| | |
|-------------|--|
| 事業名 | 国産飼料生産・利用拡大緊急対策事業 |
| 分類 | 【価格高騰】【畜産】 |
| 事業要旨 | 飼料生産基盤に立脚した畜産へ転換するため、飼料作物の生産・利用の地域モデル実証、飼料生産組織の体制強化、飼料作物の生産性向上、国産飼料の流通推進等の取組を支援します。 |
| 事業概要 | <p>〔事業主体（事業対象）〕 国産飼料生産・利用拡大緊急対策事業のうち</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 生産性の高い持続可能な飼料産地形成支援：協議会、全国団体 2 飼料生産組織の運営強化支援：生産者集団等 3 飼料作物の生産性向上対策：JA、公社、TMR センター等の農業者団体等 4 耕畜連携及び供給拡大の促進対策：耕種農家、畜産農家、国産飼料生産者 全国団体、飼料販売業者、民間団体等 5 国産飼料の流通推進・利用拡大対策：民間団体 <p>〔事業内容〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 生産性の高い持続可能な飼料産地形成支援 飼料生産組織を核とする青刈りとうもろこし等の飼料作物の生産・利用の連携体制（地域モデル）の構築・強化を図るための総合的な実証を支援 2 飼料生産組織の運営強化支援 飼料生産組織の機械導入等や作業規模を拡大する取組を支援 3 飼料作物の生産性向上対策 草地改良技術の実証、中山間地域での飼料増産活動の取組を支援 4 耕畜連携及び供給拡大の促進対策 耕畜連携や国産飼料の供給を拡大する取組を支援 5 国産飼料の流通推進・利用拡大対策 国産粗飼料の流通体制の構築及び利用拡大に必要な実証・調査、国産飼料の流通推進に必要な飼料の成形・加工・保管施設等の整備並びに新飼料資源の利用拡大に必要な機械導入や調査・分析を支援 <p>〔補助率及び補助額〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 生産性の高い持続可能な飼料産地形成支援：定額、1/2 以内 2 飼料生産組織の運営強化支援： 1/2 以内、定額（1年目 12,000 円/10a 以内、2年目 5,000 円/10a 以内） 3 飼料作物の生産性向上対策：定額、1/2 以内 4 耕畜連携及び供給拡大の促進対策：定額、1/2 以内 5 国産飼料の流通推進・利用拡大対策：定額、1/2 以内 |
| 問合せ先 | ◆農林水産省 畜産局飼料課 TEL：03-6744-7192 |

地域内の生産者で連携し良質な飼料生産に取り組みたい

| | |
|-------------|---|
| 事業名 | 飼料生産基盤立脚型酪農・肉用牛産地支援事業 |
| 分類 | 【価格高騰】【畜産】 |
| 事業要旨 | 輸入飼料に依存しない安定した酪農・肉用牛経営を推進するため、地域の酪農・肉用牛経営者等が連携して、飼料生産基盤及び国内生産資材を最大限に活用して良質な飼料の生産を最大化する取組等を支援します。 |
| 事業概要 | <p>〔事業主体（事業対象）〕 酪農・肉用牛経営者等で構成される地域協議会・生産者団体</p> <p>〔事業内容〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 酪農・肉用牛経営者等の連携により良質な飼料生産を最大化 飼料生産計画に基づき、酪農・肉用牛経営者等が行う飼料の栄養収量を増加させる取組を支援 2 有機飼料の生産支援 酪農・肉用牛経営者が取組む飼料の有機栽培を支援 <p>〔補助要件等〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・酪農経営者は、事業実施年度を通して生乳を出荷していること。 ・肉用牛経営者は、事業実施年度を通して牛の飼養、出荷、販売実績があること。 ・牛1頭当たり飼料作物作付地を基準面積以上確保していること。 ・各種クロスコンプライアンスを満たしていること。 <p>〔補助率〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 15,000 円/ha 以内 2 青刈りとうもろこし等 45,000 円/ha 以内、牧草 15,000 円/ha 以内 |
| 問合せ先 | <p>◆茨城県酪農業協同組合連合会 TEL：029-224-6711</p> <p>◆畜産課 生産振興 G TEL：029-301-3993</p> <p>◆農林水産省 畜産局企画課 TEL：03-3502-0874</p> |

資源循環型農業を進めるために良質な堆肥を地域で利用したい

| | |
|-------------|---|
| 事業名 | 畜産堆肥循環型農業団地形成モデル事業 |
| 分類 | 【価格高騰】【水田・畑作、園芸】 |
| 事業要旨 | 良質な堆肥を生産する畜産農家とそれらの堆肥を利用する耕種農家との耕畜連携により、資源循環型の農業団地を形成し、新たな農業所得向上モデルを確立する。 |
| 事業概要 | <p>【事業主体（事業対象）】 資源循環型の農業団地を形成する「耕種農家」</p> <p>【対象事業】 堆肥を利用する耕種農家の取組を支援</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 堆肥利用に必要な機械整備 2 ペレット堆肥利用への補助 <p>【補助要件等】 畜産農家2戸以上と耕種農家2戸以上による資源循環型の農業団地の構成員であること</p> <p>【対象経費】 堆肥運搬散布に必要な機械整備、ペレット堆肥の購入</p> <p>【補助率】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 1/2 以内 2 定額 |
| 問合せ先 | <p>◆畜産課 経営環境G TEL：029-301-3988</p> <p>◆農業技術課 有機農業・気候変動対策推進室 TEL：029-301-3931</p> |

持続可能な地酒づくりに向け、酒造好適米の生産振興を図りたい

| | |
|-------------|--|
| 事業名 | いばらきの酒米生産振興緊急支援事業 |
| 分類 | 【水田・畑作、園芸】 |
| 事業要旨 | 主食用米の価格高騰により、酒米の生産量が大きく減少する中、酒蔵と生産者の結びつきによる取組を支援し、県産酒米の生産振興を通じた地酒づくりを促進します。 |
| 事業概要 | <p>【事業主体（事業対象）】 酒造好適米を栽培し、県内の酒蔵に出荷する県内の農業者</p> <p>【事業内容】 2026 年産における集荷団体及び県内酒蔵との契約に基づき、農業者が取り組む酒造好適米の栽培を支援します。</p> <p>【補助要件等】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 茨城県内で酒造好適米を生産していること。 ※農産物検査規格において定める醸造用玄米の産地品種銘柄に限る。 2 茨城県内の酒蔵又は集荷業者との契約栽培を実施していること。 3 高品質安定生産に資する取組を1つ以上実施すること。 <p>【対象経費】 「コシヒカリ」と「酒造好適米」との差額の1/2相当額 ※国の支援額を除いた金額</p> <p>【補助限度額・補助率】 定額（酒造好適米の作付面積に応じて20,000円以内/10a）</p> |
| 問合せ先 | ◆産地振興課 農産・特産振興G TEL：029-301-3921 |

新たに米のブランド化に取り組みたい

| | | | | | | | | | | | | | |
|-------------|---|----|--------------|----|--------------|----|--------------|----|--------------|----|--------------|--|--|
| 事業名 | いばらきの米トップランナー産地拡大事業 | | | | | | | | | | | | |
| 分類 | 【水田・畑作、園芸】 | | | | | | | | | | | | |
| 事業要旨 | 本県の良食味米産地の知名度の向上を図るため、全国規模のコンテストの金賞受賞を目指し、意欲的な産地の出品支援やコンテストを勝ち抜く技術開発を行います。 | | | | | | | | | | | | |
| 事業概要 | <p>【事業主体（事業対象）】 いばらき米の極み頂上コンテストの上位入賞者 等</p> <p>【事業内容】 「いばらき米の極み頂上コンテスト」の上位入賞者が、全国主要コンテストに出品等するための費用を支援します。</p> <p>【補助要件等】 1 「いばらき米の極み頂上コンテスト」、全国規模の米のコンテストで上位入賞していること 2 「味度値」や「食味官能評価」を向上させる技術開発に取り組むこと 等</p> <p>【対象経費】 全国主要コンテストへの出品にかかる費用</p> <p>【補助限度額・補助率】 定額</p> | | | | | | | | | | | | |
| 問合せ先 | <p>◆最寄りの農林事務所 企画調整部門 振興・環境室 農業振興課</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 25%;">県北</td> <td style="width: 25%;">0294-80-3303</td> <td style="width: 25%;">県央</td> <td style="width: 25%;">029-221-3034</td> <td style="width: 25%;">鹿行</td> <td style="width: 25%;">0291-33-4117</td> </tr> <tr> <td>県南</td> <td>029-822-7086</td> <td>県西</td> <td>0296-24-9169</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>◆産地振興課 農産・特産振興G TEL：029-301-3921</p> | 県北 | 0294-80-3303 | 県央 | 029-221-3034 | 鹿行 | 0291-33-4117 | 県南 | 029-822-7086 | 県西 | 0296-24-9169 | | |
| 県北 | 0294-80-3303 | 県央 | 029-221-3034 | 鹿行 | 0291-33-4117 | | | | | | | | |
| 県南 | 029-822-7086 | 県西 | 0296-24-9169 | | | | | | | | | | |

国内外の需要に対応するため枝物の生産体制を強化したい

| 事業名 | いばらきの枝物トップランナー産地拡大事業（県単） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------|---|--------------|--|--------|--------|----|--------------|--------------|----|--------------|--------------|----|--------------|--------------|----|--------------|----|----|--------------|----|
| 分類 | 【水田・畑作、園芸】【機械・施設整備】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業要旨 | 国内外の旺盛なハナモモを中心とした枝物需要に対応するため、生産農地の拡大や、機械類の導入による生産体制の強化に取り組み、全国をリードする枝物トップランナー産地の拡大を目指します。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業概要 | <p>〔事業主体（事業対象）〕 農業者、新規就農者、農業者の組織する団体等</p> <p>〔事業内容〕</p> <p>1 荒廃農地等の再生による農地の拡大 （1）荒廃農地等を枝物生産に適した圃場へ整備することによる生産農地の拡大 （2）生産力の低下した圃場の改植促進による生産力の維持・強化</p> <p>2 規模拡大に伴い増加する労力の削減に向けた機械類の導入（乗用草刈機等）</p> <p>〔補助要件等〕</p> <p>（1）再生作業を実施した農地において、3年以上枝物を生産すること。 （2）荒廃農地等を1a以上再生すること。ただし、機械類の導入を行う場合は、10a以上再生すること。</p> <p>〔対象経費〕 荒廃農地の再生等による枝物生産農地の拡大経費及び労力削減に向けた機械類の導入に係る経費</p> <p>〔補助限度額・補助率〕</p> <p>1 荒廃農地等の再生による農地の拡大 補助率 1/2 以内（上限 1a あたり 2 万円）</p> <p>2 労力削減に向けた機械類の導入 補助率 1/2 以内（上限 1,500 千円）</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 問合せ先 | <p>◆最寄りの農林事務所 企画調整部門</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 45%;">荒廃農地再生</th> <th style="width: 45%;">機械類の導入</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県北</td> <td>0294-80-3301</td> <td>0294-80-3303</td> </tr> <tr> <td>県央</td> <td>029-350-3017</td> <td>029-221-3034</td> </tr> <tr> <td>鹿行</td> <td>0291-33-6285</td> <td>0291-33-4117</td> </tr> <tr> <td>県南</td> <td>029-822-7083</td> <td>同左</td> </tr> <tr> <td>県西</td> <td>0296-24-9169</td> <td>同左</td> </tr> </tbody> </table> <p>◆産地振興課 施設野菜・果樹花きG TEL：029-301-3954</p> | | | 荒廃農地再生 | 機械類の導入 | 県北 | 0294-80-3301 | 0294-80-3303 | 県央 | 029-350-3017 | 029-221-3034 | 鹿行 | 0291-33-6285 | 0291-33-4117 | 県南 | 029-822-7083 | 同左 | 県西 | 0296-24-9169 | 同左 |
| | 荒廃農地再生 | 機械類の導入 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 県北 | 0294-80-3301 | 0294-80-3303 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 県央 | 029-350-3017 | 029-221-3034 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 鹿行 | 0291-33-6285 | 0291-33-4117 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 県南 | 029-822-7083 | 同左 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 県西 | 0296-24-9169 | 同左 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

果樹園の新植・改植をしたい

| 事業名 | 果樹経営支援対策事業、果樹先導的取組支援事業、果樹未収益期間支援事業 | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------|--|--------------|----|-----------|------|--------------------|--------------|----------------------|--------------|------|--------------------|--------------|----------------|--------------|------------------|--------------|
| 分類 | 【水田・畑作、園芸】 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業要旨 | <p>果樹産地構造改革計画を策定している産地の担い手が、優良品目・品種への転換、省力樹形の導入を行う場合に支援が受けられます。</p> <p>また、果樹経営支援対策事業により、一定面積の改植または新植を実施した場合に発生する未収益期間に対して支援が受けられます。</p> | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業概要 | <p>〔事業主体〕 公益社団法人茨城県農林振興公社</p> <p>〔事業対象〕 果樹産地構造改革計画に担い手として定められた農業者等</p> <p>〔事業内容〕〔補助要件等〕〔対象経費〕〔補助限度額・補助率〕</p> <p>1 果樹経営支援対策事業（整備事業） 果樹産地構造改革計画に基づき、担い手が優良品目・品種への転換を行う場合に、定額または事業費の1/2以内で補助します。同一品種への改植は省力樹形等の導入が条件です。</p> <p>○改植・新植支援（内容、補助額は一例）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 60%;">内容</th> <th style="width: 30%;">改植（新植）補助額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">慣行樹形</td> <td>りんご、なし、ぶどう等の主要落葉果樹</td> <td>17（15）万円/10a</td> </tr> <tr> <td>りんごわい化栽培、加工用ぶどうの垣根栽培</td> <td>33（32）万円/10a</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">省力樹形</td> <td>りんごの高密度低樹高（新しい化）栽培</td> <td>53（52）万円/10a</td> </tr> <tr> <td>なし、かき等のジョイント栽培</td> <td>33（32）万円/10a</td> </tr> <tr> <td>なし、かき等のV字ジョイント栽培</td> <td>73（71）万円/10a</td> </tr> </tbody> </table> <p>○実施面積要件 地続きで概ね2a以上</p> <p>2 果樹先導的取組支援事業 果樹産地の生産基盤を強化するため、労働生産性の向上が見込まれる省力樹形や消費者ニーズに対応した優良品目・品種への改植・新植及び未収益期間の幼木管理、小規模園地整備、病害の低減に資する雨よけ設備の設置、高温対策資機材の導入、高品質果実の生産を維持するための技術や資材の大規模実証等を実施する場合に、定額または事業費の1/2以内で補助します。</p> <p>3 果樹未収益期間支援事業 1の果樹経営支援対策事業により、優良品目・品種への改植・新植を一定面積以上実施した場合に発生する未収益期間に対して助成します。</p> <p>○面積単価（5.5万円/10a）×支援年数（改植の翌年から4年分）＝22万円/10a ○初年度に一括して定額交付 ○実施面積要件 支援対象者が同一年度内に概ね2a以上改植等を実施した場合</p> | | 内容 | 改植（新植）補助額 | 慣行樹形 | りんご、なし、ぶどう等の主要落葉果樹 | 17（15）万円/10a | りんごわい化栽培、加工用ぶどうの垣根栽培 | 33（32）万円/10a | 省力樹形 | りんごの高密度低樹高（新しい化）栽培 | 53（52）万円/10a | なし、かき等のジョイント栽培 | 33（32）万円/10a | なし、かき等のV字ジョイント栽培 | 73（71）万円/10a |
| | 内容 | 改植（新植）補助額 | | | | | | | | | | | | | | |
| 慣行樹形 | りんご、なし、ぶどう等の主要落葉果樹 | 17（15）万円/10a | | | | | | | | | | | | | | |
| | りんごわい化栽培、加工用ぶどうの垣根栽培 | 33（32）万円/10a | | | | | | | | | | | | | | |
| 省力樹形 | りんごの高密度低樹高（新しい化）栽培 | 53（52）万円/10a | | | | | | | | | | | | | | |
| | なし、かき等のジョイント栽培 | 33（32）万円/10a | | | | | | | | | | | | | | |
| | なし、かき等のV字ジョイント栽培 | 73（71）万円/10a | | | | | | | | | | | | | | |
| 問合せ先 | <p>◆（公社）茨城県農林振興公社 園芸振興部 TEL：029-222-8511</p> <p>◆産地振興課 施設野菜・果樹花きG TEL：029-301-3954</p> | | | | | | | | | | | | | | | |

花きの生産、流通、需要の拡大に係る課題を一体的に解決したい

| | |
|-------------|--|
| 事業名 | ジャパンフラワー強化プロジェクト推進事業 |
| 分類 | 【水田・畑作、園芸】 |
| 事業要旨 | 物流の2024年問題に対応した花き流通の効率化や高度化、産地の課題解決に必要な技術導入を支援するとともに、減少傾向にある花き需要の回復に向けて、需要拡大が見込まれる品目等への転換、新たな需要開拓、花き利用の拡大に向けたPR活動等の前向きな取組を支援します。 |
| 事業概要 | <p>〔事業主体〕 いばらきの花振興協議会</p> <p>〔事業対象〕 いばらきの花振興協議会が設定した成果目標の達成に必要と認められる団体等</p> <p>〔事業内容〕 県産花きの生産、流通、需要の拡大の課題解決に必要な取組を支援します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 花き流通の効率化の取組 受発注データのデジタル化、流通の効率化・高度化に資する検討や技術実証等 2 生産技術の高度化・産地体制の強化等の取組 生産性向上、低コスト化など花き産地の課題解決に資する検討や実証、産地体制の強化に資する研修会開催等 3 需要の変化に対応した品目等の転換の取組 需要が見込まれる品種等への転換に必要な需要調査、栽培技術実証、栽培マニュアル作成等 4 新たな需要開拓・消費拡大の取組 需要喚起のためのPR活動や新規購買層の獲得に向けた販路開拓、花き利用の拡大に資する体験活動等 <p>〔補助要件等〕 いばらきの花振興協議会が設定した目標の達成に必要な取組を行うこと</p> <p>〔対象経費〕 備品費、賃金等、事業費、旅費、謝金、委託費、役務費、雑役務費</p> <p>〔補助限度額・補助率〕 定額</p> |
| 問合せ先 | ◆産地振興課 施設野菜・果樹花きG TEL：029-301-3954 |

老朽化した共同利用施設の再編集約・合理化を進めたい

| | | | | | | | | | | | | | |
|-------------|---|----|--------------|----|--------------|----|--------------|----|--------------|----|--------------|--|--|
| 事業名 | 農産園芸共同利用施設整備事業（いばらき共同利用施設再編集約・合理化支援事業） | | | | | | | | | | | | |
| 分類 | 【水田・畑作、園芸】【機械・施設整備】 | | | | | | | | | | | | |
| 事業要旨 | 生産性や収益力を向上する等の農業の構造転換の実現に向け、地域農業を支える老朽化した共同利用施設の再編集約・合理化の促進を図る取組を支援します。 | | | | | | | | | | | | |
| 事業概要 | <p>【事業主体（事業対象）】 農業協同組合、農業協同組合連合会、農事組合法人、農業者の組織する団体等</p> <p>【事業内容】 生産性や収益力を向上する等の農業の構造転換の実現に向け、地域農業を支える老朽化した共同利用施設の再編集約・合理化の促進を図る取組を支援します。</p> <p>【補助要件等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成果目標の基準を満たしていること ・面積要件を満たしていること ・「再編集約・合理化計画（最大3年間）」を作成していること ・修繕・更新に係る積立計画を提出すること ・受益農業従事者（農業の常時従事者）5名以上 ・産地基幹施設を整備するにあたっては、原則として総事業費が5千万円以上 等 <p>【対象経費】 老朽化した穀類乾燥調製貯蔵施設や集出荷貯蔵施設等の共同利用施設等の再編集約・合理化にかかる経費</p> <p>【補助限度額・補助率】</p> <p>○補助限度額 1年度あたり20億円（整備する施設等により異なる）</p> <p>○補助率</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 共同利用施設の再編集約・合理化 1/2以内 2 再編集約・合理化の更なる加速化 1の取組に対し、県・市町村 1/12～0.5/10 以内※、国 1/12～0.5/10 以内 ※県補助はブランド化・差別化を可能とする施設整備の取組に限定 (0.5/10 以内) | | | | | | | | | | | | |
| 問合せ先 | <p>◆お住まいの市町村の農政主管課</p> <p>◆最寄りの農林事務所 企画調整部門 振興・環境室 農業振興課</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 25%;">県北</td> <td style="width: 25%;">0294-80-3303</td> <td style="width: 25%;">県央</td> <td style="width: 25%;">029-221-3034</td> <td style="width: 25%;">鹿行</td> <td style="width: 25%;">0291-33-4117</td> </tr> <tr> <td>県南</td> <td>029-822-7086</td> <td>県西</td> <td>0296-24-9169</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>◆産地振興課 農産・特産振興G TEL：029-301-3921 施設野菜・果樹花きG TEL：029-301-3954 露地野菜G TEL：029-301-3950</p> | 県北 | 0294-80-3303 | 県央 | 029-221-3034 | 鹿行 | 0291-33-4117 | 県南 | 029-822-7086 | 県西 | 0296-24-9169 | | |
| 県北 | 0294-80-3303 | 県央 | 029-221-3034 | 鹿行 | 0291-33-4117 | | | | | | | | |
| 県南 | 029-822-7086 | 県西 | 0296-24-9169 | | | | | | | | | | |

有機農業による付加価値向上に取り組みたい

| | |
|-------------|--|
| 事業名 | いばらき有機農業トップランナー事業 |
| 分類 | 【水田・畑作、園芸】【機械・施設整備】【環境保全型農業】【輸出・販路拡大】 |
| 事業要旨 | 環境負荷を低減した持続的な営農であり、付加価値の高い農産物を生産する有機農業の取組を拡大するために、荒廃農地等の環境整備や農地の貸付、有機農産物の供給力向上に資する機械等の整備、有機 JAS 認証の取得や新商品の開発等を支援します。 |
| 事業概要 | <p>1 有機農業の団地育成支援</p> <p>【事業主体（事業対象）】 農業者、農業者の組織する団体等</p> <p>【事業内容】 大規模有機団地の整備に必要なパイプハウス資材の購入や農業機械のリース導入等を支援</p> <p>【事業対象品目】 にんじん、たまねぎ、じゃがいも、キャベツ、はくさい、トマト、米</p> <p>【補助要件等】 原則、いばらきの産地パワーアップ支援事業の要件に準ずる。 ・面積要件：露地野菜 10ha 以上、施設野菜 5 ha 以上等 （中山間地域等の生産支援事業のみの場合 5 戸以上の農業者の参加又は取組面積 1ha 以上） ・機械のリース導入は本体価格が 50 万円以上であること 等</p> <p>【対象経費】 パイプハウスの資材購入、農業機械のリース導入等に係る経費</p> <p>【補助率】 いばらきの産地パワーアップ支援事業：5/10 以内 上記事業への上乗せ補助：2/10 以内</p> <p>2 荒廃農地等集約・環境整備支援</p> <p>（1）荒廃農地等の再生（障害物除去・整備・土作り）支援</p> <p>【事業主体（事業対象）】 荒廃農地を再生し有機農業を実践する認定農業者等</p> <p>【事業内容】 荒廃農地の再生に関する取組（刈払い、抜根等）を支援</p> <p>【補助要件等】 再生農地での有機 JAS 認証取得（事業実施後 2 年以内）、有機 JAS 認証取得面積の 2%以上の増加、目標年次において有機 JAS 認証取得面積が 30a 以上になること等</p> <p>【対象経費】 工事に係る機械費（機械損料）、作業者の労務費、工事を外部委託する際の委託費等</p> <p>【補助限度額・補助率】 1/2 以内（上限 100 千円/10 a、但し抜根有の場合上限 250 千円/10a） ※ 1 ha 以上再生する場合補助率 2/3 以内（上限 150 千円/10 a、同上限 350 千円/10a）</p> <p>（2）農地貸付協力金</p> <p>【事業主体（事業対象）】 有機農業を実践する認定農業者等に農地を貸し出す地権者等</p> <p>【事業内容】 有機農業の規模拡大に必要な農地を貸付ける者に対し、協力金を交付</p> |

〔補助要件等〕

農地中間管理機構を通じて 20a 以上の面積を貸借すること（複数地権者による合算も可）、耕作者が貸付農地と同面積で有機 JAS 認証を取得すること等

〔補助限度額・補助率〕

定額（15 千円/10a、但し、1ha 以上まとまった農地の場合 20 千円/10a）

3 有機農産物の供給能力向上支援

〔事業主体〕

市町村協議会、農協、営農集団などの農業団体及び農業法人、農業者等

〔事業対象〕

市町村等

〔事業内容〕

有機農産物の有機 JAS 認証を新規取得または認証の拡大意向のある者を対象に有機農産物や有機加工食品の認証取得に係る経費を支援

〔補助要件等〕

（1）有機農産物の有機 JAS 認証取得有機 JAS 認証取得面積が 30a 以上となること※ 等
※新規で認証を取得する者はこの限りではない

（2）有機加工食品の有機 JAS 認証取得有機農産物の有機 JAS 認証取得者が所有する加工施設等での有機加工食品の有機 JAS 認証を取得すること 等

〔対象経費〕

① 有機 JAS 講習会受講に係る経費、②有機 JAS 認証費用に係る経費

〔補助限度額・補助率〕

定額①上限 10 千円、②上限 140 千円

4 有機農産物新商品開発チャレンジ支援

〔事業主体（事業対象）〕

認定農業者等

〔事業内容〕

原則、有機 JAS 認証を新規取得する意向のある者及び認証の拡大取得の意向のある者が行う新規作物（果物等）栽培や商品加工、販路開拓等への新規取組を支援

〔補助要件等〕

事業対象品目はいちご、くり、なし、ぶどうとし、事業実施 3 年後を目途に、事業対象品目を栽培するほ場で新規に有機 JAS 認証を原則、概ね 10a 以上取得すること（既に有機 JAS 認証を 10a 以上取得している場合は認証面積を 5 % 以上増加させること）又は農業所得を向上させること 等

〔対象経費〕

事業を実施するために必要な委託、報償等に係るソフト経費、備品購入等に係るハード経費（取得価格 10 万円以上のもの）

〔補助限度額・補助率〕

1/2 以内（補助上限 1,600 千円。うち、ハード経費の上限は原則 800 千円）

5 土づくりの推進支援 ※1

〔事業主体〕

市町村等

〔事業対象〕

農業者、農業者の組織する団体、民間事業者

〔事業内容〕

地力の向上を目的とした堆肥等の実証的な活用による土づくりの取組支援

〔補助要件等〕

県が策定した実施方針に基づいた事業計画、成果目標の設定及び地域の産地パワーアップ計画に位置付けられた目標の達成

| | | | | | | | | | | | | | |
|-------------|--|----|------------------|------------------|--------------|----|--------------|----|--------------|----|------------------|------------------|--|
| | <p>〔対象経費〕 堆肥等の購入・施用等に要する経費、実証前後の土壌分析、堆肥散布機械のリース導入等</p> <p>〔補助限度額・補助率〕 定額（堆肥等の実証的活用 30 千円/10a（ペレット堆肥 35 千円/10a）、機械のリース導入に係る費用のみ 1/2 以内） ※1 原則、いばらきの産地パワーアップ支援事業の要件等に準ずる。</p> <p>6 儲かる産地支援（有機枠）</p> <p>〔事業主体〕 市町村等</p> <p>〔事業対象〕 認定農業者、農業法人、農協、営農集団 等</p> <p>〔事業内容〕 有機農産物等の生産拡大に向けた機械等の導入支援</p> <p>〔補助要件等〕</p> <p>①規模・生産拡大を志向する有機 JAS 認証取得者及び新規取得予定者（目標年次における有機 JAS 認証取得面積が 30a 以上となること） ②農業経営基盤強化促進法に基づく認定または地域計画に位置付けられた農業者であること ③本体価格が 10 万円以上の農業機械等（アタッチメントを含む）であること ④事業実施により有機 JAS 認証取得面積の 5%以上向上が見込めること 等</p> <p>〔対象経費〕 有機農産物等の生産性、供給力又は品質の向上のために必要な生産、出荷調整の機械やパイプハウス資材（骨材と被覆材）等の導入支援。</p> <p>〔補助限度額・補助率〕 本体価格の 1/2 以内（補助上限 5,000 千円）</p> | | | | | | | | | | | | |
| <p>問合せ先</p> | <p>◆農業技術課有機農業・気候変動対策推進室 TEL：029-301-3931 ◆最寄りの農林事務所 企画調整部門 振興・環境室 農業振興課</p> <table border="1" data-bbox="347 1326 1337 1406"> <tr> <td>県北</td> <td>0294-80-3303</td> <td>県央</td> <td>029-221-3034</td> <td>鹿行</td> <td>0291-33-4117</td> </tr> <tr> <td>県南</td> <td>029-822-7086</td> <td>県西</td> <td>0296-24-9174(園芸)</td> <td colspan="2">0296-24-9169(農産)</td> </tr> </table> | 県北 | 0294-80-3303 | 県央 | 029-221-3034 | 鹿行 | 0291-33-4117 | 県南 | 029-822-7086 | 県西 | 0296-24-9174(園芸) | 0296-24-9169(農産) | |
| 県北 | 0294-80-3303 | 県央 | 029-221-3034 | 鹿行 | 0291-33-4117 | | | | | | | | |
| 県南 | 029-822-7086 | 県西 | 0296-24-9174(園芸) | 0296-24-9169(農産) | | | | | | | | | |

みどりの食料システムに向けて環境にやさしい取組を進めたい

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------|--|----|--------------|----|--------------|----|--------------|----|--------------|----|--------------|----|--------------|--|--|
| 事業名 | みどりの食料システム戦略推進事業 | | | | | | | | | | | | | | |
| 分類 | 【水田・畑作、園芸】【機械・施設整備】【環境保全型農業】 | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業要旨 | みどりの食料システム戦略に基づき、環境と調和のとれた食料システムを確立するため、環境負荷低減等の取組やそれらを広げるための環境づくりを支援します。 | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業概要 | <p>1 有機農業拠点創出・拡大加速化事業 [事業主体(事業対象)] 市町村等 [事業内容] 地域ぐるみで、生産から消費まで一貫して有機農業を推進する取組や、産地と消費地の連携等を支援し、有機農業の推進拠点となる地域(オーガニックビレッジ)を創出 [補助要件等] 有機農業実施計画の策定、 「有機農業と地域振興を考える自治体ネットワーク」への加盟 等 [補助率] 定額(取組年度毎に上限設定あり、機械購入及びリースに係る経費のみ1/2助成)</p> <p>2 有機転換推進事業 [事業主体] 市町村等 [事業対象] 農業者 [事業内容] 国際水準の有機農業転換に必要な生産資材等のかかり増し経費を支援 [補助率] 定額(20千円/10a) [補助要件等] みどり認定を受けている又は成果目標年度までに受ける予定であること 事業を活用した農地で将来的に有機JAS認証を取得すること 等</p> <p>3 みどりの事業活動を支える体制整備 [事業主体(事業対象)] 特定環境負荷低減事業活動実施計画(特定計画)の認定を受けた農業者、大規模に有機農業に取り組むみどり認定者 等 [事業内容] みどりの食料システム法に基づく特定環境負荷低減事業活動実施計画(特定計画)等の認定を受けて行う機械や施設の導入を支援 [補助要件等] 認定を受けた計画の中に記載のある環境負荷低減の取組に必要な機械や施設の導入であること [補助率] 1/2以内</p> <p>4 先進的有機農業拡大促進事業 [事業主体(事業対象)] 農業者 [事業内容] 有機農業に拡大に意欲的に取り組む農業者等に対して、スマート農業技術等を活用した生産、加工、流通・販売の取組を支援 [補助要件等] スマート農業技術に関する農業機械や設備を導入すること 地域計画に位置付けられている又は位置付けられることが確実であること みどり認定を受けている又は、受けることが確実と見込まれること 化学肥料及び農薬の施用及び使用量を低減した栽培方法の2年以上の取組実績があること 等 [補助率] 1/2以内(機械等の導入)、定額(その他有機農業の拡大に必要な取組)</p> | | | | | | | | | | | | | | |
| 問合せ先 | <p>◆農業技術課 有機農業・気候変動対策推進室 TEL: 029-301-3931 ◆最寄りの農林事務所 企画調整部門 振興・環境室 農業振興課</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <tr> <td style="width: 25%;">県北</td> <td style="width: 25%;">0294-80-3303</td> <td style="width: 25%;">県央</td> <td style="width: 25%;">029-221-3034</td> <td style="width: 25%;">鹿行</td> <td style="width: 25%;">0291-33-4117</td> </tr> <tr> <td>県南</td> <td>029-822-7086</td> <td>県西</td> <td>0296-24-9174</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | | | 県北 | 0294-80-3303 | 県央 | 029-221-3034 | 鹿行 | 0291-33-4117 | 県南 | 029-822-7086 | 県西 | 0296-24-9174 | | |
| 県北 | 0294-80-3303 | 県央 | 029-221-3034 | 鹿行 | 0291-33-4117 | | | | | | | | | | |
| 県南 | 029-822-7086 | 県西 | 0296-24-9174 | | | | | | | | | | | | |

地域の農畜産関係者全体で収益性を向上させたい（施設整備）

| 事業名 | 畜産競争力強化対策整備事業 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------|--|----------------------|-----------------------|-------|-------|----------|------|----------------------|----------------------|------|----------------------|-----------------------|------|----------------------|-----------------------|------|----------------------|-----------------------|----------|----------------------|-----------------------|----------|--------------------------|----------------------|-----------------------|------------------------|----------------------|-----------------------|-------------------------------|----------------------|----------------------|---------------------------|----------------------|----------------------|----------|---------|----------------------|----------------------|----------|----------------------|-----------------------|--------|----------------------|-----------------------|
| 分類 | 【畜産】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業要旨 | 「総合的なTPP関連政策大綱」に基づき、畜産・酪農の収益性・生産基盤を強化するため、畜産農家をはじめとする地域の関係者が連携し、一体となって地域全体で畜産の収益性、持続性又は社会的価値の向上を図る取組を支援する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業概要 | <p>〔事業主体（事業対象）〕 畜産農家、農業協同組合、農業協同組合連合会、公社、農事組合法人 等</p> <p>〔事業内容〕 畜産農家、JA、市町村等が連携して、畜産クラスター協議会を組織して、収益性の向上や生産基盤の強化を図るための畜産クラスター計画を策定するとともに、計画の達成に必要な施設整備及び家畜の導入について助成します。</p> <p>〔補助要件等〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知事の認定を受けた畜産クラスター計画に基づく取組であること ・畜産クラスター協議会で中心的な経営体（取組主体）に位置づけられていること <p>〔対象経費〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家畜飼養管理施設、家畜排せつ物処理施設、自給飼料関連施設、畜産加工、展示・販売施設、家畜衛生施設、野生鳥獣被害防止施設の整備に要する経費または補改修に要する経費 ・家畜の導入（肉用繁殖雌牛、乳用牛、繁殖母豚）に要する経費（家畜飼養管理施設を整備又は補改修した施設で飼養するものに限る。その他要件あり。） <p>〔補助限度額・補助率〕</p> <p>①施設整備事業の上限単価（附帯部分を除く）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th colspan="2">整備施設</th> <th>基準事業費</th> <th>特認事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">家畜飼養管理施設</td> <td>肉用牛舎</td> <td>48 千円/m²</td> <td>73 千円/m²</td> </tr> <tr> <td>乳用牛舎</td> <td>80 千円/m²</td> <td>120 千円/m²</td> </tr> <tr> <td>一般豚舎</td> <td>69 千円/m²</td> <td>106 千円/m²</td> </tr> <tr> <td>分娩豚舎</td> <td>69 千円/m²</td> <td>106 千円/m²</td> </tr> <tr> <td>ウィンドレス鶏舎</td> <td>68 千円/m²</td> <td>104 千円/m²</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">家畜排せつ物施設</td> <td>堆肥舎 500m²未満</td> <td>71 千円/m²</td> <td>107 千円/m²</td> </tr> <tr> <td>〃 500m²以上</td> <td>67 千円/m²</td> <td>102 千円/m²</td> </tr> <tr> <td>尿貯留施設 1,000 m³未満</td> <td>55 千円/m³</td> <td>83 千円/m³</td> </tr> <tr> <td>〃 1,000 m³以上</td> <td>26 千円/m³</td> <td>40 千円/m³</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">自給飼料関連施設</td> <td>バンカーサイロ</td> <td>10 千円/m³</td> <td>16 千円/m³</td> </tr> <tr> <td>飼料原料保管施設</td> <td>79 千円/m²</td> <td>119 千円/m²</td> </tr> <tr> <td>飼料調製施設</td> <td>69 千円/m²</td> <td>105 千円/m²</td> </tr> </tbody> </table> <p>※特認事業費は知事が特に認める場合には、農政局長等と協議のうえ設定。</p> <p>②家畜導入事業の上限単価</p> <p>妊娠牛 : 27.5 万円/頭以内 繁殖に供する雌牛 : 17.5 万円/頭以内 繁殖に供する雌豚 : 4 万円/頭</p> <p>〔経費負担割合〕 国 1/2 以内（施設整備事業：上限補助額 500,000 千円/年度）</p> | 整備施設 | | 基準事業費 | 特認事業費 | 家畜飼養管理施設 | 肉用牛舎 | 48 千円/m ² | 73 千円/m ² | 乳用牛舎 | 80 千円/m ² | 120 千円/m ² | 一般豚舎 | 69 千円/m ² | 106 千円/m ² | 分娩豚舎 | 69 千円/m ² | 106 千円/m ² | ウィンドレス鶏舎 | 68 千円/m ² | 104 千円/m ² | 家畜排せつ物施設 | 堆肥舎 500m ² 未満 | 71 千円/m ² | 107 千円/m ² | 〃 500m ² 以上 | 67 千円/m ² | 102 千円/m ² | 尿貯留施設 1,000 m ³ 未満 | 55 千円/m ³ | 83 千円/m ³ | 〃 1,000 m ³ 以上 | 26 千円/m ³ | 40 千円/m ³ | 自給飼料関連施設 | バンカーサイロ | 10 千円/m ³ | 16 千円/m ³ | 飼料原料保管施設 | 79 千円/m ² | 119 千円/m ² | 飼料調製施設 | 69 千円/m ² | 105 千円/m ² |
| 整備施設 | | 基準事業費 | 特認事業費 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 家畜飼養管理施設 | 肉用牛舎 | 48 千円/m ² | 73 千円/m ² | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 乳用牛舎 | 80 千円/m ² | 120 千円/m ² | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 一般豚舎 | 69 千円/m ² | 106 千円/m ² | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 分娩豚舎 | 69 千円/m ² | 106 千円/m ² | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ウィンドレス鶏舎 | 68 千円/m ² | 104 千円/m ² | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 家畜排せつ物施設 | 堆肥舎 500m ² 未満 | 71 千円/m ² | 107 千円/m ² | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 〃 500m ² 以上 | 67 千円/m ² | 102 千円/m ² | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 尿貯留施設 1,000 m ³ 未満 | 55 千円/m ³ | 83 千円/m ³ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 〃 1,000 m ³ 以上 | 26 千円/m ³ | 40 千円/m ³ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 自給飼料関連施設 | バンカーサイロ | 10 千円/m ³ | 16 千円/m ³ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 飼料原料保管施設 | 79 千円/m ² | 119 千円/m ² | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 飼料調製施設 | 69 千円/m ² | 105 千円/m ² | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 問合せ先 | ◆畜産課 経営環境G TEL：029-301-3988 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

地域の農畜産関係者全体で収益性を向上させたい（機械導入）

| 事業名 | 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（機械導入事業） | | | | | | | | | |
|---------------|--|--------|--------|-----|---------------|----------------------------------|--------|----------|------------------------------|----|
| 分類 | 【畜産】 | | | | | | | | | |
| 事業要旨 | 「総合的な TPP 関連政策大綱」に基づき、県内の畜産業の維持・発展を図るため、畜産農家をはじめとする地域の関係者が連携し、一体となって地域全体で収益性向上を図ろうとする取組を支援します。 | | | | | | | | | |
| 事業概要 | <p>〔事業主体（事業対象）〕 畜産農家、農業協同組合、農業協同組合連合会、公社、農事組合法人 等</p> <p>〔事業内容〕</p> <p>1 畜産経営等強化支援事業 畜産クラスター計画に基づく取り組みを行う者が生産コストの低減、畜産物等の高付加価値化、畜産物等の新規需要の創出及び飼料自給率の向上を通じた畜産経営の収益性の向上等に必要な機械装置を導入する場合及び飼料生産組織が飼料自給率の向上及び経営の高度化に必要な機械装置を導入する場合に、その負担の軽減を図るために行う当該機械装置の導入に必要な経費の一部補助</p> <p>2 推進指導事業 1の事業の円滑な推進を図るために行う事業推進会議の開催、事業の推進、指導、調査等</p> <p>〔補助要件等〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知事の認定を受けた畜産クラスター計画に基づく取組であること ・畜産クラスター協議会で中心的な経営体（取組主体）に位置づけられていること <p>〔対象経費〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機械装置の購入又はリース事業者によるリース物件の取得に要する経費 ・事業推進会議の開催、事業の推進、指導、調査等に要する経費 <p>〔補助対象経費・補助率〕</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">事業名</th> <th style="width: 40%;">補助対象経費</th> <th style="width: 30%;">補助率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 畜産経営等強化支援事業</td> <td>機械装置の購入又はリース事業者によるリース物件の取得に必要な経費</td> <td>1/2 以内</td> </tr> <tr> <td>2 推進指導事業</td> <td>事業推進会議の開催、事業の推進、指導、調査等に要する経費</td> <td>定額</td> </tr> </tbody> </table> <p>〔経費負担割合〕 国 1/2 以内、定額</p> | 事業名 | 補助対象経費 | 補助率 | 1 畜産経営等強化支援事業 | 機械装置の購入又はリース事業者によるリース物件の取得に必要な経費 | 1/2 以内 | 2 推進指導事業 | 事業推進会議の開催、事業の推進、指導、調査等に要する経費 | 定額 |
| 事業名 | 補助対象経費 | 補助率 | | | | | | | | |
| 1 畜産経営等強化支援事業 | 機械装置の購入又はリース事業者によるリース物件の取得に必要な経費 | 1/2 以内 | | | | | | | | |
| 2 推進指導事業 | 事業推進会議の開催、事業の推進、指導、調査等に要する経費 | 定額 | | | | | | | | |
| 問合せ先 | <p>◆畜産課 経営環境G TEL：029-301-3988</p> <p>◆（公社）茨城県畜産協会 TEL：029-231-7501</p> | | | | | | | | | |

国産飼料の安定供給を図りたい

| | |
|-------------|--|
| 事業名 | 飼料備蓄・増産流通合理化学業 |
| 分類 | 【畜産】 |
| 事業要旨 | <p>国産飼料の生産・利用拡大を図るため、飼料生産組織の人材確保・育成、国産濃厚飼料の生産・利用の推進等の取組を支援します。また、飼料の安定供給のため、飼料穀物の備蓄や飼料輸送の効率化の実証、配合飼料工場の事業再編に向けた調査等の取組を支援します。</p> |
| 事業概要 | <p>〔事業主体（事業対象）〕 飼料備蓄・増産流通合理化学業のうち 1 国産飼料増産対策事業：生産者集団、民間団体等 2 飼料穀物備蓄・流通合理化学業：配合飼料製造業者、協議会等</p> <p>〔事業内容〕 1 国産飼料増産対策事業 飼料生産組織の人材確保・育成、国産濃厚飼料の生産・利用の推進等の取組を支援 2 飼料穀物備蓄・流通合理化学業 畜産農家へ安定的に配合飼料等を供給するための取組を支援</p> <p>〔補助率〕 1 国産飼料増産対策事業：定額、1/2 以内 2 飼料穀物備蓄・流通合理化学業：定額、1/2 以内 等</p> |
| 問合せ先 | ◆農林水産省 畜産局飼料課 TEL：03-6744-7192 |

畜産経営に必要な設備を低利のリース方式で導入したい①

| | |
|-------------|---|
| 事業名 | 畜産関係施設リース事業（公益財団法人畜産近代化リース協会事業） |
| 分類 | 【畜産】 |
| 事業要旨 | 畜産農家等が必要とする機械・施設を貸し付けます。 |
| 事業概要 | <p>〔事業主体（事業対象）〕 畜産農家</p> <p>〔事業内容〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貸付対象機械施設は、①飼料生産利用施設機械等、②家畜家きん飼養管理施設機械等、③家畜畜産物流通施設機械等となります。 ・建物や構築物などを除く、中古の機械（飼料生産利用施設等）も対象となります。 （対象機械施設の詳細は、下記問合せ先までご確認ください。） <p>〔補助要件等〕 畜産業を営む農業者であること。 畜産農家への貸付は、農協や農協連等を通して行われます。</p> <p>〔対象経費〕 機械等の導入に要する費用（リース料）</p> <p>〔補助限度額・補助率〕 補助なし</p> |
| 問合せ先 | ◆畜産課 経営環境G TEL : 029-301-3988 |

畜産経営に必要な設備を低利のリース方式で導入したい②

| | |
|-------------|--|
| 事業名 | 畜産高度化支援リース事業（alic 事業） |
| 分類 | 【畜産】 |
| 事業要旨 | 家畜排せつ物の利活用の推進及び環境整備等に必要な機械・施設をリース方式で貸し付けます。 |
| 事業概要 | <p>〔事業主体（事業対象）〕 畜産農家</p> <p>〔事業内容〕 畜産整備リース事業（経営リース）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ①家畜ふん尿処理施設等、②飼料の生産、給与施設等、③家畜飼養管理等施設等、④ 6次産業化に関する施設等をリース方式で貸し付けます。 ・ 建築物や構造物を除き、中古機械についても対象となります。 （対象機械施設の詳細は、下記問合せ先までご確認ください。） <p>〔補助要件等〕 畜産業を営む農業者であること。</p> <p>〔対象経費〕 機械・施設の導入に要する費用（リース料）</p> <p>〔補助限度額・補助率〕 補助なし（認定農業者等は附加貸付料の低減措置を受けられます） リースに必要な保証保険料相当額、損害保険料相当額のみ国から支援があります。</p> |
| 問合せ先 | ◆畜産課 経営環境G TEL：029-301-3988 |

農場の防疫対策（防鳥ネット、消毒機器の整備など）に取り組みたい

| | | | | | | | | | |
|-------------|--|----|--------------|----|--------------|----|--------------|----|--------------|
| 事業名 | 農場防疫対策支援事業 | | | | | | | | |
| 分類 | 【畜産】【機械・施設整備】【鳥獣被害対策】 | | | | | | | | |
| 事業要旨 | 家畜伝染病の発生予防のため、地域一体となったねずみ等の野生動物の侵入防止・駆除等の研修会や、動力噴霧器、簡易消毒ゲートの整備など、農場防疫の向上のための取組を支援します。 | | | | | | | | |
| 事業概要 | <p>〔事業主体（事業対象）〕 茨城県内の市町村、農業協同組合、市町村衛生指導協会等（自衛防疫の推進等家畜衛生の向上を目的とする団体）、防疫対策の実施を目的とした生産者の組織する団体</p> <p>〔事業内容〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 地域協議会の開催 当該地域における農場防疫に係る課題を把握し、必要な対策を検討するため、行政、家畜の所有者、獣医師等の関係者による地域協議会を開催します。 2 農場防疫対策の普及等 1の地域協議会の結果を踏まえ、地域が一体となったねずみの駆除、野生動物の侵入防止対策、消毒等の防疫対策の適切かつ効率的な実施方法について研修を行うなど、その普及を図るとともに、これらの対策の実施に必要な資材の整備を支援します。 <p>〔補助要件等〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 地域協議会の開催 地域における農場防疫に係る課題の把握と必要な対策の検討 2 農場防疫対策の普及等 <ul style="list-style-type: none"> ・防疫能力が向上する防鳥ネットや動力噴霧器等の導入 ※単なる更新や補修は補助対象外となります。 ・事業実施主体による資材の整備及び管理 ・飼養頭数、使用頻度、衛生状況及び地域の実情等を勘案した適切な資材の整備 <p>〔対象経費〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防鳥ネットの設置、動力噴霧器の整備等の資材整備に必要な経費 ・ねずみ駆除対策は、地域協議会が実施するねずみの駆除に関する研修会に必要な経費（研修の開催に必要な消耗品、殺鼠剤やねずみ取り（罠・粘着シート）を含む） <p>〔補助限度額・補助率〕 1/2 以内（予算の範囲内）</p> | | | | | | | | |
| 問合せ先 | <p>◆畜産課 家畜衛生対策室 TEL：029-301-3982</p> <p>◆最寄りの農林事務所 企画調整部門 振興・環境室 畜産振興課</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 25%;">県北</td> <td style="width: 25%;">0294-87-6680</td> <td style="width: 25%;">県央</td> <td style="width: 25%;">029-231-0476</td> </tr> <tr> <td>県南</td> <td>029-822-8521</td> <td>県西</td> <td>0296-24-9166</td> </tr> </table> <p style="text-align: right; margin-top: 5px;">鹿行 0291-33-4118</p> | 県北 | 0294-87-6680 | 県央 | 029-231-0476 | 県南 | 029-822-8521 | 県西 | 0296-24-9166 |
| 県北 | 0294-87-6680 | 県央 | 029-231-0476 | | | | | | |
| 県南 | 029-822-8521 | 県西 | 0296-24-9166 | | | | | | |

家畜排せつ物を堆肥化したい、良質な家畜ふん堆肥等を流通・利用したい

| 事業名 | 良質堆肥広域流通促進事業 | | | | | | | | | | | | |
|------------------------------|---|-----|--------------|---------------|--------------|-------------|--------------|--------------|--------------|------------------------------|--------------|--|--|
| 分類 | 【畜産】 | | | | | | | | | | | | |
| 事業要旨 | 霞ヶ浦・涸沼流域内の畜産農家及び家畜排せつ物を堆肥化・利用する耕種農家に対し、家畜排せつ物処理施設の整備・補改修の支援や、良質な堆肥を流域外で利用を促進することで、畜産農家で効率的な処理と霞ヶ浦・涸沼への負荷低減を図ります。 | | | | | | | | | | | | |
| 事業概要 | <p>【事業主体（事業対象）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象事業 1～3 霞ヶ浦・涸沼流域内の畜産農家 1 戸以上、流域外の耕種農家 2 戸以上からなる営農集団 ・対象事業 4 霞ヶ浦・涸沼流域内の畜産農家、家畜排せつ物を堆肥化・利用する耕種農家等 <p>【対象事業】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 堆肥利用実証ほ設置に対する奨励金 2 堆肥利用実証ほへの堆肥輸送費支援 3 堆肥散布機の導入補助 4 家畜排せつ物処理施設の整備・補改修及び機械の導入に対する補助 <p>【補助要件等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・畜産農家の畜舎が霞ヶ浦・涸沼流域内に所在すること。 ・家畜排せつ物の管理の適正化及び利用の促進に関する法律施行規則第 1 条第 2 項に基づく頭羽数を超える飼養をしていること。(牛 10 頭以上、豚 100 頭以上 等) ・家畜排せつ物法第 4 条に基づく指導を受けてないこと。 ・家畜排せつ物の適正な管理により良質な堆肥の生産と有効利用がされていること。 <p>【対象経費】</p> <p>当該事業を実施するのに要する経費</p> <p>【補助率】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、2 の事業 定額 ※ただし、栽培作物、輸送距離により異なる 3、4 の事業 1/2 以内 <p>【対象経費、補助限度額・補助率】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 70%;">事業名</th> <th style="width: 30%;">補助率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 堆肥等利用実証ほ奨励金</td> <td>定額</td> </tr> <tr> <td>2 堆肥等の輸送費支援</td> <td>定額</td> </tr> <tr> <td>3 堆肥等散布機導入補助</td> <td>1/2 以内</td> </tr> <tr> <td>4 家畜排せつ物処理施設の整備・補改修及び機械の導入補助</td> <td>1/2 以内</td> </tr> </tbody> </table> | 事業名 | 補助率 | 1 堆肥等利用実証ほ奨励金 | 定額 | 2 堆肥等の輸送費支援 | 定額 | 3 堆肥等散布機導入補助 | 1/2 以内 | 4 家畜排せつ物処理施設の整備・補改修及び機械の導入補助 | 1/2 以内 | | |
| 事業名 | 補助率 | | | | | | | | | | | | |
| 1 堆肥等利用実証ほ奨励金 | 定額 | | | | | | | | | | | | |
| 2 堆肥等の輸送費支援 | 定額 | | | | | | | | | | | | |
| 3 堆肥等散布機導入補助 | 1/2 以内 | | | | | | | | | | | | |
| 4 家畜排せつ物処理施設の整備・補改修及び機械の導入補助 | 1/2 以内 | | | | | | | | | | | | |
| 問合せ先 | <p>◆畜産課 経営環境G TEL:029-301-3988</p> <p>◆(公社)茨城県畜産協会 TEL:029-232-2277</p> <p>◆最寄りの農林事務所 企画調整部門 振興・環境室 畜産振興課</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <tr> <td style="width: 25%;">県北</td> <td style="width: 25%;">0294-87-6680</td> <td style="width: 25%;">県央</td> <td style="width: 25%;">029-231-0476</td> <td style="width: 20%;">鹿行</td> <td style="width: 20%;">0291-33-4118</td> </tr> <tr> <td>県南</td> <td>029-822-8521</td> <td>県西</td> <td>0296-24-9166</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | 県北 | 0294-87-6680 | 県央 | 029-231-0476 | 鹿行 | 0291-33-4118 | 県南 | 029-822-8521 | 県西 | 0296-24-9166 | | |
| 県北 | 0294-87-6680 | 県央 | 029-231-0476 | 鹿行 | 0291-33-4118 | | | | | | | | |
| 県南 | 029-822-8521 | 県西 | 0296-24-9166 | | | | | | | | | | |

堆肥の生産・流通促進や高度な畜産環境対策をしたい

| 事業名 | 畜産環境対策総合支援事業 | | | | | | | | | | | | |
|-----------------------|--|-----|-----|----------------|----|-----------------------|-----------|--------------------|------------------------|------------------|----|-------------------|----------------------|
| 分類 | 【畜産】 | | | | | | | | | | | | |
| 事業要旨 | 堆肥の高品質化やペレット化など「土づくり堆肥」の生産・流通の促進により、家畜排せつ物の地域偏在を解消する取組を支援するとともに、悪臭防止や汚水処理について高度な畜産環境対策を実施することで、畜産環境問題の解決を図ります。 | | | | | | | | | | | | |
| 事業概要 | <p>〔事業主体（事業対象）〕 畜産農家、農業協同組合、農業協同組合連合会、公社、農事組合法人 等</p> <p>〔事業内容〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 畜産堆肥流通体制支援事業 環境負荷低減の取組に対する理解情勢を図るための検討会の開催やコンサルタントによる改善指導等の取組に必要な経費 2 畜産・土づくり堆肥生産流通体制支援事業 堆肥等のニーズ把握や生産方法の検討、広域流通等の促進を図るための協議会の開催、堆肥・液肥の成分分析、取組主体が行う堆肥造粒機等の導入を支援 3 畜産・土づくり施設等導入支援事業 堆肥・液肥の高品質化、ペレット化等に係る施設等の整備、補改修を支援 4 畜産環境対策推進体制支援事業 高度な畜産環境対策の実施方法の検討等を行うための協議会の開催、臭気の測定又は排水の水質検査を支援 5 畜産環境関連施設等導入支援事業 高度な畜産環境対策を実施するための施設等の整備、補改修を支援 <p>〔補助要件等〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・畜産クラスター計画に準ずる目標を定めていること ・畜産クラスター協議会又は、畜産を営む者の他、地方公共団体、外部支援組織、農業者の組織する団体、耕種農家、肥料業者等のうち2者以上の異なる役割を担うものが参加する協議会であること。 <p>〔対象経費、補助限度額・補助率〕</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">事業名</th> <th style="width: 40%;">補助率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 畜産堆肥流通体制支援事業</td> <td>定額</td> </tr> <tr> <td>2 畜産・土づくり堆肥生産流通体制支援事業</td> <td>定額、1/2 以内</td> </tr> <tr> <td>3 畜産・土づくり施設等導入支援事業</td> <td>1/2 以内^{※1、2}</td> </tr> <tr> <td>4 畜産環境対策推進体制支援事業</td> <td>定額</td> </tr> <tr> <td>5 畜産環境関連施設等導入支援事業</td> <td>1/2 以内^{※2}</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 堆肥処理施設については上限事業費を 500 m²未満は 71 千円/m²、500 m²以上は 67 千円/m²とする。</p> <p>※2 液肥処理施設については、上限事業費を 1,000 m³未満は 55 千円/m³、1,000 m³以上は 26 千円/m³とする。</p> | 事業名 | 補助率 | 1 畜産堆肥流通体制支援事業 | 定額 | 2 畜産・土づくり堆肥生産流通体制支援事業 | 定額、1/2 以内 | 3 畜産・土づくり施設等導入支援事業 | 1/2 以内 ^{※1、2} | 4 畜産環境対策推進体制支援事業 | 定額 | 5 畜産環境関連施設等導入支援事業 | 1/2 以内 ^{※2} |
| 事業名 | 補助率 | | | | | | | | | | | | |
| 1 畜産堆肥流通体制支援事業 | 定額 | | | | | | | | | | | | |
| 2 畜産・土づくり堆肥生産流通体制支援事業 | 定額、1/2 以内 | | | | | | | | | | | | |
| 3 畜産・土づくり施設等導入支援事業 | 1/2 以内 ^{※1、2} | | | | | | | | | | | | |
| 4 畜産環境対策推進体制支援事業 | 定額 | | | | | | | | | | | | |
| 5 畜産環境関連施設等導入支援事業 | 1/2 以内 ^{※2} | | | | | | | | | | | | |
| 問合せ先 | ◆畜産課 経営環境G TEL：029-301-3988 | | | | | | | | | | | | |

家畜排せつ物処理施設（堆肥舎等）を補修したい

| | |
|-------------|--|
| 事業名 | 堆肥舎等長寿命化推進事業（alic 事業） |
| 分類 | 【畜産】 |
| 事業要旨 | 経年劣化した堆肥舎等の長寿命化を図るため、地域の実情に応じた堆肥舎等の補修の実証を支援します。 |
| 事業概要 | <p>〔事業主体（事業対象）〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・畜産農家3戸以上の集団（事業内容1の場合） ・堆肥センター（事業内容2の場合） <p>〔事業内容〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 堆肥舎等の長寿命化のための補修の実証、簡易な堆肥化処理施設の整備支援 <ol style="list-style-type: none"> （1）地域における堆肥舎等の長寿命化のための補修等の実証に係る調査、検討等 （2）堆肥舎等の長寿命化のための補修の実証の取組に必要な資材の提供 （3）簡易な堆肥化処理施設の整備の実証の取組に必要な資材の提供 2 地域における家畜排せつ物の処理の拠点となっている堆肥センターの長寿命化推進支援 <ol style="list-style-type: none"> （1）堆肥センターの経年劣化の状況把握のための老朽度調査の実施 （2）（1）を踏まえた堆肥センターの補改修方法の検討及び補改修計画の策定 （3）地域に複数の堆肥センターがある場合の再編合理化の検討及び再編合理化計画の策定 （4）（1）から（3）までを踏まえた堆肥センターの収益性向上計画（当該施設の修繕及び更新等に要する資金の計画的な確保のための積立計画を含む。）の策定 <p>〔補助要件等〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 堆肥舎等の長寿命化のための補修の実証、簡易な堆肥化処理施設の整備支援 <ul style="list-style-type: none"> ・実証に取組む畜産農家と同一の畜種を使用する畜産農家3戸以上が参加する集団であること。 ・事業内容1の（2）の取組みについては、機械・装置は含まないこと。等 2 地域における家畜排せつ物の処理の拠点となっている堆肥センターの長寿命化推進支援 <ul style="list-style-type: none"> ・堆肥センターの設置者、利用者等が参加する集団等であること。等 <p>〔対象経費〕 上記事業実施に要する経費</p> <p>〔補助限度額・補助率〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1（2）（3）：1/2以内。 （ただし、1㎡当たり（2）は10千円を、（3）は29千円を上限とする。） ・その他事業：定額 |
| 問合せ先 | ◆畜産課 経営環境G TEL：029-301-3988 |

配合飼料購入価格高騰の影響を緩和したい

| | |
|-------------|---|
| 事業名 | 畜産経営安定対策等（配合飼料価格安定制度） |
| 分類 | 【畜産】 |
| 事業要旨 | 配合飼料価格高騰時の畜産農家への影響緩和のため、畜産農家、配合飼料メーカー、国の拠出による基金制度を立上げ、配合飼料価格の上昇幅に応じた補填金を畜産農家に交付します。 |
| 事業概要 | <p>〔事業主体〕 畜産農家</p> <p>〔事業対象〕 通常補填の基金積立者</p> <p>〔事業内容〕</p> <p>1 通常補填 配合飼料メーカー：畜産農家＝2：1の積立割合により基金を造成し、当該基金を財源として、配合飼料価格の上昇幅に応じて補填金を畜産農家に交付します。</p> <p>2 異常補填 配合飼料メーカー：国＝1：1の積立割合により基金を造成し、配合飼料価格の上昇率が一定基準以上となった場合、当該基金を財源として通常補填を補足するために畜産農家に交付します。</p> <p>〔補助要件等〕</p> <p>1 通常補填 配合飼料の輸入原料価格が直前1年間の平均を上回った場合、その差額（当該四半期の輸入原料価格－直前1年間平均輸入原料価格）が交付されます。 但し、異常補填発動時は、異常補填の交付額を控除した額が交付されます。</p> <p>2 異常補填 配合飼料の輸入原料価格が直前1年間の平均と比べて115%を超えて上昇した場合に、その超えた額が交付されます。</p> |
| 問合せ先 | <p>◆茨城県畜産課 生産振興G TEL：029-301-3993</p> <p>◆一般社団法人茨城県配合飼料価格安定基金協会 TEL：029-226-8589</p> |

高能力な肉用繁殖雌牛を保留したい・受精卵で肉用子牛を生産したい

| | | | | | | | | | | | | | |
|-------------|---|----|--------------|----|--------------|----|--------------|----|--------------|----|--------------|--|--|
| 事業名 | 高品質常陸牛生産対策事業 | | | | | | | | | | | | |
| 分類 | 【畜産】 | | | | | | | | | | | | |
| 事業要旨 | <p>オレイン酸割合や小ザシ等の和牛のおいしさに関連する遺伝的能力の評価及びその評価値に基づき選定した、高能力な和牛繁殖雌牛を保留・導入する取組を支援します。</p> <p>また、オレイン酸割合に関する遺伝的能力の高い和牛受精卵を乳用牛等に移植して子牛を生産する取組を支援します。</p> | | | | | | | | | | | | |
| 事業概要 | <p>〔事業主体（事業対象）〕 畜産農家等</p> <p>〔事業内容〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 遺伝的能力評価に基づく雌子牛の保留及び導入支援 2 ゲノミック評価支援 3 乳用牛等の借り腹と和牛受精卵を活用した子牛生産支援 <p>〔補助要件等〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 遺伝的能力評価に基づく雌子牛の保留及び導入支援 <ul style="list-style-type: none"> ・対象牛は、ゲノミック育種価等が一定基準以上であること ・補助を受けた雌牛から生産された子牛は、県内市場への上場又は自家保留等により県内に流通させること 等 2 ゲノミック評価支援 <ul style="list-style-type: none"> ・（一社）家畜改良事業団が実施するゲノミック評価で、枝肉6形質及び脂肪酸組成形成質の評価と併せて、SNP検査（小ザシ育種価評価用）を実施すること ・対象牛は繁殖雌牛として自家保留するか、県内の家畜市場に上場すること 等 3 乳牛等の借腹と和牛受精卵を活用した増産支援 <ul style="list-style-type: none"> ・移植する和牛受精卵は、オレイン酸割合等の育種価が一定基準以上であること ・和牛受精卵を移植後に妊娠を確認できること 等 <p>〔対象経費〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 オレイン酸割合や小ザシ等の遺伝的能力に優れた雌子牛の自家保留及び県内保留、県外導入に係る経費 2 ゲノミック評価に係る経費 3 乳牛等の借腹とオレイン酸割合の遺伝的能力に優れた和牛受精卵を活用した子牛生産の取組経費 <p>〔補助限度額・補助率〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 1/2以内（上限30万円/頭） 2 定額2万円/頭 3 定額10万円/頭 | | | | | | | | | | | | |
| 問合せ先 | <p>◆畜産課 生産振興G TEL：029-301-3993</p> <p>◆最寄りの農林事務所 企画調整部門 振興・環境室 畜産振興課</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <tr> <td style="width: 25%;">県北</td> <td style="width: 25%;">0294-87-6680</td> <td style="width: 25%;">県央</td> <td style="width: 25%;">029-231-0476</td> <td style="width: 25%;">鹿行</td> <td style="width: 25%;">0291-33-4118</td> </tr> <tr> <td>県南</td> <td>029-822-8521</td> <td>県西</td> <td>0296-24-9166</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | 県北 | 0294-87-6680 | 県央 | 029-231-0476 | 鹿行 | 0291-33-4118 | 県南 | 029-822-8521 | 県西 | 0296-24-9166 | | |
| 県北 | 0294-87-6680 | 県央 | 029-231-0476 | 鹿行 | 0291-33-4118 | | | | | | | | |
| 県南 | 029-822-8521 | 県西 | 0296-24-9166 | | | | | | | | | | |

肉用繁殖雌牛を更新したい

| | | | | | | | |
|-------------|--|------------------|---------|------------------|-----|---------|---------|
| 事業名 | 優良繁殖雌牛更新加速化事業（肉用牛） | | | | | | |
| 分類 | 【畜産】 | | | | | | |
| 事業要旨 | 優良な若い繁殖雌牛への更新を加速化させるため、畜産クラスター計画に位置づけられた生産者が高齢繁殖雌牛を出荷し、優良な繁殖雌牛を導入する場合に、奨励金が交付されます。 | | | | | | |
| 事業概要 | <p>〔事業主体〕 農協等</p> <p>〔事業対象〕 畜産クラスター計画に位置づけられた取組主体の構成員</p> <p>〔事業内容〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産者が、畜産クラスター計画に基づき、高齢の繁殖雌牛から優良な繁殖雌牛に更新する場合、更新実績に応じた奨励金を交付（上限 25 頭） ・遺伝的多様性に配慮するため、特に希少な父牛に由来する繁殖雌牛への更新を手厚く支援し推進することとし、以下の単価を設定（黒毛和種のみ） <p>〔補助限度額・補助率〕</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <tr> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 40%; text-align: center;">優良な繁殖雌牛</td> <td style="width: 40%; text-align: center;">希少な種雄牛を父牛とする繁殖雌牛</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">奨励金</td> <td style="text-align: center;">10 万円/頭</td> <td style="text-align: center;">15 万円/頭</td> </tr> </table> <p>〔補助要件等〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期間内（令和 8 年 1 月 1 日～12 月 31 日）において、高齢の繁殖雌牛を出荷し、優良な繁殖雌牛を導入すること （繁殖雌牛の品種は黒毛和種、褐毛和種、日本短角種、無角和種に限る） <p><出荷する繁殖雌牛の要件></p> <ul style="list-style-type: none"> ・出荷時点で満 10 歳（120 か月齢）以上 （令和 8 年 12 月 31 日以前から飼養している牛に限る） <p><導入牛の要件></p> <ul style="list-style-type: none"> ・繁殖目的に飼養されている和牛 ・令和 8 年 12 月 31 日時点で満 9 か月齢以上かつ導入時点で満 14 か月齢未満（初妊牛の場合、この限りではない） ・脂肪交雑以外の枝肉形質（枝肉重量、バラの厚さ、ロース芯面積、歩留基準値、皮下脂肪厚）のうち 2 形質について、育種価又は期待育種価が生産県の上位 1/2 以内（要件となる形質に MUFA もしくはオレイン酸を追加することも可能） | | 優良な繁殖雌牛 | 希少な種雄牛を父牛とする繁殖雌牛 | 奨励金 | 10 万円/頭 | 15 万円/頭 |
| | 優良な繁殖雌牛 | 希少な種雄牛を父牛とする繁殖雌牛 | | | | | |
| 奨励金 | 10 万円/頭 | 15 万円/頭 | | | | | |
| 問合せ先 | <ul style="list-style-type: none"> ◆畜産課 生産振興G TEL：029-301-3993 ◆（公社）茨城県畜産協会 TEL：029-232-2277 | | | | | | |

肉用繁殖雌牛の簡易牛舎等の施設を整備したい

| | |
|-------------|---|
| 事業名 | 肉用牛経営安定対策補完事業（肉用牛生産基盤強化対策） |
| 分類 | 【畜産】 |
| 事業要旨 | 繁殖雌牛を増頭するための簡易牛舎等の整備を支援します。 |
| 事業概要 | <p>〔事業主体（事業対象）〕 農協等</p> <p>〔事業内容〕 簡易牛舎等の整備</p> <p>〔補助要件等〕 繁殖雌牛の増頭に資する簡易牛舎、器具機材（スタンション等）の整備 （木造・パイプハウス牛舎 500 m²以下、鉄骨牛舎 200 m²以下）</p> <p>〔補助限度額・補助率〕 機構 1/2、実施主体 1/2 定額（簡易牛舎上限 29 千円/m²）</p> |
| 問合せ先 | <p>◆畜産課 生産振興G TEL：029-301-3993</p> <p>◆（公社）茨城県畜産協会 TEL：029-232-2277</p> |

肉用牛経営の安定を図りたい

| 事業名 | 肉用牛経営安定対策事業（alic 事業） | | | | | | | | | | | | |
|-------------|--|------------|------------|-----|-----|----------|------------|------------|------------|-----------|------------|------------|------------|
| 分類 | 【畜産】 | | | | | | | | | | | | |
| 事業要旨 | <p>肉用子牛価格が保証基準価格等を下回った場合に、肉用子牛生産者に対して補給金を交付します。</p> <p>肉用牛肥育経営において、標準的販売価格が標準的生産費を下回った場合に、積立金から差額の9割を交付金として交付します。</p> | | | | | | | | | | | | |
| 事業概要 | <p>【事業主体】 肉用牛飼養農家</p> <p>【事業内容】</p> <p>(1) 肉用子牛生産者補給金制度 肉用子牛の平均売買価格が、国が定める保証基準価格を下回った場合に、販売又は自家保留された肉用子牛を対象として、補給金を交付します。 さらに、平均売買価格が、国が定める合理化目標価格を下回った場合に、国・県・肉用子牛生産者の積立金（国：県：生産者＝2：1：1）から、下回った額の9/10を補給金として交付します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2～6年度肉用子牛生産者積立金額 黒毛和種 1,600円 乳用種 6,800円 交雑種 3,200円 ・事業手続き 公益社団法人茨城県畜産協会に直接申し込みます。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">対象品種</th> <th style="text-align: center;">黒毛和種</th> <th style="text-align: center;">乳用種</th> <th style="text-align: center;">交雑種</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R7保証基準価格</td> <td style="text-align: center;">574,000円/頭</td> <td style="text-align: center;">164,000円/頭</td> <td style="text-align: center;">274,000円/頭</td> </tr> <tr> <td>R7合理化目標価格</td> <td style="text-align: center;">446,000円/頭</td> <td style="text-align: center;">110,000円/頭</td> <td style="text-align: center;">216,000円/頭</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン） 標準的販売価格が標準的生産費を下回った場合に、国・肥育牛生産者の積立金（国：生産者＝3：1）から、下回った額の9割を補填金として交付します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業実施期間 令和7年度～令和9年度（3年間） | 対象品種 | 黒毛和種 | 乳用種 | 交雑種 | R7保証基準価格 | 574,000円/頭 | 164,000円/頭 | 274,000円/頭 | R7合理化目標価格 | 446,000円/頭 | 110,000円/頭 | 216,000円/頭 |
| 対象品種 | 黒毛和種 | 乳用種 | 交雑種 | | | | | | | | | | |
| R7保証基準価格 | 574,000円/頭 | 164,000円/頭 | 274,000円/頭 | | | | | | | | | | |
| R7合理化目標価格 | 446,000円/頭 | 110,000円/頭 | 216,000円/頭 | | | | | | | | | | |
| 問合せ先 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 畜産課 経営環境G TEL：029-301-3988 ◆ （公社）茨城県畜産協会 TEL：029-232-2277 | | | | | | | | | | | | |

繁殖和牛経営を学びたい

| | |
|-------------|---|
| 事業名 | 新規繁殖和牛経営入門講座 |
| 分類 | 【畜産】【新規就農、企業参入】 |
| 事業要旨 | 新規で繁殖和牛経営を希望する者を対象に、講義と実習をすることで、県内における繁殖和牛生産基盤を強化します。 |
| 事業概要 | <p>〔事業主体〕 茨城県、公益社団法人茨城県畜産協会、茨城県肉用牛生産者協会</p> <p>〔対象者・募集人数〕 (1) 対象者 ・肉用牛の飼育に興味があり、将来茨城県で就農（肉用牛経営）を希望する者 ・既に畜産経営（肉用牛肥育経営、酪農等）を行っているが、新たに繁殖和牛の導入を希望する者</p> <p>(2) 募集人数 10名程度</p> <p>〔事業内容〕 農家体験実習、基礎講座（講義）、家畜市場見学、意見交換等</p> <p>〔日程等〕 ・募集期間 令和8年5月中旬～6月下旬まで ・申込先 茨城県畜産センター 企画情報室 ・開講期間 令和8年7月中旬～令和8年12月 全5回講座 ・開催場所 茨城県畜産センター肉用牛研究所（常陸大宮市） 県内の繁殖和牛経営農家 等</p> <p>〔対象経費〕 受講料無料 ただし、実習等で必要となる経費（農家体験時の傷害保険料、交流会の参加費・宿泊費等）は受講者が負担</p> |
| 問合せ先 | ◆畜産課 生産振興G TEL：029-301-3993 |

乳用雌牛を導入したい

| | |
|-------------|---|
| 事業名 | 家畜生産性向上対策事業（乳用雌牛導入支援分） |
| 分類 | 【畜産】 |
| 事業要旨 | 家族経営を中心とした酪農家が、乳用後継牛を確保するための乳用雌牛の導入経費の一部を助成します。 |
| 事業概要 | <p>〔事業主体（事業対象）〕 茨城県酪農業協同組合連合会</p> <p>〔事業内容〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 地域内流通マッチングシステムの構築 家族経営体等を中心として、県内で生産された乳用雌牛（県内子牛等）を地域内流通するためのマッチングシステムを構築 2 酪農家（家族経営等）への乳用雌牛の導入支援 酪農家（家族経営体等）が、乳用後継牛を確保するために行う①乳用雌牛（県内子牛）や②乳用雌牛（妊娠牛）の導入経費の一部を助成 3 乳用雌牛の円滑な継承の推進 生乳出荷中止又は経営規模を縮小する酪農経営体からの乳用雌牛の継承支援 <p>〔補助要件等〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 2 乳用後継牛を導入し、生乳生産基盤の強化が図れること 3 12～72 か月齢までの乳用牛とし、継承後1か月以上の飼養を行うこと <p>〔対象経費〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 マッチング補助費 2 繁殖雌牛の導入に要する経費 3 継承牛の導入に要する経費 <p>〔補助限度額・補助率〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 1/2 以内 2 ①定額（50千円/頭） ②定額（100千円/頭） 3 定額（16千円/頭） |
| 問合せ先 | <p>◆畜産課 生産振興 G TEL：029-301-3993</p> <p>◆茨城県酪農業協同組合連合会 TEL：029-224-6711</p> |

持続的な酪農経営のために強健な乳用牛を生産したい

| | |
|-------------|--|
| 事業名 | 乳用牛長命連産性等向上緊急支援事業 |
| 分類 | 【畜産】 |
| 事業要旨 | 乳牛の育成・導入費、飼料費等のコストや環境負荷の低減に資する持続的な酪農経営への移行を推進するため、従来型の乳量偏重の乳用牛から、長命連産性に重きを置いた強健な乳用牛への牛群構成の転換や適切な飼養管理の普及促進の取組等を支援します。 |
| 事業概要 | <p>〔事業主体（事業対象）〕 農業協同組合、農業協同組合連合会等</p> <p>〔事業内容〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 乳用牛長命連産性等向上支援事業 <ol style="list-style-type: none"> （1）長命連産性等向上計画の取りまとめ及び策定 （2）長命連産性等向上精液等を利用する経営体への奨励金交付 2 乳用牛長命連産性等向上支援推進事業 <ol style="list-style-type: none"> 1 の事業の円滑な推進のための会議の開催、現地調査等を支援 3 乳用牛飼養管理技術向上事業 <ol style="list-style-type: none"> 長命連産性向上に資する飼養管理に取り組む酪農経営体等が活用できる資料等の作成、情報発信、講習会等の実施を支援 <p>〔補助要件等〕</p> <ol style="list-style-type: none"> （1）本事業に参加する酪農経営体は、牛群長命連産性等向上計画を策定すること。 （2）本計画は、以下の要件を満たす計画であること。 <ol style="list-style-type: none"> ①自ら所有又は今後、搾乳牛として所有することが確実に見込まれる乳用牛を利用して、乳用種後継牛の生産を行う予定であること ②①で行う乳用種後継牛の生産は、長命連産性等向上精液等による人工授精等によるものを含むこと。 <p>〔補助限度額・補助率〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 <ol style="list-style-type: none"> （1）定額、 （2）定額（9千円以内/回、1頭につき2回まで） または（6千円以内/回、1頭につき2回まで） 2 定額 3 定額 |
| 問合せ先 | <p>◆茨城県酪農業協同組合連合会 TEL：029-224-6711</p> <p>◆畜産課 生産振興G TEL：029-301-3993</p> |

酪農や肉用牛生産における労働負担軽減・省力化を図りたい

| | |
|-------------|--|
| 事業名 | 1 ICT 化等機械装置等導入事業 2 酪農経営支援総合対策事業（酪農労働力省力化対策事業）（ALIC 事業） |
| 分類 | 【畜産】 |
| 事業要旨 | 中小・家族経営体の肉用牛農家・酪農家の労働負担軽減のため、省力化機械装置の導入と一体的な施設の整備を支援します。 |
| 事業概要 | <p>【事業主体】</p> 1 畜産 ICT 応援会議（畜産経営体、畜産関係団体等が参画する会議） 2 楽酪応援会議（酪農経営体、畜産関係団体等が参画する会議） |
| | <p>【事業内容】</p> 1 ICT 化等機械装置等導入事業 省力化機械装置導入事業の実施 2 酪農労働力省力化対策事業 機械装置の導入及び機械装置と一体的な施設整備の実施 |
| | <p>【補助要件等】 ※経営体に対する飼養規模の上限あり</p> 1 ICT 化等機械装置等導入事業 酪農経営の場合：経産牛頭数 120 頭以下 肉用牛繁殖経営の場合：24 か月齢以上の繁殖雌牛 100 頭以下 肉用牛（肥育・一貫）経営の場合：全飼養頭数 200 頭以下 2 酪農労働力省力化対策事業 経産牛頭数 220 頭以下 |
| | <p>【対象経費】</p> 1 ICT 化等機械装置等導入事業 機械装置：搾乳ロボット、ミルキングパーラー、餌寄せロボット等 施設整備：「スマート農業技術活用促進法」に基づき生産方式革新実施計画の認定を受けた機械装置の導入に伴う一体的な施設整備（補改修）について支援 2 酪農労働力省力化対策事業 機械装置：搾乳ロボット、ミルキングパーラー、ほ乳ロボット等 施設整備：省力化機械装置導入のために必要となる施設整備、補改修、増築等 |
| | <p>【補助率】</p> 1 1/2 以内 機械装置導入 上限 30,000 千円/経営体 施設整備 上限 50,000 千円/経営体 2 1/2 以内 機械装置導入 上限 40,000 千円/経営体 施設整備 施設整備を必要とする機械装置本体価格の 1/2 が上限（40,000 千円/経営体） |
| 問合せ先 | ◆畜産課 生産振興 G TEL：029-301-3993 ◆茨城県酪農業協同組合連合会 TEL：029-224-6711 |

酪農向け乳用種子牛の損耗防止・後継者への支援をしたい

| | |
|-------------|---|
| 事業名 | 酪農経営支援総合対策事業（ALIC 事業） |
| 分類 | 【畜産】 |
| 事業要旨 | 地域の実状に応じた後継牛確保や乳用牛の供用期間の延長、猛暑等にも対応可能な繁殖・飼養・衛生管理技術の向上等のための取組等を支援します。 |
| 事業概要 | <p>〔事業主体（事業対象）〕 生産者集団等</p> <p>〔事業内容〕</p> <p>1 後継牛確保のための環境整備 (1)後継牛確保対策の推進 牛舎改築資材、簡易牛舎、搾乳ロボット等の共同購入やリース会社からの借受等を支援 (2)つなぎ牛舎の改良 牛床延長、既存繫留具改良のための資材等の共同購入、リース会社からの借受等を支援 (3)飼養環境の改善 牛舎の環境改善のための飼養管理資材の共同購入、リース会社からの借受等を支援 (4)暑熱対策の推進 暑熱対策資材又は機器の共同購入、リース会社からの借受等を支援 (5)供用期間の延長支援 分娩準備牛への削蹄や乳房炎治療、乳房炎ワクチンの接種を支援</p> <p>2 乳用育成牛の事故率の低減 育成牛の呼吸器系及び消化器系の疾病、ボツリヌス症予防のためのワクチン接種を支援</p> <p>3 自給飼料の不作に対する代替飼料の共同購入支援 飼料作物生育不良時の代替粗飼料の共同購入及び酪農経営体への供給等を支援</p> <p>〔補助率〕</p> <p>1 (1)～(4) 1/2 以内 (5) 定額（1 頭当たり 1 千円以内） 2 定額（1 頭当たり 1 千円以内） 3 定額（代替飼料 1 kg 当たり 5 円以内）</p> |
| 問合せ先 | ◆茨城県酪農業協同組合連合会 TEL：029-224-6711 ◆畜産課 生産振興 G TEL：029-301-3993 |

県で造成した系統豚を導入したい

| | |
|-------------|---|
| 事業名 | 銘柄畜産物ブランド支援事業（県産銘柄豚支援対策（高品質化支援）） |
| 分類 | 【畜産】 |
| 事業要旨 | 系統豚を活用した豚肉の高品質化を図りたい養豚農家が、県畜産センター養豚研究所で造成した系統豚「ローズ D-1」を導入する場合に支援します。 |
| 事業概要 | <p>〔事業主体〕 （公社）茨城県畜産協会</p> <p>〔事業対象〕 県内養豚農家</p> <p>〔事業内容〕 県畜産センター養豚研究所で造成した系統豚「ローズ D-1」を導入した農家に対して導入費を補助します。</p> <p>〔補助要件等〕 補助を受けようとする者は、導入種豚の活用状況を県畜産センター養豚研究所に報告すること。</p> <p>〔対象経費〕 「ローズ D-1」の導入に要する経費（一部助成）</p> <p>〔補助限度額・補助率〕 導入豚の体重 1 kg 当たり 200 円を上限（予算の範囲内）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>ローズ D-1 とは</p> <p>茨城県畜産センター養豚研究所で造成したデュロック種の系統豚です。筋肉内脂肪含量が 5.1% と高く、特徴ある豚肉の生産が期待できます。</p> <p>系統豚は、数世代選抜し閉鎖系群育種により遺伝的に固定化した豚群です。</p> </div> |
| 問合せ先 | ◆（公社）茨城県畜産協会 TEL：029-231-7501 |

肥育豚経営の安定を図りたい

| | |
|-------------|--|
| 事業名 | 肉豚経営安定交付金制度（alic 事業） |
| 分類 | 【畜産】 |
| 事業要旨 | 肉豚の標準的生産費（ともに全国平均）を下回った場合に、差額の9割を交付金として交付し、養豚経営の安定を図ります。 |
| 事業概要 | <p>〔事業主体（事業対象）〕 養豚農家</p> <p>〔事業内容〕</p> <p>（1）事業の仕組み 四半期毎に粗収益と生産コストを計算し、標準的販売価格が標準的生産費を下回った場合に、養豚農家と農畜産業振興機構の積立金（積立割合は農家：機構＝1：3）から、その差額の9割を交付金として交付します。 3年ごとの業務対象年間終了後、農家積立金に残額が生じた場合には、無事戻しを行います。</p> <p>（2）事業手続き 農畜産業振興機構に直接申し込み。 ※書類の作成事務等を（公社）茨城県畜産協会に委託可能。 （県は、畜産協会に対して事務費の一部を助成：畜産経営指導体制円滑化推進事業費補助）</p> <p>〔補助要件〕 肉豚生産者 ※ただし、資本金の額が3億円を超え、かつ、従業員の数300人を超える会社などは除く。</p> |
| 問合せ先 | <p>◆畜産課 経営環境G TEL：029-301-3988</p> <p>◆（公社）茨城県畜産協会 TEL：029-232-2277</p> |

採卵養鶏経営の安定を図りたい

| | |
|-------------|--|
| 事業名 | 鶏卵生産者経営安定対策事業（一般社団法人日本養鶏協会） |
| 分類 | 【畜産】 |
| 事業要旨 | 鶏卵価格が低落した場合に価格差補填を行うとともに、更に価格が低落した際には、鶏卵価格と採卵養鶏経営の安定を図るため、成鶏の更新に当たり長期の空舎期間を設けて需給改善を図る取組に対して支援を行います。 |
| 事業概要 | <p>〔事業主体〕 一般社団法人日本養鶏協会</p> <p>〔事業対象〕 成鶏（採卵鶏）を飼養する生産者</p> <p>〔事業内容、補助要件等〕</p> <p>1 鶏卵価格差補填事業 鶏卵の毎月の標準取引価格が補填基準価格を下回った場合、その差額（補填基準価格と安定基準価格の差額を上限とする。）の9割を補てんする。</p> <p>2 成鶏更新・空舎延長事業 鶏卵の日々の標準取引価格が安定基準価格を下回った場合、その下回る日の30日（10万羽未満の飼養生産者は40日）前から上回る日の前日までに、成鶏を出荷し、その後60日以上鶏舎を空ける取組に対し、奨励金を交付します。</p> <p>○奨励金単価 ※（ ）内は10万羽未満飼養生産者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空舎期間60日以上90日未満 210円/羽（310円/羽） ・空舎期間90日以上120日未満 420円/羽（620円/羽） ・空舎期間120日以上150日未満 630円/羽（930円/羽） ・食鳥処理場への奨励金 47円/羽 |
| 問合せ先 | ◆一般社団法人日本養鶏協会 TEL：03-3297-5515 |

長期・低利な融資に借り換えたい

| | |
|-------------|--|
| 事業名 | 畜産リノベ資金・酪肉支援資金 |
| 分類 | 【畜産】【融資】【経営改善、技術習得、人材確保】 |
| 事業要旨 | <p>1 畜産リノベ資金 経営指導とセットで、畜産経営における借入金のうち、毎年の返済金額の不足分を限度額として、長期・低利で借換を行うことができます。</p> <p>2 酪肉支援資金 酪農・肉用牛経営における3年分の返済金額を限度額として、長期・低利で借換を行うことができます。</p> |
| 事業概要 | <p>【事業主体（事業対象）】</p> <p>1 畜産リノベ資金 専門家による経営指導により抜本的な経営改善を図る酪農・肉用牛、養豚農家</p> <p>2 酪肉支援資金 継続的な経営指導は必要としないものの一時的な資金繰りが必要な酪農・肉用牛農家</p> <p>【事業内容】</p> <p>1 畜産リノベ資金 経営指導とセットで、毎年の返済金額の不足分を限度として、長期・低利での借換融資が受けられます。 ◇償還期限 肉用牛・酪農：25年以内（据置5年以内） 養豚：15年以内（据置5年以内） ◇借入金利 2.70%（令和8年2月19日現在）</p> <p>2 酪肉支援資金 酪農・肉用牛経営における3年分の返済金額を限度額として、長期・低利での借換融資が受けられます。 ◇償還期限 25年以内（据置5年以内） ◇借入金利 2.70%（令和8年2月19日現在）</p> |
| 問合せ先 | ◆畜産課 経営環境G TEL：029-301-3977 |

儲かる農業を実現するための機械・施設等を導入したい

| | |
|-------------|---|
| 事業名 | 儲かる産地支援事業 |
| 分類 | 【機械・施設整備】 |
| 事業要旨 | 生産性の向上や付加価値の向上、ICTや高性能機械など低コストで高品質な農作物が生産できる仕組の導入を進め、収益性の高いモデル的な担い手農家の育成を通し、「儲かる農業」の実現を支援します。 |
| 事業概要 | <p>〔事業主体（事業対象）〕 農協、営農集団、農業法人、認定農業者 等</p> <p>〔事業内容〕〔対象経費〕 以下の取組に必要な機械・施設等の導入を支援します。</p> <p>(1) 先端技術の導入、高品質・安定生産に必要な機械や施設の整備</p> <p>① 先端技術の導入支援 ICTを活用したスマート農業の実践、新規作物の導入・省力化に必要な機械や施設の整備等を支援。(ICTを活用した高度な環境測定器および環境制御技術、農薬散布ドローン、GPS内蔵自動走行トラクター等)</p> <p>② 高品質・安定生産に向けた取組支援 高品質な農作物を安定的に供給するために必要な機械・施設等の設備の導入を支援する。(収穫機、養液土耕システム、色彩選別機、果樹棚の整備および補修等) ※汎用性の高い機械は対象外(トラック、フォークリフト、動力噴霧機等)</p> <p>(2) 高品質メロン創出及び輸出拡大に必要な施設や機械の整備 ・「イバラキング」の贈答用販売や輸出向けのメロンの品質安定化に取り組むために必要なパイプハウス等の施設及び非破壊糖度計の機械の導入支援</p> <p>〔補助要件等（主なもの）〕</p> <p>(1) 先端技術の導入、高品質・安定生産に必要な機械や施設の整備</p> <p>① 受益農家戸数が3戸以上であること。 ※先端技術導入の場合は受益農家戸数が1戸以上であること。</p> <p>② 事業実施主体又は受益農家には認定農業者が含まれていること。</p> <p>③ 事業費が160万円以上であること。</p> <p>④ 事業実施後、3年後までに販売金額・出荷量・平均収量・平均単価のいずれかにおいて3%の向上が見込めること、又は生産コストの3%削減が見込めること。</p> <p>(2) 高品質メロン創出及び輸出拡大に必要な施設や機械の整備</p> <p>① 高品質メロン創出に取り組む場合は、以下の全ての基準を満たすものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高品質な「イバラキング」の栽培に取り組むこと。 ・当該事業により生産したメロンについて、百貨店、果実専門店等で贈答用として試験販売に取り組むこと。 <p>② 輸出向けメロンの品質安定化に向けた施設の高度化に取り組む場合は、以下の全ての基準を満たすものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メロンのトンネル栽培からパイプハウス栽培に切り替えること。 ・過去3年間に於いて輸出実績があり、安定的な輸出ルートが確保されていること。 ・生産した果実の試験輸出に取り組むこと。 |

〔補助限度額・補助率〕

- (1) 先端技術の導入、高品質・安定生産に必要な機械や施設の整備：1/3 以内
- (2) 高品質メロン創出及び輸出拡大に必要な施設や機械の整備：1/2 以内

問合せ先

◆最寄りの農林事務所 企画調整部門 振興・環境室 農業振興課

| | | | | | |
|----|--------------|----|--------------|----|--------------|
| 県北 | 0294-80-3303 | 県央 | 029-221-3034 | 鹿行 | 0291-33-4117 |
| 県南 | 029-822-7086 | 県西 | 0296-24-9169 | | |

- ◆産地振興課 農産・特産振興G TEL：029-301-3921
- 施設野菜・果樹花きG TEL：029-301-3954
- 露地野菜G TEL：029-301-3950

新たに抹茶の生産に係る施設を整備したい

| | | | | | | | | | | | | | |
|-------------|---|----|--------------|----|--------------|----|--------------|----|--------------|----|--------------|--|--|
| 事業名 | いばらきの抹茶産地育成事業 | | | | | | | | | | | | |
| 分類 | 【機械・施設整備】 | | | | | | | | | | | | |
| 事業要旨 | 急増する国内外の需要に対応した茶生産への転換を加速化するため、高品質な抹茶づくりに取り組む事業者の機械・施設整備を支援します。 | | | | | | | | | | | | |
| 事業概要 | <p>〔事業主体（事業対象）〕 農業者の組織する団体、製茶事業者 等</p> <p>〔事業内容〕 高品質な抹茶づくりに取り組む事業者の機械・施設整備を支援します。</p> <p>〔補助要件等〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受益農家数が5戸以上であること ・目標年度までにてん茶の生産を開始すること ・達成すべき成果目標の基準を満たしていること <p>〔対象経費〕 抹茶専用の加工施設の整備費 等</p> <p>〔補助限度額・補助率〕 2/3以内</p> | | | | | | | | | | | | |
| 問合せ先 | <p>◆お住まいの市町村の農政主管課</p> <p>◆最寄りの農林事務所 企画調整部門 振興・環境室 農業振興課</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 5px 0;"> <tr> <td style="width: 25%;">県北</td> <td style="width: 25%;">0294-80-3303</td> <td style="width: 25%;">県央</td> <td style="width: 25%;">029-221-3034</td> <td style="width: 25%;">鹿行</td> <td style="width: 25%;">0291-33-4117</td> </tr> <tr> <td>県南</td> <td>029-822-7086</td> <td>県西</td> <td>0296-24-9169</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>◆産地振興課 農産・特産振興G TEL：029-301-3921</p> | 県北 | 0294-80-3303 | 県央 | 029-221-3034 | 鹿行 | 0291-33-4117 | 県南 | 029-822-7086 | 県西 | 0296-24-9169 | | |
| 県北 | 0294-80-3303 | 県央 | 029-221-3034 | 鹿行 | 0291-33-4117 | | | | | | | | |
| 県南 | 029-822-7086 | 県西 | 0296-24-9169 | | | | | | | | | | |


効率的、高収益な生産出荷体制を整備したい

| | | | | | | | | | | | | | |
|-------------|--|----|--------------|----|--------------|----|--------------|----|--------------|----|--------------|--|--|
| 事業名 | 農産園芸共同利用施設整備事業費 (いばらきの産地パワーアップ支援事業収益性向上対策) | | | | | | | | | | | | |
| 分類 | 【機械・施設整備】 | | | | | | | | | | | | |
| 事業要旨 | 水田・畑作・野菜・果樹等の産地が創意工夫を活かして、高収益な作物・栽培体系への転換を図る取組に必要な施設整備等や機械等のリース導入等を、すべての農作物を対象として支援します。 | | | | | | | | | | | | |
| 事業概要 | <p>【事業主体（事業対象）】 市町村、公社、土地改良区、農業者、農業者の組織する団体、民間事業者等</p> <p>【事業内容】 (1)整備事業 高収益な作物・栽培体系への転換を図る取組に必要な施設の整備等を支援します。 (2)基金事業 高収益な作物・栽培体系への転換を図る取組に必要な機械のリース導入や生産資材の導入等を支援します。</p> <p>【補助要件等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 支援対象：地域農業再生協議会等が作成する「産地パワーアップ計画」に位置付けられている事業主体 ・ 面積要件：水稲 50ha、麦 30ha、大豆 20ha、いも類 25ha、茶 10ha、果樹 10ha、露地野菜 10ha、施設野菜 5ha、露地花き 5ha、施設花き 3ha、特用林産物 2ha 等であること (中山間地域等においては、要件の緩和あり) ・ 機械のリース導入は、本体価格が 50 万円以上であること。 ・ 施設整備の実施にあたっては、費用対効果の分析を実施し、投資効率が 1.0 以上であること。 <p>【対象経費】 高収益な作物・栽培体系への転換を図る取組に必要な機械のリース導入に要する経費、施設整備に必要な経費、果樹の改植に必要な経費、高収益作物・栽培体系への転換に必要な資材導入等に要する経費等 (水稲乾燥調製施設、野菜・果樹集出荷貯蔵施設、農産物加工処理施設、低コスト耐候性ハウス、生産技術高度化施設、GPS 活用型農業機械 等)</p> <p>【補助限度額・補助率】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 補助限度額：20 億円以内/事業・年 ・ 補助率：1/2 以内 (ただし、品目や整備する施設等により異なる) | | | | | | | | | | | | |
| 問合せ先 | <p>◆お住まいの市町村の農政主管課</p> <p>◆最寄りの農林事務所 企画調整部門 振興・環境室 農業振興課</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 25%;">県北</td> <td style="width: 25%;">0294-80-3303</td> <td style="width: 25%;">県央</td> <td style="width: 25%;">029-221-3034</td> <td style="width: 25%;">鹿行</td> <td style="width: 25%;">0291-33-4117</td> </tr> <tr> <td>県南</td> <td>029-822-7086</td> <td>県西</td> <td>0296-24-9169</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>◆産地振興課 農産・特産振興G TEL：029-301-3921 施設野菜・果樹花きG TEL：029-301-3954 露地野菜G TEL：029-301-3950</p> | 県北 | 0294-80-3303 | 県央 | 029-221-3034 | 鹿行 | 0291-33-4117 | 県南 | 029-822-7086 | 県西 | 0296-24-9169 | | |
| 県北 | 0294-80-3303 | 県央 | 029-221-3034 | 鹿行 | 0291-33-4117 | | | | | | | | |
| 県南 | 029-822-7086 | 県西 | 0296-24-9169 | | | | | | | | | | |

生産から流通までの取組に必要な大規模共同利用施設を整備したい

| | | | | | | | | | | | | | |
|-------------|---|----|--------------|----|--------------|----|--------------|----|--------------|----|--------------|--|--|
| 事業名 | 農産園芸共同利用施設整備事業（いばらきの強い農業づくり総合支援事業） | | | | | | | | | | | | |
| 分類 | 【機械・施設整備】 | | | | | | | | | | | | |
| 事業要旨 | 国内農産並びに園芸作物の安定供給体制の確立を図るため、販売価格の向上や販売量の増大及び生産流通コストの低減等、生産から流通までの強い農業づくりに必要な大規模共同利用施設の整備等を支援します。 | | | | | | | | | | | | |
| 事業概要 | <p>〔事業主体（事業対象）〕 市町村、公社、農業者の組織する団体等</p> <p>〔事業内容〕 販売価格の向上や販売量の増大、生産コストの低減など、産地の収益力強化や合理化の取組等に必要な大規模共同利用施設の整備等を支援します。</p> <p>〔補助要件等〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総事業費：5千万円以上（農業機械は対象外）であること。 ・受益者数：受益農業従事者が5名以上であること。 ・受益面積：水稲50ha以上、麦30ha以上、大豆20ha以上、果樹10ha以上、露地野菜10ha以上、施設野菜5ha以上、露地花き5ha以上、施設花き3ha以上、等であること。（品目により異なる） ・事業の実施にあたっては、投資が過剰とならないように、事前に費用対効果の分析を行い、導入により得られる効果の大きい事業を採択します。 ・事業の導入から翌々年度までに目指す成果目標を2つ選定し、現状と目標をポイント化して、事業効果を確保するとともに採択の優先順位を決定します。 <p>〔対象経費〕 農産・園芸作物の生産及び流通に必要な大規模共同利用施設等の整備に係る経費（水稲乾燥調製施設、野菜・果樹・花き集出荷貯蔵施設、農産物加工処理施設、低コスト耐候性ハウス、生産技術高度化施設、等）</p> <p>〔補助限度額・補助率〕 補助率：1/2以内（ただし、品目や整備する施設により異なる） 補助限度額：20億円以内（ただし、整備する施設等により異なる）</p> | | | | | | | | | | | | |
| 問合せ先 | <p>◆お住まいの市町村の農政主管課</p> <p>◆最寄りの農林事務所 企画調整部門 振興・環境室 農業振興課</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 25%;">県北</td> <td style="width: 25%;">0294-80-3303</td> <td style="width: 25%;">県央</td> <td style="width: 25%;">029-221-3034</td> <td style="width: 25%;">鹿行</td> <td style="width: 25%;">0291-33-4117</td> </tr> <tr> <td>県南</td> <td>029-822-7086</td> <td>県西</td> <td>0296-24-9169</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>◆産地振興課 農産・特産振興G TEL：029-301-3921 施設野菜・果樹花きG TEL：029-301-3954 露地野菜G TEL：029-301-3950</p> | 県北 | 0294-80-3303 | 県央 | 029-221-3034 | 鹿行 | 0291-33-4117 | 県南 | 029-822-7086 | 県西 | 0296-24-9169 | | |
| 県北 | 0294-80-3303 | 県央 | 029-221-3034 | 鹿行 | 0291-33-4117 | | | | | | | | |
| 県南 | 029-822-7086 | 県西 | 0296-24-9169 | | | | | | | | | | |

農業支援サービス（農作業受委託等）に必要な機械等を整備したい

| | | | | | | | | | | | | | |
|-------------|--|----|--------------|----|--------------|----|--------------|----|--------------|----|--------------|--|--|
| 事業名 | 農産園芸共同利用施設整備事業費 (いばらきの農業支援サービス事業緊急拡大支援対策) | | | | | | | | | | | | |
| 分類 | 【機械・施設整備】 | | | | | | | | | | | | |
| 事業要旨 | <p>農業者の高齢化・減少が進む中においても農業の持続的な発展を図るため、農業支援サービス事業体の育成や活動の促進等の取組を支援します。</p> <p>※農業支援サービス：農作業の受委託、機械のリース・レンタル、農業関連のデータ分析、農業現場への人材派遣</p> | | | | | | | | | | | | |
| 事業概要 | <p>〔事業主体（事業対象）〕 農業者や個人事業者（個人、法人は問わない）、JA、民間事業者等。ただし、いずれも概ね茨城県内においてサービスを提供する事業者であること。</p> <p>〔事業内容〕 (1) 農業支援サービスの立上げ・事業拡大支援のうち立上げ・事業拡大の取組 サービス事業の新規立上げ又は既存のサービス事業の拡大に必要なニーズ調査、専門人材の育成等の取組を支援します。 (2) 農業支援サービスの立上げ・事業拡大支援のうちスマート農業機械等の導入サービスの提供に必要となるスマート農業機械等の導入を支援します。</p> <p>〔補助要件等〕 ・農業機械の導入は、本体価格が50万円以上であり、自作地で使用するものでないこと ・農業者の行う農作業を代行する取組の場合は、受委託契約（農業者との直接契約を原則とする）の下で農作業を代行するもの 等</p> <p>〔対象経費〕 ・サービスの提供にあたって必要となるライセンスの取得経費 ・サービスの提供に要する農業機械の導入経費 等 ・ただし、農産物の乾燥・調製・貯蔵・加工・出荷の代行は農業支援サービスとはみなされないため、それらに必要な機械の導入経費は対象外。（例：乾燥機、色彩選別機等）</p> <p>〔補助限度額・補助率〕 (1) 定額（上限1,500万円、ただし、事業実施主体がスマート農業技術活用促進法に基づき認定された促進事業者で、本事業の取組が当該計画の内容と合致している場合は3,000万円） (2) 1/2以内（上限1,500万円、ただし、スマート農業機械を導入する場合は3,000万円、事業実施主体がスマート農業技術活用促進法に基づき認定された促進事業者で本事業の取組が当該計画の内容と合致している場合は5,000万円）</p> | | | | | | | | | | | | |
| 問合せ先 | <p>◆お住まいの市町村の農政主管課</p> <p>◆最寄りの農林事務所 企画調整部門 振興・環境室 農業振興課</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">県北</td> <td style="width: 25%;">0294-80-3303</td> <td style="width: 25%;">県央</td> <td style="width: 25%;">029-221-3034</td> <td style="width: 25%;">鹿行</td> <td style="width: 25%;">0291-33-4117</td> </tr> <tr> <td>県南</td> <td>029-822-7086</td> <td>県西</td> <td>0296-24-9169</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>◆産地振興課 農産・特産振興G TEL：029-301-3921</p> <p>そのほか、国直採メニューも含めた事業全体の情報については、農林水産省のHPをご覧ください。</p> <div style="text-align: right;">  </div> | 県北 | 0294-80-3303 | 県央 | 029-221-3034 | 鹿行 | 0291-33-4117 | 県南 | 029-822-7086 | 県西 | 0296-24-9169 | | |
| 県北 | 0294-80-3303 | 県央 | 029-221-3034 | 鹿行 | 0291-33-4117 | | | | | | | | |
| 県南 | 029-822-7086 | 県西 | 0296-24-9169 | | | | | | | | | | |

6次産業化に取り組むために商品開発や施設整備を行いたい

| | |
|-------------|---|
| 事業名 | 農山漁村振興交付金（地域資源活用価値創出対策）のうち 地域資源活用・地域連携推進支援事業、地域資源活用価値創出整備事業（産業支援型） |
| 分類 | 【機械・施設整備】、【6次産業化】 |
| 事業要旨 | 地域資源の活用や地域の多様な事業者との連携による価値創出を推進し、農山漁村における所得と雇用機会の確保を図るため、農林水産物や農林水産業にかかわる多様な地域資源を活用した商品開発の取組等や加工・販売施設等の整備を支援します。 |
| 事業概要 | <p>1 地域資源活用・地域連携推進支援事業<ソフト事業> 【事業主体（事業対象）】 農林漁業者等、商工業者の組織する団体、民間事業者、事業協同組合 等</p> <p>【事業内容】 （1）2次・3次産業と連携した加工・直売の取組に対する支援 （2）新商品開発・販路開拓の取組に対する支援 等</p> <p>【補助要件等】 多様な事業者が連携（事業実施主体を含む3者以上（農林漁業者は必須））するネットワークを構築しており、又は構築することが確実であること 等</p> <p>【対象経費】 （1）調査・検討費、新たなメニュー・新商品等開発費、実需者評価会実施費、通信費、消耗品費等 （2）新商品開発費、消費者評価会実施費、商談会等への出展経費等</p> <p>【補助限度額・補助率】 事業費の1/2以内 等（500万円以内）</p> <p>2 地域資源活用価値創出整備事業（産業支援型）<ハード事業> 【事業主体（事業対象）】 ・「六次産業化・地産地消法」に基づく総合化事業計画等の認定を受けた農林漁業者団体（原則として、農林漁業者3戸以上で構成していること、以下同じ。） ・市町村戦略に基づき取組を行う農林漁業者団体 等</p> <p>【事業内容】 総合化事業計画等に基づいて実施する取組に必要な機械や建物の整備を支援</p> <p>【補助要件等】 ・多様な事業者（事業実施主体を含む3者以上）が連携するネットワークを構築し、連携の目的及び事業実施主体と連携する事業者の成果目標の達成に向けた役割分担を定めた規約その他の文書が作成されていること ・制度資金等の融資を活用すること ・本事業で取り扱う農林水産物について、事業実施主体及びネットワークを構築する農林漁業者等が、おおむね50パーセント以上の生産を行っている又は目標年度までに生産を計画していること 等</p> <p>【対象経費】 農林水産物等の生産・加工・販売等に必要な施設等の整備に要する経費等</p> <p>【補助限度額・補助率】 補助率：事業費の3/10以内（原則1億円以内） （地域資源の活用や地域の多様な事業者との連携による価値創出等の取組に関する市町村戦略等に基づく取組等は1/2以内）</p> |
| 問合せ先 | ◆お住まいの市町村 ◆農業技術課 研究・普及G TEL：029-301-3936 |

再生可能エネルギー利用にモデル的に取り組みたい

| | |
|-------------|--|
| 事業名 | 地域循環型エネルギーシステム構築事業【国補】 |
| 分類 | 【機械・施設整備】 |
| 事業要旨 | みどりの食料システム戦略の実現に向けて、再生可能エネルギー利用のモデル的取組支援等、持続的な食料システム構築への取組を支援します。 |
| 事業概要 | <p>〔事業主体（事業対象）〕 地方公共団体等が構成する協議会、地方公共団体又は民間団体等 ※設備導入を行う場合は協議会の組織が必須</p> <p>〔事業内容〕</p> <p>1 営農型太陽光発電のモデル的取組支援 次の取組を支援する。 ①推進会議の開催（必須） 関係者で地域モデルの検討、事業成果のとりまとめを実施する推進会議の開催。 ②課題解決に向けた調査等（必須） 発電設備下における作目や栽培体系、発電設備の遮光率や強度、設置場所の調査、先進地区の視察等を実施。 ③発電設備の導入（任意）</p> <p>2 次世代型太陽電池（ペロブスカイト）のモデル的取組支援 次の取組を支援する。 ①推進会議の開催（必須） 事業の進捗管理や発電した電気の利用法の検討、事業成果のとりまとめを実施する推進会議の開催。 ②課題解決に向けた調査等（必須） 導入にあたり最適な設置方法・設置場所等の調査・検討や、発電量・電気の利用方法・経済性・耐久性に関する調査・検討などを行う。 ③次世代型太陽電池の導入（必須）</p> <p>3 未利用資源等のエネルギー利用促進への実証支援 次の取組を支援する。 ①バイオ燃料等製造に係る資源作物の栽培実証 荒廃農地等を活用した資源作物由来のバイオ燃料等製造に係る検討、栽培実証、既存ボイラーにおける燃焼実証を実施。 ②未利用資源の混合利用促進 既存ボイラー形式等の使用・運用実態等の調査や、炉への影響や混合利用による効果検証等を実施。</p> |

〔補助要件等〕

- 1 営農型太陽光発電のモデル的取組支援
 - ・協議会等において、営農型太陽光発電等の再生可能エネルギーに関する知見や経験を有している者による体制が確保されていること。
 - ・事業実施内容が、地域に例を見ない先進的かつモデル的な取組となっており、将来的な波及効果が期待できること。
- 2 次世代型太陽電池（ペロブスカイト）のモデル的取組支援
 - ・協議会等において、次世代型太陽電池に関する知見や経験を有している者による体制が確保されていること。
 - ・国産の原材料を活用するなどにより、次世代型太陽電池産業の競争力強化に寄与する内容となっていること。
- 3 未利用資源等のエネルギー利用促進への実証支援
 - ・検討会には構成員として農業者及び都道府県又は市町村は必ず参画するものとする。
 - ・事業実施により、将来的に資源作物の栽培面積が拡大し、バイオ燃料等の製造が見込まれること。

〔対象経費〕

- ①営農型太陽光発電モデルの策定に係る経費
- ②次世代型太陽電池（ペロブスカイト）のモデルの策定に係る経費
- ③未利用資源等のエネルギー利用促進への実証支援に係る経費

〔補助限度額・補助率〕

- ・ 1 の取組：定額、1/2 以内（機械の貸借、模型の設置、発電設備に係る経費）
※上限額 1 営農型太陽光発電設備当たり 800 万円
- ・ 2 の取組：定額、1/2 以内（機械の貸借、次世代型太陽電池に係る経費）
※上限額 推進会議の開催、調査、次世代型太陽電池の導入の合計で 1,700 万円
- ・ 3 の取組：定額
※上限額 資源作物の栽培実証については 500 万円

問合せ先

- ◆農業技術課 有機農業・気候変動対策推進室 TEL：029-301-3931
- ◆最寄りの農林事務所 企画調整部門 企画調整課

| | | | | | |
|----|--------------|----|--------------|----|--------------|
| 県北 | 0294-80-3301 | 県央 | 029-350-3017 | 鹿行 | 0291-33-6285 |
| 県南 | 029-822-7083 | 県西 | 0296-24-9164 | | |

輸出先国の規制に対応した食品加工施設を整備したい

| | |
|-------------|--|
| 事業名 | 茨城県食品産業の輸出向け HACCP 等対応施設整備事業 |
| 分類 | 【機械・施設整備】、【輸出・販路拡大】 |
| 事業要旨 | 農林水産物・食品の輸出拡大を図るため、輸出先国の規制等（輸出に必要な HACCP 等の認定・認証の取得）への対応に必要な施設や機器の整備、認証取得のためのコンサルティング経費等を支援します。 |
| 事業概要 | <p>〔事業主体（事業対象）〕 食品製造事業者、食品流通事業者、中間加工事業者等 ※法人格を有する農林漁業者等が、製造・加工、流通等の事業を行う場合も含む。</p> <p>〔事業内容〕 (1) 施設等整備事業 輸出先国の規制等（輸出に必要な HACCP 等の認定・認証の取得）への対応に必要な施設や機器の整備を支援。 ただし、施設の新設及び増築については、掛かり増し分が補助対象。 (2) 効果促進事業 (1)の施設・機器の整備と一体的に行い、認証の取得のために必要となるコンサルティング等の経費を支援。</p> <p>〔補助要件等〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 目標年度における輸出額を、現状の輸出額より 2 千万円以上増加させること。 ・ 輸出先となるターゲット国が決定しており、輸出しようとする品目（商品）について、輸出先国の市場及び規制に関する分析が行われていること。 ・ GFP（農林水産物・食品輸出プロジェクト）に登録していること。 ・ 補助対象事業費に充てるために金融機関等から補助対象事業の全体事業費の 10% 以上の貸付けを受けて事業を実施すること。 ・ 事業実施主体において HACCP チームが編成されていること。なお、チームメンバーには HACCP 研修受講者を必ず含むこと。 等 <p>〔対象経費〕 交付対象施設・機器の例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 製造・加工・流通等の施設の新設・増築・改修（かかり増し分） ・ エアーシャワー、殺菌機等の衛生管理設備の導入 ・ 温度管理を要する装置・設備の導入 ・ コンサルティングの導入 等 <p>〔補助限度額・補助率〕 (1) 補助率：1/2 以内 (2) 補助額上限・下限：国予算区分で異なるため、下記問合せ先に確認ください。 ※予算は事業計画の内容により国が決定します。</p> |
| 問合せ先 | ◆営業戦略部 販売戦略課 戦略・分析 G TEL：029-301-3966 |

農業用機械・施設を整備したい

| | | | | | | | | | | | | | |
|-------------|--|----|--------------|----|--------------|----|--------------|----|--------------|----|--------------|--|--|
| 事業名 | 経営体育成支援事業（農地利用効率化等支援事業・地域農業構造転換支援事業） | | | | | | | | | | | | |
| 分類 | 【機械・施設整備】 | | | | | | | | | | | | |
| 事業要旨 | 地域計画の早期実現に向けて、地域の中核となる担い手が経営改善に取り組む場合に必要農業用機械・施設の導入を支援します。 | | | | | | | | | | | | |
| 事業概要 | <p>〔事業主体（事業対象）〕 市町村</p> <p>〔事業内容〕</p> <p>1 農地利用効率化等支援事業</p> <p>（1）融資主体支援タイプ</p> <p>①融資主体型補助事業 融資を受けて、経営改善に必要な農業用機械・施設を導入する場合に支援。 助成対象者：地域計画のうち目標地区に位置付けられた者（認定農業者等）</p> <p>②追加的信用供与補助事業 融資主体型に係る融資の円滑化を図るため、農業信用基金協会への補助金の積み増しによる金融機関への債務保証の拡大を支援。（上記①の助成対象者が希望する場合） 助成対象者：県農業信用基金協会</p> <p>（2）条件不利地域支援タイプ 経営規模の零細な地域等における意欲ある経営体の育成に必要な共同利用機械等の導入を支援。 助成対象者：農家3戸以上で組織する団体、農協、土地改良区等</p> <p>2 地域農業構造転換支援事業 地域の中核となって農地を引き受ける担い手の経営改善に必要な農業用機械・施設の導入及び農業用機械のリース導入を支援 助成対象者：地域計画のうち目標地区に位置付けられた者（認定農業者等）</p> <p>〔補助要件等〕</p> <p>（1）融資主体型補助事業 助成対象者が融資を受けて行う取組であること等。</p> <p>（2）地域農業構造転換支援事業 地域計画の目標集積率が6割以上であること等。</p> <p>〔対象経費〕 事業費が整備内容ごとに50万円以上</p> <p>〔補助限度額・補助率〕</p> <p>（1）融資主体支援タイプ</p> <p>①融資主体型補助事業 融資残額以内、3/10以内（300万円、600万円）</p> <p>②追加的信用供与補助事業 定額</p> <p>（2）条件不利地域支援タイプ 1/2以内（4,000万円）</p> <p>（3）地域農業構造転換支援事業 購入：3/10以内、リース：購入価格の3/7相当 （法人3,000万円、個人1,500万円）</p> | | | | | | | | | | | | |
| 問合せ先 | <p>◆農業経営課 基盤強化G TEL：029-301-3833</p> <p>◆最寄りの農林事務所 企画調整部門 企画調整課</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <tr> <td style="width: 25%;">県北</td> <td style="width: 25%;">0294-80-3301</td> <td style="width: 25%;">県央</td> <td style="width: 25%;">029-221-3012</td> <td style="width: 25%;">鹿行</td> <td style="width: 25%;">0291-33-6285</td> </tr> <tr> <td>県南</td> <td>029-822-7083</td> <td>県西</td> <td>0296-24-9164</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | 県北 | 0294-80-3301 | 県央 | 029-221-3012 | 鹿行 | 0291-33-6285 | 県南 | 029-822-7083 | 県西 | 0296-24-9164 | | |
| 県北 | 0294-80-3301 | 県央 | 029-221-3012 | 鹿行 | 0291-33-6285 | | | | | | | | |
| 県南 | 029-822-7083 | 県西 | 0296-24-9164 | | | | | | | | | | |

農業制度資金を利用したい（主な資金）

| 事業名 | 農業近代化資金利子補給金、農業経営改善促進資金利子助成金、 農業経営負担軽減支援資金利子補給金、農業経営基盤強化資金利子助成金、 青年等就農資金、農業改良資金、農林漁業セーフティネット資金、 経営体育成強化資金、茨城県農業ビジネス保証制度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------------|--|----------------------------|------------------------|----------------|-----------|------------|-------|----|----------------|-----|-----------|---------|--------------------------|-------|---------------|--------------|-----|-------------------------|----------------------------|-------|----|------|---|------------------|---------|-------|-------------|------|---|------------|-------------------------|-------------------|----------------|--------------|------|------------|--------------------------|---------------------|-----|-------------|------|-----|--|----------------------------|-----|-------------|------|----------|--------------------|-------|----------------|-------------|------|-----|-----------|--------------------|-------|----------------|-----|------------|---------------|---------|--------------|------------------------|------|-----|
| 分類 | 【融資】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業要旨 | 低利かつ長期の償還期間でご利用いただけるよう、農業協同組合や日本政策金融公庫などの金融機関が融資する農業制度資金に対して、国や県等が利子補給を行っています。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業概要 | <p>〔資金一覧表〕 利率：令和8年3月18日現在</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">資金名</th> <th style="width: 15%;">借入限度額</th> <th style="width: 10%;">利率</th> <th style="width: 15%;">償還期間 [据置期間]</th> <th style="width: 10%;">融資率</th> <th style="width: 10%;">主な 用途※</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">農業近代化資金</td> <td>個人 ：1,800万円 法人：2億円</td> <td style="text-align: center;">2.50%</td> <td style="text-align: center;">15年 [3～7年]</td> <td style="text-align: center;">80%～ 100%</td> <td style="text-align: center;">機・運</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">農業経営改善促進資金 (スーパーS資金)</td> <td>個人：500万円 法人 ：2,000万円</td> <td style="text-align: center;">2.15%</td> <td style="text-align: center;">1年</td> <td style="text-align: center;">100%</td> <td style="text-align: center;">運</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">農業経営負担 軽減支援資金</td> <td>営農負債残高分</td> <td style="text-align: center;">2.50%</td> <td style="text-align: center;">10年 [3年]</td> <td style="text-align: center;">100%</td> <td style="text-align: center;">負</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center; vertical-align: middle;">日本政策金融公庫資金</td> <td style="text-align: center;">農業経営基盤強化資金 (スーパーL資金)</td> <td>個人：3億円 法人：10億円</td> <td style="text-align: center;">1.65～ 2.50%</td> <td style="text-align: center;">25年 [10年]</td> <td style="text-align: center;">100%</td> <td style="text-align: center;">地・機 運・負</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">青年等就農資金 (対象者：認定新規就農者)</td> <td style="text-align: center;">3,700万円 (特認 1億円)</td> <td style="text-align: center;">無利子</td> <td style="text-align: center;">17年 [5年]</td> <td style="text-align: center;">100%</td> <td style="text-align: center;">機・運</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">農業改良資金 (対象者：みどりの食料システム法の認定者等、6次産業化法の認定者等)</td> <td>個人 ：5,000万円 法人：1.5億円</td> <td style="text-align: center;">無利子</td> <td style="text-align: center;">12年 [3年]</td> <td style="text-align: center;">100%</td> <td style="text-align: center;">機・運 開</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">農林漁業 セーフティネット資金</td> <td style="text-align: center;">600万円</td> <td style="text-align: center;">1.65～ 2.35%</td> <td style="text-align: center;">15年 [3年]</td> <td style="text-align: center;">100%</td> <td style="text-align: center;">災・経</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">経営体育成強化資金</td> <td>個人：1.5億円 法人：5億円</td> <td style="text-align: center;">2.50%</td> <td style="text-align: center;">25年 [3～10年]</td> <td style="text-align: center;">80%</td> <td style="text-align: center;">地・機 運・負</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">茨城県農業ビジネス保証制度</td> <td style="text-align: center;">5,000万円</td> <td style="text-align: center;">金融機関 所定利率</td> <td style="text-align: center;">一括2年 10～15年 [2年]</td> <td style="text-align: center;">100%</td> <td style="text-align: center;">機・運</td> </tr> </tbody> </table> <p>※主な用途 地：農地の取得 機：機械・施設の購入 運：運転資金 開：農畜産物の加工品開発 負：負債整理 災：災害からの復旧等 経：経営の維持安定</p> <p>各資金の詳細は、農業経営課ホームページをご覧ください。 茨城県 農業経営課 で検索⇒「金融担当」⇒「農業制度資金について」 https://www.pref.ibaraki.jp/nourinsuisan/nokeiei/dantaikinyuu/category/seidoshikin.html</p> | | | | | 資金名 | 借入限度額 | 利率 | 償還期間 [据置期間] | 融資率 | 主な 用途※ | 農業近代化資金 | 個人 ：1,800万円 法人：2億円 | 2.50% | 15年 [3～7年] | 80%～ 100% | 機・運 | 農業経営改善促進資金 (スーパーS資金) | 個人：500万円 法人 ：2,000万円 | 2.15% | 1年 | 100% | 運 | 農業経営負担 軽減支援資金 | 営農負債残高分 | 2.50% | 10年 [3年] | 100% | 負 | 日本政策金融公庫資金 | 農業経営基盤強化資金 (スーパーL資金) | 個人：3億円 法人：10億円 | 1.65～ 2.50% | 25年 [10年] | 100% | 地・機 運・負 | 青年等就農資金 (対象者：認定新規就農者) | 3,700万円 (特認 1億円) | 無利子 | 17年 [5年] | 100% | 機・運 | 農業改良資金 (対象者：みどりの食料システム法の認定者等、6次産業化法の認定者等) | 個人 ：5,000万円 法人：1.5億円 | 無利子 | 12年 [3年] | 100% | 機・運 開 | 農林漁業 セーフティネット資金 | 600万円 | 1.65～ 2.35% | 15年 [3年] | 100% | 災・経 | 経営体育成強化資金 | 個人：1.5億円 法人：5億円 | 2.50% | 25年 [3～10年] | 80% | 地・機 運・負 | 茨城県農業ビジネス保証制度 | 5,000万円 | 金融機関 所定利率 | 一括2年 10～15年 [2年] | 100% | 機・運 |
| 資金名 | 借入限度額 | 利率 | 償還期間 [据置期間] | 融資率 | 主な 用途※ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 農業近代化資金 | 個人 ：1,800万円 法人：2億円 | 2.50% | 15年 [3～7年] | 80%～ 100% | 機・運 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 農業経営改善促進資金 (スーパーS資金) | 個人：500万円 法人 ：2,000万円 | 2.15% | 1年 | 100% | 運 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 農業経営負担 軽減支援資金 | 営農負債残高分 | 2.50% | 10年 [3年] | 100% | 負 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 日本政策金融公庫資金 | 農業経営基盤強化資金 (スーパーL資金) | 個人：3億円 法人：10億円 | 1.65～ 2.50% | 25年 [10年] | 100% | 地・機 運・負 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 青年等就農資金 (対象者：認定新規就農者) | 3,700万円 (特認 1億円) | 無利子 | 17年 [5年] | 100% | 機・運 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 農業改良資金 (対象者：みどりの食料システム法の認定者等、6次産業化法の認定者等) | 個人 ：5,000万円 法人：1.5億円 | 無利子 | 12年 [3年] | 100% | 機・運 開 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 農林漁業 セーフティネット資金 | 600万円 | 1.65～ 2.35% | 15年 [3年] | 100% | 災・経 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 経営体育成強化資金 | 個人：1.5億円 法人：5億円 | 2.50% | 25年 [3～10年] | 80% | 地・機 運・負 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 茨城県農業ビジネス保証制度 | 5,000万円 | 金融機関 所定利率 | 一括2年 10～15年 [2年] | 100% | 機・運 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 問合せ先 | ◆農業経営課 団体・金融G TEL：029-301-3862 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

農業制度資金を利用したい（認定農業者向け優遇資金）

| 事業名 | 農業経営基盤強化資金利子助成金、農業改革推進資金利子助成金、認定農業者育成確保資金利子助成金 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------|---|--------------------------------|------------------|--------------------------------|------|------------------------|------|------------------------|-----------------|---|-------------------|----------------|--------------|------|------------|---|----------------------|------------------|--------------------------------|-----|------------|------|----------|--|-------------------|--|--|--|--|--|--|-------------|--|--------------------------|-------|---------------|------|-----|
| 分類 | 【融資】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業要旨 | 市町村から経営改善計画の認定を受けた農業者（認定農業者）を支援するため、通常の利子助成にさらに上乗せして利子助成を行います。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業概要 | <p>【事業主体（事業対象）】 認定農業者</p> <p>【事業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 認定農業者の方を貸付の対象としている資金（認定農業者向け） 2 認定農業者以外の方でも借入は可能だが、認定農業者が利用する場合には通常の利子助成にさらに上乗せして利子助成を行っている資金（上乗せ） <p>【補助要件等】 認定農業者であること。農業経営基盤強化資金及び農業近代化資金については、国費等の助成後、本人負担利率の1%を超える部分について市町村が補助を行う場合</p> <p>【対象経費】 利子助成</p> <p>【資金一覧表】 利率：令和8年3月18日現在</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th colspan="2">資金名</th> <th>借入限度額</th> <th>利率</th> <th>償還期間 [据置期間]</th> <th>融資率</th> <th>主な 用途※²</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">認定 農業者 向け</td> <td>農業経営基盤強化資金 (スーパーL資金) (※¹)</td> <td>個人：3億円 法人：10億円</td> <td>1.65～ 2.50%</td> <td>25年 [10年]</td> <td>100%</td> <td>地・機 運・負</td> </tr> <tr> <td> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">農業 改革 推進 資金</td> <td>新認定農業者 育成特別資金</td> <td>個人 ：500万円 法人 ：1,000万円</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">無利子</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">5年 [1年]</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">100%</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">地・機 運</td> </tr> <tr> <td></td> <td>新集落営農組織 育成特別資金</td> <td></td> </tr> </table> </td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">上 乗 せ</td> <td>農業近代化資金 (※¹) (認定農業者育成確保資金)</td> <td>個人 ：1,800万円 法人：2億円</td> <td>2.50%</td> <td>15年 [3～7年]</td> <td>100%</td> <td>機・運</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 一定の要件を満たす認定農業者については、(一財)農林水産長期金融協会による上乗せ助成あり</p> <p>※2 地：農地の取得 機：機械・施設の購入 運：運転資金 負：負債整理</p> <p>※他の農業制度資金もご利用いただけます。</p> <p>各資金の詳細は、農業経営課ホームページをご覧ください。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">茨城県 農業経営課 で検索⇒「金融担当」⇒「農業制度資金について」</div> <p>https://www.pref.ibaraki.jp/nourinsuisan/nokeiei/dantaikinyuu/category/seidoshikin.html</p> | 資金名 | | 借入限度額 | 利率 | 償還期間 [据置期間] | 融資率 | 主な 用途※ ² | 認定 農業者 向け | 農業経営基盤強化資金 (スーパーL資金) (※ ¹) | 個人：3億円 法人：10億円 | 1.65～ 2.50% | 25年 [10年] | 100% | 地・機 運・負 | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">農業 改革 推進 資金</td> <td>新認定農業者 育成特別資金</td> <td>個人 ：500万円 法人 ：1,000万円</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">無利子</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">5年 [1年]</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">100%</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">地・機 運</td> </tr> <tr> <td></td> <td>新集落営農組織 育成特別資金</td> <td></td> </tr> </table> | 農業 改革 推進 資金 | 新認定農業者 育成特別資金 | 個人 ：500万円 法人 ：1,000万円 | 無利子 | 5年 [1年] | 100% | 地・機 運 | | 新集落営農組織 育成特別資金 | | | | | | | 上 乗 せ | 農業近代化資金 (※ ¹) (認定農業者育成確保資金) | 個人 ：1,800万円 法人：2億円 | 2.50% | 15年 [3～7年] | 100% | 機・運 |
| 資金名 | | 借入限度額 | 利率 | 償還期間 [据置期間] | 融資率 | 主な 用途※ ² | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 認定 農業者 向け | 農業経営基盤強化資金 (スーパーL資金) (※ ¹) | 個人：3億円 法人：10億円 | 1.65～ 2.50% | 25年 [10年] | 100% | 地・機 運・負 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">農業 改革 推進 資金</td> <td>新認定農業者 育成特別資金</td> <td>個人 ：500万円 法人 ：1,000万円</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">無利子</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">5年 [1年]</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">100%</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">地・機 運</td> </tr> <tr> <td></td> <td>新集落営農組織 育成特別資金</td> <td></td> </tr> </table> | 農業 改革 推進 資金 | 新認定農業者 育成特別資金 | 個人 ：500万円 法人 ：1,000万円 | 無利子 | 5年 [1年] | 100% | 地・機 運 | | 新集落営農組織 育成特別資金 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 農業 改革 推進 資金 | 新認定農業者 育成特別資金 | 個人 ：500万円 法人 ：1,000万円 | 無利子 | 5年 [1年] | | | | | 100% | 地・機 運 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 新集落営農組織 育成特別資金 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 上 乗 せ | 農業近代化資金 (※ ¹) (認定農業者育成確保資金) | 個人 ：1,800万円 法人：2億円 | 2.50% | 15年 [3～7年] | 100% | 機・運 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 問合せ先 | ◆農業経営課 団体・金融G TEL：029-301-3862 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

遊休農地を解消して営農をしたい

| | |
|-------------|--|
| 事業名 | 遊休農地解消対策事業 |
| 分類 | 【農地・基盤整備】 |
| 事業要旨 | 担い手への農地の集積・集約化を促進するため、農地中間管理機構が遊休農地を借り受け、解消するために必要となる経費を支援します。 |
| 事業概要 | <p>〔事業主体（事業対象）〕 茨城県農地中間管理機構、市町村</p> <p>〔事業内容〕 遊休農地を解消し、営農するために行う簡易な整備を支援します。</p> <p>〔補助要件等〕</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 地域計画の目標地区において、受け手（担い手）が位置付けられていない1号遊休農地（緑区分）であること。 (2) 機構が10年以上の農地中間管理権を設定すること。 (3) 機構が遊休農地を借り受け、解消した年度の翌年度までに担い手への貸付け等が見込まれること。 <p>※所有者不明農地は対象外 ※農地の規模は1ha未満を想定</p> <p>〔対象経費〕 草刈り、除礫、抜根、整地等に必要な資材費、機械工費、委託料、労務費及びその他必要と認められる経費 ※畦畔除去、暗渠設置、区画整理等は対象外 伐根について、農業生産を目的に新植・改植された樹木は対象外</p> <p>〔補助限度額・補助率〕 定額 上限183千円/10a（整備全体に対する交付額） ※ 整備費が交付額を超えた場合は、出し手（所有者）又は受け手からの徴収</p> |
| 問合せ先 | <ul style="list-style-type: none"> ◆農業経営課 基盤強化G TEL：029-301-3833 ◆（公社）茨城県農林振興公社 農地中間管理事業部 TEL：029-350-8687 |

農地を貸出したい（農地を貸す方等への支援）

| | | | | | | | | | | | | | |
|-------------|--|----|--------------|----|--------------|----|--------------|----|--------------|----|--------------|--|--|
| 事業名 | 農地集積総合支援事業【農地集約化促進事業（旧機構集積協力金交付事業）】 | | | | | | | | | | | | |
| 分類 | 【農地・基盤整備】 | | | | | | | | | | | | |
| 事業要旨 | 農地中間管理機構を活用し、農地の集積・集約化等（団地化等）に取り組む地域を支援します。 | | | | | | | | | | | | |
| 事業概要 | <p>〔事業主体（事業対象）〕 市町村</p> <p>〔事業内容〕 農地中間管理機構を通じた貸借等により、農地の集約化等（団地化等）に取り組む地域に対し、支援金を交付する。</p> <p>〔補助要件等〕 事業実施年度の前年度の2月末から事業実施年度から起算して5年目の年度（集約化目標年度）までに以下のいずれかの要件を満たすこと。</p> <p>1 集約化加速タイプ（旧集約化奨励金）</p> <p>(1) 基本タイプ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・①地域の農地面積に占める団地面積が10%以上増加すること ・②地域の農地面積に占める団地面積が20%以上増加すること ・③団地面積の割合が30%以上の「地域」において団地又は独立する1筆のほ場の平均面積が1.5倍以上となること <p>【交付単価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・①：1.0万円/10a、②・③：3.0万円/10a <p>(2) 大規模集約タイプ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記1. (1) ①～③と同等 ・当該団地を耕作する者の経営規模が15ha以上であること（中山間地域は7.5ha、樹園地は2ha） ・当該団地を耕作する者の1団地の面積が5ha以上であること <p>【交付単価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5.0万円/10a <p>(3) 誘致団地創出タイプ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受け手不在農地等を団地化し誘致団地を形成すること ・誘致団地に関連する農地について、10年以上の中間管理権を設定すること ・集約化目標年度までに形成した誘致団地を新たな担い手に転貸すること <p>【交付単価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5.0万円/10a <p>2 地域集約化実現タイプ（旧地域集積協力金）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標地図内の農地面積に占める目標地図における同一の耕作者耕作する1ha以上の団地面積の割合が5割以上であること ・農地バンクの活用率が一定割合以上であること （①一般地域：80%超 ②中山間地域：60%超 80%以下、80%超） <p>【交付単価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2.0万円/10a～2.6万円/10a | | | | | | | | | | | | |
| 問合せ先 | <p>◆農業経営課 基盤強化G TEL：029-301-3833</p> <p>◆最寄りの農林事務所 企画調整部門 企画調整課</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <tr> <td style="width: 25%;">県北</td> <td style="width: 25%;">0294-80-3301</td> <td style="width: 25%;">県央</td> <td style="width: 25%;">029-221-3012</td> <td style="width: 25%;">鹿行</td> <td style="width: 25%;">0291-33-6285</td> </tr> <tr> <td>県南</td> <td>029-822-7083</td> <td>県西</td> <td>0296-24-9164</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | 県北 | 0294-80-3301 | 県央 | 029-221-3012 | 鹿行 | 0291-33-6285 | 県南 | 029-822-7083 | 県西 | 0296-24-9164 | | |
| 県北 | 0294-80-3301 | 県央 | 029-221-3012 | 鹿行 | 0291-33-6285 | | | | | | | | |
| 県南 | 029-822-7083 | 県西 | 0296-24-9164 | | | | | | | | | | |

農地の耕作条件の改善や農業用排水施設の長寿命化を図りたい

| 事業名 | 耕作条件改善事業 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------|---|------------------|-------------|---------|----|---------------------|------------------|----|--------------------|--|----|--------------------|--|----|--------------------|------------------|----|--------------------|-----------------|
| 分類 | 【農地・基盤整備】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業要旨 | 農地中間管理機構を活用した担い手への農地の集積・集約化及び高収益作物への転換を図るための耕作条件の改善や、農業用排水施設の長寿命化の取組等を支援します。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業概要 | <p>〔事業主体（事業対象）〕 市町村、土地改良区、農業協同組合、農地中間管理機構、農業法人 等</p> <p>〔事業内容〕</p> <p>(1) 農地耕作条件改善事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定額助成 区画拡大、暗渠排水、水路等の更新整備等 ・定率助成 農業用排水施設、暗渠排水、区画整理、農作業道、農地造成、管理省力化支援等 <p>(2) 農業基盤整備促進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(1)と同様 <p>(3) 農業水路等長寿命化・防災減災事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定率助成 農業用排水施設の新設、廃止、又は変更 <p>(4) 水利施設等保全高度化事業（簡易整備型）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定率助成 農業用排水施設の新設、廃止、又は変更 <p>(5) 畑作等促進整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定額助成 区画拡大 暗渠排水、湧水処理、末端畑地かんがい施設等 ・定率助成 農業用排水施設、暗渠排水、土層改良、調査調整等 <p>〔補助要件等〕</p> <p>(1) 地域計画を策定した区域（農地耕作条件改善事業）、農用地区域内の区域（農業水路等長寿命化・防災減災事業）等</p> <p>(2) 総事業費 200 万円以上</p> <p>(3) 受益者数が 2 者以上</p> <p>(4) 受益面積が 5 ha 以上（農業基盤整備促進事業及び水利施設等保全高度化事業（簡易整備型）のみ）</p> <p>〔対象経費〕 整備に要した費用</p> <p>〔補助限度額・補助率〕</p> <p>○定額助成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成単価は、事業種類、現場条件、施工条件等に応じ変動、事業費の 1/2 相当 <p>○定率助成……国 50%（6 法指定地域等 55%）、県 14%（農地耕作条件改善事業水田貯留機能向上型 21%）等</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 問合せ先 | <p>◆農村計画課 農村総合計画G TEL：029-301-4155</p> <p>◆最寄りの農林事務所 土地改良部門または土地改良事務所</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 45%;">農林事務所土地改良部門</th> <th style="width: 45%;">土地改良事務所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県北</td> <td>（常陸太田）：0294-80-3350</td> <td>高 萩：0293-22-2379</td> </tr> <tr> <td>県央</td> <td>（水 戸）：029-221-6636</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鹿行</td> <td>（鉾 田）：0291-33-4120</td> <td></td> </tr> <tr> <td>県南</td> <td>（土 浦）：029-822-5045</td> <td>稲 敷：029-892-2411</td> </tr> <tr> <td>県西</td> <td>（筑 西）：0296-24-9246</td> <td>境 ：0280-87-0822</td> </tr> </tbody> </table> | | 農林事務所土地改良部門 | 土地改良事務所 | 県北 | （常陸太田）：0294-80-3350 | 高 萩：0293-22-2379 | 県央 | （水 戸）：029-221-6636 | | 鹿行 | （鉾 田）：0291-33-4120 | | 県南 | （土 浦）：029-822-5045 | 稲 敷：029-892-2411 | 県西 | （筑 西）：0296-24-9246 | 境 ：0280-87-0822 |
| | 農林事務所土地改良部門 | 土地改良事務所 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 県北 | （常陸太田）：0294-80-3350 | 高 萩：0293-22-2379 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 県央 | （水 戸）：029-221-6636 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 鹿行 | （鉾 田）：0291-33-4120 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 県南 | （土 浦）：029-822-5045 | 稲 敷：029-892-2411 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 県西 | （筑 西）：0296-24-9246 | 境 ：0280-87-0822 | | | | | | | | | | | | | | | | | |

畦畔除去等の簡易な整備により農地の大区画化を図りたい

| 事業名 | 大区画化等加速化支援事業 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------|---|------------------|--|-------------|---------|----|---------------------|------------------|----|--------------------|--|----|--------------------|--|----|--------------------|------------------|----|--------------------|-----------------|
| 分類 | 【農地・基盤整備】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業要旨 | 生産性の向上を図るため、法人等の農業者が自ら行う畦畔除去等の簡易整備による農地の大区画化等の取組を支援します。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業概要 | <p>〔事業主体（事業対象）〕 農業者 等</p> <p>〔事業内容〕 農用地の区画拡大、暗渠排水、湧水処理、客土 等</p> <p>〔補助要件等〕 農振農用地区域のうち地域計画の策定区域であること。 農用地の区画拡大を実施すること。</p> <p>〔対象経費〕 整備に要した費用</p> <p>〔補助限度額・補助率〕 定額助成（区画拡大 7 万円/10a、暗渠排水 18 万円/10a 等、工種や対象の面積、延長に応じて助成額は異なる。）</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 問合せ先 | <p>◆茨城県大区画化等推進協議会（事務局） 農村計画課 農村総合計画G TEL：029-301-4155 茨城県土地改良事業団体連合会 TEL：029-225-5651</p> <p>◆最寄りの農林事務所 土地改良部門または土地改良事務所</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>農林事務所土地改良部門</th> <th>土地改良事務所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県北</td> <td>（常陸太田）：0294-80-3350</td> <td>高 萩：0293-22-2379</td> </tr> <tr> <td>県央</td> <td>（水 戸）：029-221-6636</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鹿行</td> <td>（鉾 田）：0291-33-4120</td> <td></td> </tr> <tr> <td>県南</td> <td>（土 浦）：029-822-5045</td> <td>稲 敷：029-892-2411</td> </tr> <tr> <td>県西</td> <td>（筑 西）：0296-24-9246</td> <td>境 ：0280-87-0822</td> </tr> </tbody> </table> <p>◆各市町村 土地改良事業関係課</p> | | | 農林事務所土地改良部門 | 土地改良事務所 | 県北 | （常陸太田）：0294-80-3350 | 高 萩：0293-22-2379 | 県央 | （水 戸）：029-221-6636 | | 鹿行 | （鉾 田）：0291-33-4120 | | 県南 | （土 浦）：029-822-5045 | 稲 敷：029-892-2411 | 県西 | （筑 西）：0296-24-9246 | 境 ：0280-87-0822 |
| | 農林事務所土地改良部門 | 土地改良事務所 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 県北 | （常陸太田）：0294-80-3350 | 高 萩：0293-22-2379 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 県央 | （水 戸）：029-221-6636 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 鹿行 | （鉾 田）：0291-33-4120 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 県南 | （土 浦）：029-822-5045 | 稲 敷：029-892-2411 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 県西 | （筑 西）：0296-24-9246 | 境 ：0280-87-0822 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

地域共同で農地・農業用水や地域環境を守りたい

| | |
|-------------|---|
| 事業名 | 多面的機能支払交付金 |
| 分類 | 【農地・基盤整備】 |
| 事業要旨 | 地域共同で行う地域資源（農地、水路、農道等）の基礎的保全管理、質的向上を図る共同活動、施設の長寿命化を図る活動に対し支援します。 |
| 事業概要 | <p>1 農地維持支払交付金 【事業主体】「農業者のみ」又は「農業者及び地域住民等」で構成された活動組織 【事業対象】 農業者、新規就農者、農業者組織 【事業内容】 農用地、水路、農道及びため池等などの保全管理 （草刈、泥上げ、施設の適正管理） 【対象経費】 ・日当（活動参加者に対して支払う日当） ・購入・リース費（資材の購入費、機械等の借り上げ費等） など 【補助限度額・補助率】 ・交付単価：田 3,000 円/10a 畑 2,000 円/10a 草地 240 円/10a ・補助率：国・県・市町村 = (1/2・1/4)・1/4</p> <p>2 資源向上支払交付金 (1) 共同活動 【事業主体】「農業者及び地域住民等」で構成された活動組織 【事業対象】 農業者、新規就農者、農業者組織 【事業内容】 施設の軽微な補修、生態系保全、景観形成などの地域資源の質的向上活動 【対象経費】 ・日当（活動参加者に対して支払う日当） ・購入・リース費（生態系保全の活動の資材、機械等の借り上げ費等） 【補助限度額・補助率】 ・交付単価：田 2,400 円/10a 畑 1,440 円/10a 草地 240 円/10a ※多面的機能の増進を図る活動に取組まない場合は、5/6 を乗じた単価 ※共同活動を 5 年間以上実施、又は農地維持、共同活動、長寿命化に取り組む場合には、共同活動の交付単価は 75% ※要件に応じて、加算措置あり ・補助率：国・県・市町村 = (1/2・1/4)・1/4</p> <p>(2) 長寿命化 【事業主体】 「農業者のみ」又は「農業者及び地域住民等」で構成された活動組織 【事業対象】 農業者、新規就農者、農業者組織 【事業内容】 老朽化が進む水路、農道、ため池等の補修、更新等 【対象経費】 ・日当（活動参加者に対して支払う日当） ・購入・リース費（資材の購入費、機械等の借り上げ費等） ・委託費（建設業者への外注費等） など 【補助限度額・補助率】 ・交付単価：田 4,400 円/10a 畑 2,000 円/10a 草地 400 円/10a ・補助率：国・県・市町村 = (1/2・1/4)・1/4</p> |
| 問合せ先 | ◆農地整備課 農村環境農道G TEL：029-301-4259 |

農村の生活環境を改善したい

| | |
|-------------|--|
| 事業名 | 農業集落排水施設接続支援事業（森林湖沼環境税活用） |
| 分類 | 【農地・基盤整備】 |
| 事業要旨 | 湖沼（霞ヶ浦、涸沼、牛久沼）の公共用水域の水質保全のため、市町村の農業集落排水施設の接続率向上に向けた取組に対し支援します。 |
| 事業概要 | <p>〔事業主体〕 市町村</p> <p>〔事業対象〕 地方公共団体</p> <p>〔事業内容〕 霞ヶ浦、涸沼、牛久沼の湖沼流域において、農業集落排水施設への接続補助を行う市町村に対し、補助金を交付します。 ※事業期間は平成20年度～令和8年度</p> <p>〔補助要件等〕 霞ヶ浦、涸沼、牛久沼流域内で、農業集落排水施設の供用開始後3年以内の接続。さらに霞ヶ浦流域限定で、供用開始後4年目以降も対象。</p> <p>〔対象経費〕 受益者が農業集落排水施設への接続に要した経費のうち、市町村が補助した額の一部</p> <p>〔補助限度額・補助率〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村が交付する額の1/2以内（1戸当たり2万円を限度） ・さらに霞ヶ浦流域限定で、「65歳以上または18歳未満の者がいる世帯」のうち課税対象所得の合計が348万円以下の世帯に対し、接続工事費を最大31万円補助 ・ただし、財政力指数が1.0以上の市町村は、交付率を90% |
| 問合せ先 | <p>◆お住まいの市町村 農業集落排水施設担当課</p> <p>◆農地整備課 農村環境農道G TEL：029-301-4259</p> |

畑地かんがいを活用した営農をしたい

| | | | | | | | | | | | | | |
|-------------|--|----|--------------|----|--------------|----|--------------|----|--------------|----|--------------|--|--|
| 事業名 | 畑地かんがい営農確立普及事業 | | | | | | | | | | | | |
| 分類 | 【農地・基盤整備】 | | | | | | | | | | | | |
| 事業要旨 | 実証試験結果等により畑かん効果の普及啓発を行い、用水を活用した収益性の高い安定的な畑かん営農を地域に確立させ、農業生産性の向上などを図ります。 | | | | | | | | | | | | |
| 事業概要 | <p>【事業主体】 県（各農林事務所土地改良部門）</p> <p>【事業対象】 農業者組織、農協・協議会・公社等、地方公共団体</p> <p>【事業内容】</p> <p>(1) 畑地かんがい活用新規作物導入実践事業 畑地かんがいを活用した簡易な実証ほ場を設置し、かん水効果の期待できる高収益作物の導入を検討します。</p> <p>(2) 畑地かんがい営農技術実証ほ場整備事業 畑かん施設を整備した実証ほ場を設置し、省力化と高収益作物の導入に向けた水利用技術・作物栽培管理技術の確立を図ります。</p> <p>(3) 畑地かんがい営農普及推進事業 畑地かんがいを活用した「実証ほ場」の結果から効果等を検証し、現地研修会や見学会等を通じて畑地かんがい効果のPRを行います。</p> <p>【実施概要及び利用方法】</p> <p>(1) 実証ほ場の設置・運営：年4箇所程度（上記(1)、(2)に対応） 実証ほ場の設置希望者は、最寄りの農林事務所土地改良部門に問合せをお願いします。</p> <p>(2) 現地研修会及び見学会：随時（上記(3)に対応） 実証ほ場の現地研修等の希望者は、最寄りの農林事務所土地改良部門に問合せをお願いします。</p> <p>【対象経費】</p> <p>(1) 実証ほ場の設置及び運営費用等（畑地かんがい資材及び管理手当） （上記(1)に対応）</p> <p>(2) 効果調査及び資料作成費用等（作成した啓発資料は希望者に無料配布） （上記(2)に対応）</p> <p>【その他】 畑地かんがいの効果等を示したPR用DVD（平成27年度作製）の貸出が可能です。貸出しを希望される方は下記に問合せをお願いします。</p> | | | | | | | | | | | | |
| 問合せ先 | <p>◆農地整備課 国営事業推進室 TEL:029-301-4241</p> <p>◆最寄りの農林事務所 土地改良部門 事業調整課</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 5px;"> <tr> <td style="width: 33%;">県北</td> <td style="width: 33%;">0294-80-3350</td> <td style="width: 33%;">県央</td> <td style="width: 33%;">029-221-6636</td> <td style="width: 33%;">鹿行</td> <td style="width: 33%;">0291-33-4120</td> </tr> <tr> <td>県南</td> <td>029-822-5045</td> <td>県西</td> <td>0296-24-9241</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>県央農林事務所 土地改良部門 那珂川沿岸農業水利事業推進課 TEL：029-224-3410</p> <p>県西農林事務所 土地改良部門 霞ヶ浦用水推進課 TEL：0296-24-9246</p> | 県北 | 0294-80-3350 | 県央 | 029-221-6636 | 鹿行 | 0291-33-4120 | 県南 | 029-822-5045 | 県西 | 0296-24-9241 | | |
| 県北 | 0294-80-3350 | 県央 | 029-221-6636 | 鹿行 | 0291-33-4120 | | | | | | | | |
| 県南 | 029-822-5045 | 県西 | 0296-24-9241 | | | | | | | | | | |

水田を畑地化して、稲作営農から野菜などの高収益作物営農へ転換したい

| 事業名 | 水田畑地化推進事業 | | | | | | | | | | | | |
|-----------------------|---|-------------|---------|-----------------------|------------------|----------------------|--|----------------------|--|----------------------|------------------|----------------------|---------------------|
| 分類 | 【農地・基盤整備】 | | | | | | | | | | | | |
| 事業要旨 | 米中心の営農から野菜など高収益作物中心の営農へ転換するため、水田を畑地化し、農家の収益性を向上させることを目的としています。 | | | | | | | | | | | | |
| 事業概要 | <p>【事業主体】 市町村、土地改良区、農業協同組合、農業法人など</p> <p>【事業対象】 農業者組織、農協・協議会・公社等、地方公共団体、その他</p> <p>【事業内容】 水田を畑地化するために必要な基盤整備事業及び、それを実施するために必要な関係農家や関係機関との調査・調整活動の支援を行います。</p> <p>【補助要件等】 (1) 水田受益面積 1 ha 以上 20ha 未満かつ、地権者が 2 名以上。 (2) 水田を畑地化すること。 (3) 事業計画書及び、営農計画書等を作成すること。 (4) 事業が完了した翌年度から 5 年間、営農計画書に定めた高収益作物を作付けし、営農すること。 また、その 5 年間は毎年度、実施状況報告書に収量や販売額などを記入し、提出すること。</p> <p>【対象経費】 (1) 畑地化基盤整備事業 用排水施設整備、暗渠排水、客土、畦畔除去などの工事費 (2) 畑地化調査・調整事業 事業を実施する事業主体が行うものであり、土地利用・作付け・水利用調整にかかる関係農家の意向調査活動や、関係機関との調査活動に必要な調査・調整費</p> <p>【補助限度額・補助率】 (1) 畑地化基盤整備事業 : 事業費の 62.5%以内 (2) 畑地化調査・調整事業 : 事業費の 50%以内</p> | | | | | | | | | | | | |
| 問合せ先 | <p>◆農地整備課 国営事業推進室 TEL：029-301-4241</p> <p>◆最寄りの農林事務所 土地改良部門または土地改良事務所</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">農林事務所土地改良部門</th> <th style="width: 50%;">土地改良事務所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県北（常陸太田）：0294-80-3350</td> <td>高 萩：0293-22-2379</td> </tr> <tr> <td>県央（水 戸）：029-221-6636</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鹿行（鉾 田）：0291-33-4120</td> <td></td> </tr> <tr> <td>県南（土 浦）：029-822-5045</td> <td>稲 敷：029-892-2411</td> </tr> <tr> <td>県西（筑 西）：0296-24-9241</td> <td>境 ：0280-87-0822</td> </tr> </tbody> </table> | 農林事務所土地改良部門 | 土地改良事務所 | 県北（常陸太田）：0294-80-3350 | 高 萩：0293-22-2379 | 県央（水 戸）：029-221-6636 | | 鹿行（鉾 田）：0291-33-4120 | | 県南（土 浦）：029-822-5045 | 稲 敷：029-892-2411 | 県西（筑 西）：0296-24-9241 | 境 ：0280-87-0822 |
| 農林事務所土地改良部門 | 土地改良事務所 | | | | | | | | | | | | |
| 県北（常陸太田）：0294-80-3350 | 高 萩：0293-22-2379 | | | | | | | | | | | | |
| 県央（水 戸）：029-221-6636 | | | | | | | | | | | | | |
| 鹿行（鉾 田）：0291-33-4120 | | | | | | | | | | | | | |
| 県南（土 浦）：029-822-5045 | 稲 敷：029-892-2411 | | | | | | | | | | | | |
| 県西（筑 西）：0296-24-9241 | 境 ：0280-87-0822 | | | | | | | | | | | | |

生産条件が不利な地域での営農を支援したい

| | |
|-------------|---|
| 事業名 | 中山間地域農業基盤整備促進事業 |
| 分類 | 【農地・基盤整備】 |
| 事業要旨 | 中山間地域において、水田から畑地への転換等のための簡易な基盤整備を行うことによって、地域の活性化を図るとともに、意欲のある農業者を育成することを目的としています。 |
| 事業概要 | <p>〔事業主体〕 市町、土地改良区、農業協同組合、その他適当と認める団体</p> <p>〔事業対象〕 農業者組織、農協・協議会・公社等、地方公共団体、その他</p> <p>〔事業内容〕 生産条件が不利な中山間地域において、水田から畑地への転換等のために行う簡易な基盤整備を支援します。</p> <p>①畦畔除去：農用地等の区画形質の変更（簡易な段差修正、整地等を含む） ②暗渠排水：地形に応じた暗渠の新設若しくは変更又は心土破壊（浅層・補助暗渠を含む） ③客土：地形に応じた客土（混層耕を含む）又は、これと一体的に実施する酸性土壌改良資材、リン酸資材及び有機質資材の投入等 ④用排水路：農業用排水施設の新設、廃止、変更、補修 ⑤進入路：進入路の新設、廃止、変更、補修 ⑥耕作放棄地解消：耕作放棄地の解消（障害物の除去、除礫、深耕、整地、侵入防止柵の設置等） ⑦電牧柵：電牧柵 ⑧鳥獣害防止柵：鳥獣害防止柵 ⑨特認事項：上記以外で県が適当と認めるもの など</p> <p>〔補助要件等〕 (1)中山間地域等直接支払交付金の対象地域で、農地面積が1ha未満かつ地権者が2名以上であること。 (2)水田から畑への転換等を図ること。</p> <p>〔補助限度額・補助率〕 事業費の62.5%以内</p> |
| 問合せ先 | ◆農地整備課 農村環境農道G TEL：029-301-4259 |

水田や畑を整備したい、古くなった土地改良施設を直したい

| 事業名 | 県単土地改良事業 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------|---|------------------|--|-------------|---------|----|---------------------|------------------|----|--------------------|--|----|--------------------|--|----|--------------------|------------------|----|--------------------|-----------------|
| 分類 | 【農地・基盤整備】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業要旨 | 田畑の整備や老朽化した土地改良施設の改修などにより、営農の効率化と農業の振興を図ります。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業概要 | <p>〔事業主体（事業対象）〕 市町村、土地改良区、土地改良区連合、農業協同組合など</p> <p>〔事業内容〕 国補事業の対象とならない小規模な土地改良事業に対する補助</p> <p>〔補助要件等〕 (1) 一般地帯型（受益面積 5～20ha） (2) 山間急傾斜地帯型（受益面積 1～20ha） (3) 1地区当たりの事業費 20万円以上</p> <p>〔対象経費〕 整備に要した費用</p> <p>〔補助限度額・補助率〕 (1) 一般地帯型：事業費の 37.5%以内（水田のほ場整備 40%以内、強靱化対策・省エネ対策 50%以内） 区画整理、農地造成、用排水施設、暗渠排水、客土、農道等 (2) 山間急傾斜地帯型：事業費の 47.5%以内（水田のほ場整備 50%以内、強靱化対策・省エネ対策 55%以内） 山間急傾斜地帯指定地域で行うもので、区画整理、農地造成、用排水施設、暗渠排水、客土、農道等 (3) 土地改良施設緊急補修型：事業費の 25.0%以内 土地改良施設の緊急補修（災害以外の原因による） (4) ため池整備型：事業費の 50.0%以内 ため池施設の新設、改良 (5) 防災安全施設型：事業費の 50.0%以内 安全施設の新設、更新、補修費 (6) 防災減災施設型：事業費の 50.0%以内 湛水防除施設の小規模な補修や耐震化対策等 (7) 有機農業推進型：事業費の 50.0%以内（山間急傾斜地帯は 55.0%以内） 有機農業の取組に必要な区画整理、農地造成、用排水施設、暗渠排水等 など</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 問合せ先 | <p>◆農村計画課 農村総合計画G TEL：029-301-4155</p> <p>◆最寄りの農林事務所 土地改良部門または土地改良事務所</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 45%;">農林事務所土地改良部門</th> <th style="width: 45%;">土地改良事務所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県北</td> <td>（常陸太田）：0294-80-3350</td> <td>高 萩：0293-22-2379</td> </tr> <tr> <td>県央</td> <td>（水 戸）：029-221-6636</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鹿行</td> <td>（鉾 田）：0291-33-4120</td> <td></td> </tr> <tr> <td>県南</td> <td>（土 浦）：029-822-5045</td> <td>稲 敷：029-892-2411</td> </tr> <tr> <td>県西</td> <td>（筑 西）：0296-24-9246</td> <td>境 ：0280-87-0822</td> </tr> </tbody> </table> | | | 農林事務所土地改良部門 | 土地改良事務所 | 県北 | （常陸太田）：0294-80-3350 | 高 萩：0293-22-2379 | 県央 | （水 戸）：029-221-6636 | | 鹿行 | （鉾 田）：0291-33-4120 | | 県南 | （土 浦）：029-822-5045 | 稲 敷：029-892-2411 | 県西 | （筑 西）：0296-24-9246 | 境 ：0280-87-0822 |
| | 農林事務所土地改良部門 | 土地改良事務所 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 県北 | （常陸太田）：0294-80-3350 | 高 萩：0293-22-2379 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 県央 | （水 戸）：029-221-6636 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 鹿行 | （鉾 田）：0291-33-4120 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 県南 | （土 浦）：029-822-5045 | 稲 敷：029-892-2411 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 県西 | （筑 西）：0296-24-9246 | 境 ：0280-87-0822 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

農業に関する先進的な知識や技術を学びたい

| 事業名 | いばらき農業アカデミー事業 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------|--|--------|-------|-------|--|-----|------|-------|------|----------|------------------|----|---|----|-------------|------|----|----|---------------|------|----|-----|----------|-------|---|----|--------|--------|---|-------|------------|------|---|----|---------------|--------|---|----|-----------|-------|---|----|-----------------|----|---|----|-------|--|--|--|--|
| 分類 | 【新規就農、企業参入】【経営改善、技術習得、人材確保】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業要旨 | 本県農業をけん引する経営感覚に優れた経営体を育成するため、経営者マインドの醸成を図るとともに、経営管理や生産技術について総合的な学びの場を産学官が連携して提供します。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業概要 | <p>〔事業主体〕 茨城県</p> <p>〔事業対象〕 農業者、就農志向者 等</p> <p>〔事業内容〕 全 29 講座を開催予定。詳細はHPをご覧ください。 https://www.agriacademy.pref.ibaraki.jp/ ※講座の開催時期、回数は変更となる可能性があります。</p> <div style="text-align: right;">  </div> <p><講座一覧> * : 受講者のうち希望者は、自己負担で県外視察研修に参加可能。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;"></th> <th style="width: 40%;">講座名</th> <th style="width: 15%;">開催時期</th> <th style="width: 10%;">回数(期)</th> <th style="width: 20%;">受講経費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10" style="text-align: center; vertical-align: middle;">経営高度化講座群</td> <td>ヤングファーマーズ・ミーティング</td> <td>7月</td> <td>1</td> <td>無料</td> </tr> <tr> <td>経営スタートアップ講座</td> <td>7～2月</td> <td>10</td> <td>無料</td> </tr> <tr> <td>リーダー農業経営者育成講座</td> <td>7～2月</td> <td>10</td> <td>無料*</td> </tr> <tr> <td>農業経営革新講座</td> <td>10～2月</td> <td>6</td> <td>無料</td> </tr> <tr> <td>農業簿記講座</td> <td>10～12月</td> <td>5</td> <td>テキスト代</td> </tr> <tr> <td>農業経営改善セミナー</td> <td>7～2月</td> <td>3</td> <td>無料</td> </tr> <tr> <td>農業人材育成指導者養成講座</td> <td>12月～2月</td> <td>2</td> <td>無料</td> </tr> <tr> <td>アグリビジネス講座</td> <td>9～11月</td> <td>5</td> <td>無料</td> </tr> <tr> <td>SNS を活用した販路拡大講座</td> <td>9月</td> <td>2</td> <td>無料</td> </tr> <tr> <td colspan="5" style="text-align: center;">~~~~~</td> </tr> </tbody> </table> | | | | | 講座名 | 開催時期 | 回数(期) | 受講経費 | 経営高度化講座群 | ヤングファーマーズ・ミーティング | 7月 | 1 | 無料 | 経営スタートアップ講座 | 7～2月 | 10 | 無料 | リーダー農業経営者育成講座 | 7～2月 | 10 | 無料* | 農業経営革新講座 | 10～2月 | 6 | 無料 | 農業簿記講座 | 10～12月 | 5 | テキスト代 | 農業経営改善セミナー | 7～2月 | 3 | 無料 | 農業人材育成指導者養成講座 | 12月～2月 | 2 | 無料 | アグリビジネス講座 | 9～11月 | 5 | 無料 | SNS を活用した販路拡大講座 | 9月 | 2 | 無料 | ~~~~~ | | | | |
| | 講座名 | 開催時期 | 回数(期) | 受講経費 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 経営高度化講座群 | ヤングファーマーズ・ミーティング | 7月 | 1 | 無料 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 経営スタートアップ講座 | 7～2月 | 10 | 無料 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | リーダー農業経営者育成講座 | 7～2月 | 10 | 無料* | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 農業経営革新講座 | 10～2月 | 6 | 無料 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 農業簿記講座 | 10～12月 | 5 | テキスト代 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 農業経営改善セミナー | 7～2月 | 3 | 無料 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 農業人材育成指導者養成講座 | 12月～2月 | 2 | 無料 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | アグリビジネス講座 | 9～11月 | 5 | 無料 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | SNS を活用した販路拡大講座 | 9月 | 2 | 無料 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ~~~~~ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | |
|---------|----------------------------|------------------|-----------|------|----|
| 生産技術講座群 | | | | | |
| | いばらき営農塾（野菜入門A） | 5～9月 | 29 | 受講料等 | |
| | いばらき営農塾（野菜入門B） | 9～2月 | 29 | 受講料等 | |
| | いばらき営農塾 （フォローアップコース） | 6～1月 | 20 | 受講料等 | |
| | 生産環境管理（土壌）講座 | 9～11月 | 2 | 無料 | |
| | 生産環境管理 （病虫害・植物保護）講座 | 11～12月 | 2 | 無料 | |
| | 有機農業講座 | 未定 | 1 | 無料 | |
| | 品目別先進農業技術講座 | 5～12月 | 7 | 無料 | |
| | 6次産業化入門講座 | 6、1月 | 3 | 無料 | |
| | 農産加工実践講座 | 7、8、12月 | 3 | 無料 | |
| | 農業生産工程管理（GAP）講座 | 7月 | 1 | 無料 | |
| | 農業機械基礎研修 | 1月 | 4 | 受講料等 | |
| | 農業機械士技能認定研修 | 10月 | 1 | 受講料等 | |
| | 農作業安全・大型特殊免許 （農耕用）等取得研修 | 5～3月 | 10 (3) | 受講料等 | |
| | スマート農業講座 | 7～1月 | 3 | 無料 | |
| | 農業気象講座 | 11～12月 | 3 | 無料 | |
| | 新規繁殖和牛経営入門講座 | 7～10月 | 5 | 無料 | |
| | 豚人工授精実習会 | 10月 | 1 | 無料 | |
| | 特別講座群 | 野生鳥獣による農作物被害対策研修 | 7～2月 | 8 | 無料 |
| | | 農村地域活性化人材育成講座 | 9～3月 | 7 | 無料 |
| 関連セミナー | | 未定 | 未定 | 未定 | |

問合せ先

◆農業総合センター 企画調整課 TEL：0299-45-8321

新規就農に関する相談をしたい

| | |
|-------------|--|
| 事業名 | 新規就農相談センター事業 |
| 分類 | 【新規就農、企業参入】 |
| 事業要旨 | 茨城県の就農相談のワンストップ窓口である茨城県新規就農相談センター(公益社団法人茨城県農林振興公社)が、就農希望者に対して、就農相談会の開催、農業法人等の求人情報の発信、就農支援制度や県内就農事例に関する情報提供等を行い、就農相談から実際に就農するまでの支援を行います。 |
| 事業概要 | <p>〔事業主体〕 公益社団法人茨城県農林振興公社</p> <p>〔事業対象〕 就農希望者</p> <p>〔事業内容〕</p> <p>(1) 就農相談・就農啓発 就農相談員が、就農希望者からの様々な相談に応じます。 また、県内を中心に、就農相談会や就農啓発講座等を開催し、就農相談に応じるとともに茨城農業の魅力や就農支援に関する情報を提供します。</p> <p>(2) 就農前研修支援 就農前に行う研修(インターンシップ等)を支援します。 インターンシップについては、就農希望者に対して受入農家を紹介し、県内の優れた農業者の経営や取組を直接学ぶ機会を提供します。 また、就農に向けて技術や知識を学ぶ長期研修(期間: 1~2年)については、就農希望者に対して、就農予定地域や就農形態等に応じて県内の研修機関の紹介等を行います。</p> <p>(3) 雇用就農支援(無料職業紹介事業) 就農相談員が、求職者からの就職相談に応じるとともに、県内農業法人等の紹介・斡旋、求人情報の管理を行い、雇用就農を支援します。</p> <p>(4) 「茨城就農コンシェル」による情報発信 就農支援ポータルサイト「茨城就農コンシェル」において、就農希望者に対して就農相談会等の案内、県内農業法人や就農支援制度に関する情報等を発信します。</p> |
| 問合せ先 | <p>◆公益社団法人 茨城県農林振興公社 TEL: 029-350-8686 〒311-4203 茨城県水戸市上国井町 3118 番地 1 ホームページ: http://www.ibanourin.or.jp/concier/ 「茨城就農コンシェル」で検索してください。</p> <p>◆農業経営課 就農・農業参入支援室 TEL: 029-301-3844</p> |

新たに農業を始めたい

| | |
|-------------|---|
| 事業名 | 新規就農総合支援事業 (就農準備資金、経営開始資金、経営発展支援事業、新規就農者チャレンジ事業) |
| 分類 | 【新規就農、企業参入】 |
| 事業要旨 | 研修や経営を開始する就農希望者に対して資金を交付するほか、経営発展のための設備投資を支援します。また、新規就農者の誘致に向けた体制及び研修農場整備について助成を行います。 |
| 事業概要 | <p>1 就農準備資金 【事業主体】 県又は市町村 【事業対象】 新規就農者 【事業内容】 就農前に行う研修期間中の研修生に対して資金を交付します。 【補助要件等】 (1) 就農時の年齢が原則 50 歳未満であること (2) 県認定の研修機関等で概ね 1 年以上かつ年間 1,200 時間以上研修を受けること (3) 研修後、独立・自営就農する場合は認定新規就農者又は認定農業者になること (4) 研修後、親元就農する場合は就農後 5 年以内に経営を継承すること (5) 研修後、雇用就農する場合は正社員として雇用契約等を締結、又は、就農後 5 年以内に独立・自営就農すること (6) 前年の世帯所得が原則 600 万円以下であること 等 【補助限度額・補助率】 年間 165 万円、最長 2 年間</p> <p>2 経営開始資金 【事業主体】 市町村 【事業対象】 認定新規就農者 【事業内容】 新たに農業経営を開始する者に対して資金を交付します。 【補助要件等】 (1) 独立・自営就農時の年齢が原則 50 歳未満の認定新規就農者であること (2) 経営開始 5 年後までに農業で生計が成り立つ実現可能な計画であること (3) 経営を継承する場合、経営発展に向けた取組を行い、新規参入者と同等の経営リスクを負っていると市町村長に認められること (4) 目標地図に位置付けられている、若しくは農地中間管理機構から農地を借り受けていること (5) 前年の世帯所得が原則 600 万円以下であること 等 【補助限度額・補助率】 年間 165 万円、最長 3 年間</p> <p>3 経営発展支援事業 【事業主体】 市町村 【事業対象】 認定新規就農者 【事業内容】 認定新規就農者で、県が定める要件を満たし、かつ、国に採択された農業者に対して、機械・施設や家畜の導入、果樹・茶改植等に要する経費を支援します。</p> |

〔補助要件等〕

- (1) 就農時の年齢が原則 50 歳未満であること
- (2) 独立・自営する認定新規就農者であること
- (3) 親元就農者の場合は、継承する農業経営に従事してから 5 年以内に継承し、継承する経営を発展させる計画（売上 1 割増等）であること
- (4) 目標地図に位置付けられている又は若しくは農地中間管理機構から農地を借り受けていること
- (5) 本人負担分について金融機関から融資を受けていること
- (6) 経営開始資金の交付を受けていないこと 等

〔補助限度額・補助率〕

補助対象事業費上限：1,000 万円 補助率：3/4（国 1/2、県 1/4）

【地域計画早期実現支援枠】

〔事業主体〕 市町村

〔事業対象〕 新規就農者

〔事業内容〕 新規就農者等が実施する以下の取組を支援します。

- (1) 経営資源の有効利用に向けた取組
機械・施設等の経営資源を継承・利用するための修繕・撤去・移設等の経費
- (2) 円滑な経営移譲に向けた取組
法人化や専門家の活用等の円滑な経営移譲に向けた取組に要する経費

〔補助要件等〕

- (1) 事業実施年度の 3 年前の年度以降に、50 歳未満で農業経営を開始した者
- (2) 認定新規就農者または認定農業者であること
- (3) 将来像が明確化された地域計画又は目標集積率が現状集積率を上回っている地域計画に位置付けられている、又は位置づけられることが確実と見込まれること
- (4) 経営開始資金、経営発展支援事業等との併用をしないこと
- (5) 研修中など経営開始前の場合は、経営移譲者等と共同申請を行い、事業実施年度の翌年度までに事業要件を満たすこと
- (6) 事業実施年度の 3 年後の年度までに認定農業者になること
- (7) 定められた成果目標を達成すること 等

〔補助限度額・補助率〕

補助対象事業費上限：1,800 万円 補助率：1/2（国 1/3、県 1/6）

4 新規就農者チャレンジ事業

〔事業主体〕 市町村

〔事業対象〕 認定新規就農者

〔事業内容〕 新規就農者が早期に経営発展するために必要な農業用機械・施設の導入等の取組を支援します。

〔補助要件等〕

- (1) 独立・自営就農時の年齢が 65 歳未満であること
- (2) 認定新規就農者であること
- (3) 営農地が属する地域計画が要件を満たすこと 等

〔補助限度額・補助率〕

補助対象事業費上限 個人 5,000 万円、法人 1 億円 補助率：3/10

問合せ先

- ◆ 農業経営課 就農・農業参入支援室 TEL：029-301-3844
- ◆ 最寄りの農林事務所 企画調整部門 企画調整課

| | | | | | |
|----|--------------|----|--------------|----|--------------|
| 県北 | 0294-80-3301 | 県央 | 029-350-3017 | 鹿行 | 0291-33-6285 |
| 県南 | 029-822-7083 | 県西 | 0296-24-9164 | | |

地域に新規就農者を呼び込みたい

| | | | | | | | | | | | | | |
|-------------|---|----|--------------|----|--------------|----|--------------|----|--------------|----|--------------|--|--|
| 事業名 | 新規就農総合支援事業（新規就農者誘致環境整備事業） | | | | | | | | | | | | |
| 分類 | 【新規就農、企業参入】 | | | | | | | | | | | | |
| 事業要旨 | 新規就農者の誘致に向けた体制及び研修農場整備について助成を行います。 | | | | | | | | | | | | |
| 事業概要 | <p>新規就農者誘致環境整備事業 〔事業主体（事業対象）〕 市町村、協議会、民間団体等</p> <p>〔事業内容〕 円滑に新規就農者を誘致するため、関連事業と連携し、地域の関係機関による誘致体制の整備や、技術習得のための研修農場の整備、就農前後の方に対するトータルサポート活動を支援します。</p> <p>〔補助要件等〕 （１）市町村が参加した就農希望者を誘致し支援する体制が構築されていること （２）新規就農者参入促進計画が策定されていること （３）地域計画が策定されている又は目標年度までに策定されることが確実なこと</p> <p>〔補助限度額・補助率〕 （１）新規就農者の誘致体制の整備 定額：補助上限 200 万円 （２）研修農場の整備 補助率：1/2</p> | | | | | | | | | | | | |
| 問合せ先 | <p>◆農業経営課 就農・農業参入支援室 TEL：029-301-3844 ◆最寄りの農林事務所 企画調整部門 企画調整課</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <tr> <td style="width: 25%;">県北</td> <td style="width: 25%;">0294-80-3301</td> <td style="width: 25%;">県央</td> <td style="width: 25%;">029-350-3017</td> <td style="width: 25%;">鹿行</td> <td style="width: 25%;">0291-33-6285</td> </tr> <tr> <td>県南</td> <td>029-822-7083</td> <td>県西</td> <td>0296-24-9164</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | 県北 | 0294-80-3301 | 県央 | 029-350-3017 | 鹿行 | 0291-33-6285 | 県南 | 029-822-7083 | 県西 | 0296-24-9164 | | |
| 県北 | 0294-80-3301 | 県央 | 029-350-3017 | 鹿行 | 0291-33-6285 | | | | | | | | |
| 県南 | 029-822-7083 | 県西 | 0296-24-9164 | | | | | | | | | | |

農業経営に関する相談をしたい

| | |
|-------------|--|
| 事業名 | 農業参入等支援センター事業 |
| 分類 | 【新規就農、企業参入】【経営改善、技術習得、人材確保】 |
| 事業要旨 | <p>農業経営に関する相談窓口を運営し、農業経営体に対して、専門家から構成される支援チームの派遣等による伴走支援を実施します。</p> <p>併せて、農業参入を志向する企業に対して、農地等に関する情報提供や関係機関との仲介等による参入支援を実施します。</p> |
| 事業概要 | <p>〔事業主体〕 茨城県</p> <p>〔事業対象〕 法人化や規模拡大等の経営改善や事業承継を検討している農業経営者、農業分野への参入を考えている企業 等</p> <p>〔事業内容〕</p> <p>1 経営相談窓口「農業参入等支援センター」の設置 経営改善や企業の農業参入等、農業経営に関する各種相談に対応します。</p> <p>2 専門家から構成される支援チームの派遣 対象として選定された各経営体に対して、中小企業診断士による経営診断を実施し、その結果を基に、専門家から構成される支援チームの派遣による伴走支援を無料で実施します。 ※短期間のクイック専門家派遣（1経営体1回限り）も可能です。</p> <p>【登録専門家】 中小企業診断士、社会保険労務士、税理士、司法書士、弁護士、農業法人経営者、農山漁村発イノベーション地域プランナー</p> <p>3 研修会等の開催 法人化や雇用・労務等の経営改善に関する研修会を開催します。</p> <p>4 企業の農業参入支援 本県において農業参入を志向する企業等に対して、農地や補助事業に関する情報提供や関係機関との仲介、地権者説明会の開催支援を実施します。</p> |
| 問合せ先 | <p>◆農業経営課 就農・農業参入支援室 農業参入等支援センター</p> <p>TEL：029-301-3844 FAX：029-301-3879</p> <p>ホームページ：https://www.sannyu.pref.ibaraki.jp/</p> |

新たに雇用した従業員を対象に農業技術等についての研修をしたい

| | |
|-------------|---|
| 事業名 | 雇用就農資金 |
| 分類 | 【新規就農、企業参入】 |
| 事業要旨 | 50歳未満の就農希望者を新たに雇用し技術を習得させたり、55歳未満の従業員を次世代経営者として育成する農業法人等に対して、資金を助成します。 |
| 事業概要 | <p>〔事業主体〕 全国農業会議所</p> <p>〔事業対象〕 農業法人、農業者等</p> <p>〔事業内容〕</p> <p>(1)雇用就農者育成・独立支援タイプ 農業法人等が就農希望者を新たに雇用し、農業就業又は独立就農に必要な実践研修を実施する場合に資金を交付します。</p> <p>(2)新法人設立支援タイプ 農業法人等が、新たな農業法人を設立して独立就農することを目指す就農希望者を一定期間雇用し、独立就農に必要な研修を実施する場合に資金を交付します。</p> <p>(3)次世代経営者育成タイプ 農業法人等が職員等を次世代経営者として育成するために、先進的な農業法人や異業種の法人へ派遣して行う研修にかかる経費を助成します。</p> <p>〔補助要件等〕 ※詳細は、(一社)茨城県農業会議業務部にお問合せください。</p> <p>(1)雇用就農者育成・独立支援タイプ 及び (2)新法人設立支援タイプ ＜農業法人等に係る要件＞</p> <p>ア 新規雇用就農者との間で期間の定めのない雇用契約(正社員)を締結すること(独立が前提の場合は期間の定めのある雇用契約で可)</p> <p>イ 労働環境の改善に既に取り組んでいるか、新たに取り組むこと</p> <p>ウ 雇用保険、労災保険に(法人の場合は健康保険、厚生年金保険にも)加入させること</p> <p>エ 1週間の所定労働時間が35時間以上であること(新規雇用就農者が障がい者の場合は20時間以上で可)</p> <p>オ 研修内容等を就農に関するポータルサイトに掲載していること</p> <p>カ 地域計画に農業を担う者として位置づけられた者又は位置づけられることが見込まれる者であること</p> <p>＜法人等で雇用就農者する方に係る要件＞</p> <p>ア 支援終了後も就農を継続又は独立する強い意欲を有する50歳未満(採用時点)の者であること</p> <p>イ 支援開始時点で、採用されてから4ヶ月以上12ヶ月未満であること</p> <p>ウ 過去の農業就業期間が5年以内であること</p> <p>エ 原則として農業法人等の代表者の3親等以内の親族でないこと</p> |

| | |
|-------------|---|
| | <p>(3)次世代経営者育成タイプ <派遣元の農業法人等に係る要件> ア 派遣研修生を本事業での研修終了後1年以内に役員等に登用すること <派遣される研修生に係る要件> ア 原則55歳未満であること</p> <p>[補助限度額・補助率]</p> <p>(1)雇用就農者育成・独立支援タイプ 年間最大60万円、最長4年間 ※新規採択人数は年間5人/1経営体、かつ3人目以降は年間最大20万円 ※多様な人材(障がい者、生活困窮者等)の場合は年間最大15万円を加算</p> <p>(2)新法人設立支援タイプ 年間最大120万円、最長4年間(3～4年目は最大60万円)</p> <p>(3)次世代経営者育成タイプ 月最大10万円、最短3か月～最長2年間</p> |
| <p>問合せ先</p> | <p>◆ (一社) 茨城県農業会議業務部 TEL : 029-301-1236</p> |

商工業を営んでいるが農業にも参入するので融資を利用したい

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------|--|------|---|-------|----------|------|---|------|----------|------|------------------|--------|--------------|-------|--------------|
| 事業名 | 茨城県農業ビジネス保証制度 | | | | | | | | | | | | | | |
| 分類 | 【新規就農、企業参入】 | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業要旨 | 県内において、商工業と農業を営む中小企業者等が、商工業とともに行う農業の実施に必要な資金にかかる融資について、茨城県信用保証協会による保証を可能とする保証融資制度を県が創設しています。併せて、県が保証料の補助を行います。 | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業概要 | <p>〔事業主体〕 茨城県</p> <p>〔対象事業〕 商工業とともに茨城県内において農業を営む中小企業者、農事組合法人又は個人</p> <p>〔支援の内容〕</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">資金使途</td> <td>茨城県内において営む農業の実施に必要な事業資金 (運転資金・設備資金) ※商工業の実施に必要な資金と農業の実施に必要な資金が混在する資金を含む</td> </tr> <tr> <td>融資限度額</td> <td>5,000 万円</td> </tr> <tr> <td>融資期間</td> <td>・一括返済の場合 2 年以内 ・分割返済の場合 運転資金 10 年以内 (うち据置期間 2 年以内) 設備資金 15 年以内 (うち据置期間 2 年以内)</td> </tr> <tr> <td>融資利率</td> <td>金融機関所定利率</td> </tr> <tr> <td>信用保証</td> <td>茨城県信用保証協会の信用保証付き</td> </tr> <tr> <td>信用保証料率</td> <td>借入金額に対し 0.8%</td> </tr> <tr> <td>保証料補助</td> <td>保証料の 50% を補助</td> </tr> </table> <p>〔利用方法等〕 商工会議所・商工会に認定申請を行い、認定後、取扱金融機関に融資を申し込みます。</p> | 資金使途 | 茨城県内において営む農業の実施に必要な事業資金 (運転資金・設備資金) ※商工業の実施に必要な資金と農業の実施に必要な資金が混在する資金を含む | 融資限度額 | 5,000 万円 | 融資期間 | ・一括返済の場合 2 年以内 ・分割返済の場合 運転資金 10 年以内 (うち据置期間 2 年以内) 設備資金 15 年以内 (うち据置期間 2 年以内) | 融資利率 | 金融機関所定利率 | 信用保証 | 茨城県信用保証協会の信用保証付き | 信用保証料率 | 借入金額に対し 0.8% | 保証料補助 | 保証料の 50% を補助 |
| 資金使途 | 茨城県内において営む農業の実施に必要な事業資金 (運転資金・設備資金) ※商工業の実施に必要な資金と農業の実施に必要な資金が混在する資金を含む | | | | | | | | | | | | | | |
| 融資限度額 | 5,000 万円 | | | | | | | | | | | | | | |
| 融資期間 | ・一括返済の場合 2 年以内 ・分割返済の場合 運転資金 10 年以内 (うち据置期間 2 年以内) 設備資金 15 年以内 (うち据置期間 2 年以内) | | | | | | | | | | | | | | |
| 融資利率 | 金融機関所定利率 | | | | | | | | | | | | | | |
| 信用保証 | 茨城県信用保証協会の信用保証付き | | | | | | | | | | | | | | |
| 信用保証料率 | 借入金額に対し 0.8% | | | | | | | | | | | | | | |
| 保証料補助 | 保証料の 50% を補助 | | | | | | | | | | | | | | |
| 問合せ先 | ◆農業経営課 団体・金融G TEL : 029-301-3862 | | | | | | | | | | | | | | |

地域資源の活用による付加価値創出を通じて経営改善を図りたい

| | |
|-------------|---|
| 事業名 | 農山漁村振興交付金 (地域資源活用価値創出対策のうち地域資源活用・地域連携都道府県サポート事業) (相談窓口) |
| 分類 | 【経営改善、技術習得、人材確保】【6次産業化】 |
| 事業要旨 | 経営戦略作成や商品開発、販路開拓など課題に応じて専門家を派遣し、地域資源の活用や地域の多様な事業者との連携による価値創出に取り組み経営改善を図ろうとする事業者を支援します。 |
| 事業概要 | <p>【事業主体】 茨城地域資源活用・地域連携サポートセンター（県からの委託）</p> <p>【事業対象】 農林漁業者等</p> <p>【事業内容】 地域資源の活用や地域の多様な事業者との連携による価値創出に取り組む事業者で支援実施後3～5年間の経営改善目標を自ら掲げる者のうち、地域支援検証委員会が選定した者（以下「支援対象者」という。）に対し、経営改善や、経営全体の付加価値向上の取組を支援します。</p> <p>【対象経費】 費用は無料です。</p> <p>【その他】 支援対象者以外の方からの相談については、原則として専門家を派遣せず、企画推進員による対応となります。</p> |
| 問合せ先 | ◆農業技術課 研究・普及G TEL：029-301-3936 |

GAP 認証の取組に係る支援を受けたい

| 事業名 | 茨城県GAP推進事業（GAP 認証取得支援アドバイザーの派遣） | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------|---|-------------------------------------|--------------|--------------|---------|-------------------|-------------------|------------|-----------------|-----------------|------------|-----------------|-----------------|-------------|-----------------|-------------------------------------|----|-----------------|------------------------------------|
| 分類 | 【経営改善、技術習得、人材確保】【輸出・販路拡大】【環境保全型農業】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業要旨 | 茨城県内で国際水準のGAP 認証（以下「GAP 認証」という。）の取得を目指す農業者等に対して、GAP 認証の取得に係る助言指導やコンサルティング等を行うことができるGAP 認証取得支援アドバイザー（以下「アドバイザー」という。）を派遣し、GAP 認証の取得を支援します。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業概要 | <p>〔事業主体（事業対象）〕 茨城県内でGAP 認証の取得を目指す農業者、農業者団体等（JA部会、任意組織、農業法人）</p> <p>〔事業内容〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・GAP 認証を取得するために必要な知識（法令、基準文書等）や書類の作成方法等に係る助言指導。 ・農業生産活動における様々なリスクの評価・分析、リスクを未然に防止する改善策等への助言等。 ・GAPの基本となるリスク評価・分析と改善策について、相応の知識と情報を有していると認められ（民間のGAP 指導員、審査員の資格を有すること等）、GAP 認証の取得支援が可能な者を県が選定。 <p>〔補助要件等〕 茨城県内でGAP 認証（JGAP、ASIAGAP、GLOBALG. A. P.）を目指す農業者等</p> <p>〔対象経費〕 アドバイザー派遣費</p> <p>〔補助限度額・補助率〕 定額 ※1 集団に対する派遣の上限は下表のとおりとする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="width: 30%;">取得を目指す GAP 認証</th> <th colspan="2" style="text-align: center;">派遣回数及び派遣時間上限</th> </tr> <tr> <th style="width: 35%;">個人認証の取得</th> <th style="width: 35%;">団体認証の取得</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>JGAP</td> <td>2 回及び 6 時間</td> <td>3 回及び 9 時間</td> </tr> <tr> <td>ASIAGAP</td> <td>3 回及び 9 時間</td> <td>4 回及び 12 時間</td> </tr> <tr> <td>GLOBALGAP.</td> <td>4 回及び 12 時間</td> <td>5 回及び 15 時間</td> </tr> </tbody> </table> | 取得を目指す GAP 認証 | 派遣回数及び派遣時間上限 | | 個人認証の取得 | 団体認証の取得 | JGAP | 2 回及び 6 時間 | 3 回及び 9 時間 | ASIAGAP | 3 回及び 9 時間 | 4 回及び 12 時間 | GLOBALGAP. | 4 回及び 12 時間 | 5 回及び 15 時間 | | | | |
| 取得を目指す GAP 認証 | 派遣回数及び派遣時間上限 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 個人認証の取得 | 団体認証の取得 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| JGAP | 2 回及び 6 時間 | 3 回及び 9 時間 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ASIAGAP | 3 回及び 9 時間 | 4 回及び 12 時間 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| GLOBALGAP. | 4 回及び 12 時間 | 5 回及び 15 時間 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 問合せ先 | <p>◆農業技術課有機農業・気候変動対策推進室 TEL：029-301-3931</p> <p>◆最寄りの農林事務所 経営・普及部門または地域農業改良普及センター</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 40%;">農林事務所経営・普及部門</th> <th style="width: 50%;">地域農業改良普及センター</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県北</td> <td>常陸太田：0294-80-3340</td> <td>常陸大宮：0295-53-0116</td> </tr> <tr> <td>県央</td> <td>水戸：029-227-1521</td> <td>笠間：0296-72-0701</td> </tr> <tr> <td>鹿行</td> <td>鉾田：0291-33-6192</td> <td>行方：0299-72-0256</td> </tr> <tr> <td>県南</td> <td>土浦：029-822-7242</td> <td>稲敷：029-892-2934 つくば：029-836-1109</td> </tr> <tr> <td>県西</td> <td>筑西：0296-24-9206</td> <td>結城：0296-48-0184 坂東：0297-34-2134</td> </tr> </tbody> </table> | | 農林事務所経営・普及部門 | 地域農業改良普及センター | 県北 | 常陸太田：0294-80-3340 | 常陸大宮：0295-53-0116 | 県央 | 水戸：029-227-1521 | 笠間：0296-72-0701 | 鹿行 | 鉾田：0291-33-6192 | 行方：0299-72-0256 | 県南 | 土浦：029-822-7242 | 稲敷：029-892-2934 つくば：029-836-1109 | 県西 | 筑西：0296-24-9206 | 結城：0296-48-0184 坂東：0297-34-2134 |
| | 農林事務所経営・普及部門 | 地域農業改良普及センター | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 県北 | 常陸太田：0294-80-3340 | 常陸大宮：0295-53-0116 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 県央 | 水戸：029-227-1521 | 笠間：0296-72-0701 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 鹿行 | 鉾田：0291-33-6192 | 行方：0299-72-0256 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 県南 | 土浦：029-822-7242 | 稲敷：029-892-2934 つくば：029-836-1109 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 県西 | 筑西：0296-24-9206 | 結城：0296-48-0184 坂東：0297-34-2134 | | | | | | | | | | | | | | | | | |

外国人材が農業に必要な資格を習得することを支援したい

| | |
|-------------|--|
| 事業名 | 農業労働力確保総合支援対策事業（茨城県外国人農業労働力確保支援事業費補助金） |
| 分類 | 【経営改善、技術習得、人材確保】 |
| 事業要旨 | 農業分野において外国人材が活躍できるよう、特定技能外国人が農業に必要な資格の取得や講習の受講をするために要する経費を支援します。 |
| 事業概要 | <p>〔事業主体（事業対象）〕 特定技能所属機関（特定技能外国人の受入れ農家等）</p> <p>〔事業内容〕 資格取得支援事業：特定技能外国人の農作業に必要な資格取得等に係る経費の補助</p> <p>〔補助要件等〕 補助対象期間内に資格を取得又は講習等を受講すること。 ただし、修了証が発行される技能講習等については、期間内に講習を修了したものに限ります。</p> <p>〔対象経費〕 農作業に必要な免許の取得や更新、 技能講習受講に要する手数料、受講料、テキスト代等</p> <p>－対象資格・講習－ 【自動車免許】 普通、大型特殊（農耕車限定） 【運転技能講習】 フォークリフト、ショベルローダー等、小型車両系建設機械、 床上操作式クレーン 【技能講習】 はい作業主任者、玉掛け 【その他】刈払機取扱安全衛生教育講習</p> <p>〔補助限度額・補助率〕 特定技能外国人1人当たり最大10万円、定額 ※補助額は、実費と資格・講習ごとの基準額を比べて少ない方の額となります。</p> |
| 問合せ先 | ◆農業経営課就農・農業参入支援室 TEL：029-301-3844 https://www.pref.ibaraki.jp/nourinsuisan/nokeiei/shienshitu/kakuhoshien.html |

農福連携に取り組んでみたい

| 事業名 | 農福連携推進事業 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------|--|-------------------------------------|---|--------------|----|-----------------------------------|-------------------|----|---------------------------------|-----------------|----|---------------------------------|-----------------|----|---------------------------------|-------------------------------------|----|---------------------------------|------------------------------------|
| 分類 | 【経営改善、技術習得、人材確保】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業要旨 | 農業分野における多様な働き手確保の一環として農福連携を推進するため、農業経営体等と福祉事業所との相互理解に向けた農作業体験会を開催する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業概要 | <p>〔事業主体（事業対象）〕 農業者、新規就農者、農業者組織等</p> <p>〔事業内容〕 農業経営体等が福祉事業所の農作業体験会を受け入れる際（以下、「農作業体験会」とする）に、農業経営体等による引率者（福祉事業所の職員、指導員等）への指導対して支援する。</p> <p>〔補助要件等〕 ○農業経営体等が農福連携に取り組む意向があること ○農林事務所企画調整部門（畜産振興課）又は経営・普及部門、地域農業改良普及センターに対し、農作業体験会の開催を依頼し、依頼を受けた農林事務所が農作業体験会開催計画を作成し、交付主体へ提出していること ○支給対象者と参加する福祉事業所との組み合わせで、これまで本事業における農作業体験会を実施していないこと</p> <p>〔対象経費〕 農作業体験会の開催に係る講師謝金</p> <p>〔補助限度額・補助率〕 定額（補助率 県 10/10）</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 問合せ先 | <p>◆農村計画課 農村総合計画G TEL：029-301-4155 ◆最寄りの農林事務所 企画調整部門 進行・環境室 畜産振興課、 または経営・普及部門、地域農業改良普及センター</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 40%; text-align: center;">農林事務所 (上段) 企画調整部門畜産振興課 (下段) 経営・普及部門</th> <th style="width: 50%; text-align: center;">地域農業改良普及センター</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">県北</td> <td style="text-align: center;">常陸太田：0294-87-6680 0294-80-3340</td> <td style="text-align: center;">常陸大宮：0295-53-0116</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">県央</td> <td style="text-align: center;">水戸：029-231-0476 029-227-1521</td> <td style="text-align: center;">笠間：0296-72-0701</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">鹿行</td> <td style="text-align: center;">鉾田：0291-33-4118 0291-33-6193</td> <td style="text-align: center;">行方：0299-72-0256</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">県南</td> <td style="text-align: center;">土浦：029-822-8521 029-822-8517</td> <td style="text-align: center;">稲敷：029-892-2934 つくば：029-836-1109</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">県西</td> <td style="text-align: center;">筑西：0296-24-9166 0296-24-9206</td> <td style="text-align: center;">結城：0296-48-0184 坂東：0297-34-2134</td> </tr> </tbody> </table> <p>※福祉事業所と委託契約を新たに締結した場合には、福祉事業所に支払う工賃を補助する事業もごさいます。別途ご相談ください。</p> | | 農林事務所 (上段) 企画調整部門畜産振興課 (下段) 経営・普及部門 | 地域農業改良普及センター | 県北 | 常陸太田：0294-87-6680 0294-80-3340 | 常陸大宮：0295-53-0116 | 県央 | 水戸：029-231-0476 029-227-1521 | 笠間：0296-72-0701 | 鹿行 | 鉾田：0291-33-4118 0291-33-6193 | 行方：0299-72-0256 | 県南 | 土浦：029-822-8521 029-822-8517 | 稲敷：029-892-2934 つくば：029-836-1109 | 県西 | 筑西：0296-24-9166 0296-24-9206 | 結城：0296-48-0184 坂東：0297-34-2134 |
| | 農林事務所 (上段) 企画調整部門畜産振興課 (下段) 経営・普及部門 | 地域農業改良普及センター | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 県北 | 常陸太田：0294-87-6680 0294-80-3340 | 常陸大宮：0295-53-0116 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 県央 | 水戸：029-231-0476 029-227-1521 | 笠間：0296-72-0701 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 鹿行 | 鉾田：0291-33-4118 0291-33-6193 | 行方：0299-72-0256 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 県南 | 土浦：029-822-8521 029-822-8517 | 稲敷：029-892-2934 つくば：029-836-1109 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 県西 | 筑西：0296-24-9166 0296-24-9206 | 結城：0296-48-0184 坂東：0297-34-2134 | | | | | | | | | | | | | | | | | |

農産物の付加価値向上に取り組みたい

| | |
|-------------|--|
| 事業名 | 6次産業化総合支援事業（アグリビジネス講座の開催） |
| 分類 | 【6次産業化】 |
| 事業要旨 | 事業計画の作成、経営・販売ノウハウ、商談スキルなどを学ぶ講座を開催し、農産物の付加価値向上に取り組む農業者等を支援します。 |
| 事業概要 | <p>〔事業主体（事業対象）〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たに6次産業化に取り組む意欲のある農業者等 ・6次産業化の事業計画を見直したい農業者等 <p>〔事業内容〕</p> <p>6次産業化に取り組むうえでの課題解決や経営・商談・販売に向けたノウハウの習得及び事業計画の作成方法の習得及び作成した事業計画のブラッシュアップを図る。</p> <p>〔開催時期〕</p> <p>9月～11月（予定）</p> <p>〔募集人数〕</p> <p>20名程度</p> <p>〔受講料〕</p> <p>受講料は無料。ただし、実習等で必要となる交通費等の経費については受講者が負担するものとする。</p> |
| 問合せ先 | ◆農業技術課 研究・普及G TEL：029-301-3936 |

加工食品を開発したい

| 事業名 | 6次産業化総合支援事業（6次産業化オープンラボトリーの設置） | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------|---|-------------------------------------|--------------|--------------|----|-------------------|-------------------|----|-----------------|-----------------|----|-----------------|-----------------|----|-----------------|-------------------------------------|----|-----------------|------------------------------------|
| 分類 | 【6次産業化】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業要旨 | 6次産業化オープンラボトリー（開放実験室）の設置により、6次産業化に取り組む農業者を支援します。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業概要 | <p>〔事業主体〕 茨城県</p> <p>〔事業対象〕 6次産業化に取り組む農業者 これから6次産業化を目指して農産加工活動に取り組む予定の農業者等</p> <p>〔事業内容〕 （1）上記事業対象に該当する方は、農産物の加工による試作・商品開発をするための機材を整備した6次産業化オープンラボトリーを活用できます。 （2）農産加工や衛生管理等の専門知識を有する指導員から、加工技術や商品開発に対する助言・指導を受けることができます。</p> <p>〔利用手続き〕 施設を利用する場合は事前にご相談が必要です。 最寄りの農林事務所経営・普及部門または農業改良普及センターを通してご相談ください。</p> <p>〔留意事項〕 施設利用料は無料ですが、実験材料（調味料などを含む）は利用者をご用意ください。 （事前に指導員との打合せを行って準備してください）</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 問合せ先 | <p>◆農業総合センター農産加工指導センター TEL：0299-48-2801</p> <p>◆最寄りの農林事務所 経営・普及部門または地域農業改良普及センター</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 45%;">農林事務所経営・普及部門</th> <th style="width: 45%;">地域農業改良普及センター</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県北</td> <td>常陸太田：0294-80-3340</td> <td>常陸大宮：0295-53-0116</td> </tr> <tr> <td>県央</td> <td>水戸：029-227-1521</td> <td>笠間：0296-72-0701</td> </tr> <tr> <td>鹿行</td> <td>鉾田：0291-33-6193</td> <td>行方：0299-72-0256</td> </tr> <tr> <td>県南</td> <td>土浦：029-822-7242</td> <td>稲敷：029-892-2934 つくば：029-836-1109</td> </tr> <tr> <td>県西</td> <td>筑西：0296-24-9206</td> <td>結城：0296-48-0184 坂東：0297-34-2134</td> </tr> </tbody> </table> | | 農林事務所経営・普及部門 | 地域農業改良普及センター | 県北 | 常陸太田：0294-80-3340 | 常陸大宮：0295-53-0116 | 県央 | 水戸：029-227-1521 | 笠間：0296-72-0701 | 鹿行 | 鉾田：0291-33-6193 | 行方：0299-72-0256 | 県南 | 土浦：029-822-7242 | 稲敷：029-892-2934 つくば：029-836-1109 | 県西 | 筑西：0296-24-9206 | 結城：0296-48-0184 坂東：0297-34-2134 |
| | 農林事務所経営・普及部門 | 地域農業改良普及センター | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 県北 | 常陸太田：0294-80-3340 | 常陸大宮：0295-53-0116 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 県央 | 水戸：029-227-1521 | 笠間：0296-72-0701 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 鹿行 | 鉾田：0291-33-6193 | 行方：0299-72-0256 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 県南 | 土浦：029-822-7242 | 稲敷：029-892-2934 つくば：029-836-1109 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 県西 | 筑西：0296-24-9206 | 結城：0296-48-0184 坂東：0297-34-2134 | | | | | | | | | | | | | | | | | |

輸出に向けた産地づくりを行いたい

| | |
|-------------|--|
| 事業名 | いばらき大規模輸出産地モデル形成等支援事業 |
| 分類 | 【輸出・販路拡大】 |
| 事業要旨 | 輸出に意欲的な産地・農業者が、輸出先国のニーズや規制等に対応したグローバル産地の形成を図る取組みを支援します。 |
| 事業概要 | <p>〔事業主体（事業対象）〕 農林漁業者、食品等製造事業者、食品等流通事業者、輸出事業者、農林漁業者の組織する団体、商工業者の組織する団体、金融機関等により構成された協議会等</p> <p>〔事業内容〕 海外の規制・ニーズに対応したグローバルに通用する持続的な生産への転換や流通体系の転換に取り組み、国内生産基盤の維持・強化を図る大規模輸出産地のモデル構築を支援します。</p> <p>(1) 地域の関係者による輸出推進体制の組織化 輸出産地・事業者、JA 系統、輸出商社、物流業者等が参画した輸出推進体制を組織化する取組。</p> <p>(2) 生産・流通体系の転換を通じた大規模輸出産地のモデル構築 (1)の推進体制の下、輸出先国の規制・ニーズに対応した農林水産物・食品を安定的に供給する大規模な輸出産地を育成し、国内生産基盤の維持・強化を図る取組。</p> <p>〔対象経費〕 上記(1)及び(2)の事業について、それに要する経費。 ※(1)及び(2)の全ての事業を実施することとする。</p> <p>〔補助限度額・補助率〕 定額（国 10/10） ※補助上限については、下記問合せ先にお問い合わせください。</p> |
| 問合せ先 | ◆営業戦略部 販売戦略課 戦略・分析G TEL：029-301-3966 |

農産物等の販路開拓に取り組みたい

| | |
|-------------|---|
| 事業名 | 販路開拓チャレンジ事業（首都圏等向け販路開拓に対する支援） |
| 分類 | 【輸出・販路拡大】 |
| 事業要旨 | 商談会の開催等により、新たな販路の開拓を支援します。 |
| 事業概要 | <p>〔事業主体〕 茨城県</p> <p>〔事業対象〕 首都圏等での販路開拓に意欲的な生産者</p> <p>〔事業内容〕 農産物の生産者とバイヤー等（仲卸業者・量販店・ホテル事業者・飲食店・EC事業者等）とのマッチングを図る商談会の開催等により、本県農産物の販路開拓を図ります。</p> <p>〔実施内容〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施回数：年2回（予定）、 ・定員数：各30名程度（予定） ・参加費：無料（交通費等の経費については参加者負担） |
| 問合せ先 | ◆営業戦略部 県産品販売課 青果物G TEL：029-301-2855 |

農産物等を輸出したい

| | |
|-------------|--|
| 事業名 | いばらきグローバルビジネス推進事業（いばらきグローバルビジネス推進協議会） |
| 分類 | 【輸出・販路拡大】 |
| 事業要旨 | いばらきグローバルビジネス推進協議会会員に対して、輸出に関する情報提供を行うほか、セミナーの開催等による輸出ノウハウの向上や海外バイヤーとの商談機会の充実を図ります。 |
| 事業概要 | <p>〔事業主体〕 いばらきグローバルビジネス推進協議会</p> <p>〔事業対象〕 県産農林水産物等の輸出に意欲的である農業者等 ※協議会への申込手続きが必要となります（入会費、年会費不要）</p> <p>〔事業内容〕 （1）会員間における意見交換会の開催 （2）海外バイヤーとの商談機会の提供 （3）メーリングリストによる商談会情報や海外の輸入制度等についての情報提供</p> <p>〔いばらきグローバルビジネス推進協議会について〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 目的：海外でのビジネスにチャレンジする中小企業・農業者等の支援を通じて、海外進出及び輸出を促進し、経済のグローバル化に対応した本県産業の振興を図る。 ・ 設立日：令和元年5月24日 ・ 会員数：のべ359の企業・団体等（うち254の企業・団体等で食品部会を構成） （令和8年2月末現在） |
| 問合せ先 | <p>◆いばらきグローバルビジネス推進協議会事務局 （営業戦略部 県産品販売課） TEL：029-301-3529</p> |

都市農村交流により地域を活性化したい

| | |
|-------------|--|
| 事業名 | 農山漁村振興交付金（地域資源活用価値創出対策）のうち 地域資源活用価値創出推進事業（地域活性化型）、 地域資源活用価値創出推進・整備事業（農泊推進型） |
| 分類 | 【農村活性化、都市農村交流】 |
| 事業要旨 | 農山漁村の地域住民が生き生きと暮らしていける環境創出のきっかけづくりや、地域資源を活用した観光コンテンツを創出し、「農泊」をビジネスとして実施できる体制を有した地域づくりを支援します。 |
| 事業概要 | <p>1 地域資源活用価値創出推進事業（地域活性化型） 活動計画策定事業</p> <p>〔事業主体（事業対象）〕 市町村を構成員に含む地域協議会</p> <p>〔事業内容〕 ア アドバイザーを活用したワークショップ等を通じた地域の活動計画の策定 イ 活動計画に掲げられた取組を実施するための体制構築、実証活動等</p> <p>〔補助限度額等〕 事業期間：2年間 交付率：定額（上限1年目500万円、2年目250万円等）</p> |

2 地域資源活用価値創出推進・整備事業（農泊推進型）

(1) 地域資源活用価値創出推進事業（農泊推進型）

【事業主体（事業対象）】

地域協議会、民間企業等

【事業内容】

① 農泊推進事業

ア 農泊地域創出タイプ

農泊をビジネスとして実施できる体制の整備、観光コンテンツの磨き上げ等に要する経費を支援

イ 農泊地域経営強化タイプ

地域協議会内の宿泊・食事・体験等の観光コンテンツの単価引き上げやDX等の生産性向上によるコスト節減等により高付加価値化を目指す新たな取組に要する経費を支援

ウ インバウンド食関連消費拡大タイプ

輸出産地等との連携による「食」に特化した高付加価値コンテンツの造成等を支援

② 人材活用事業

「地域協議会の事務局業務や観光コンテンツの提供などを担う地域外の人材（研修生）」又は「地域内に無い専門知識を持つ人材（専門家）」の雇用等に要する経費を支援

③ 広域ネットワーク推進事業

戦略的な国内外へのプロモーション、課題を抱える地域への専門家派遣・指導、ニーズ調査等を支援

【補助限度額等】

① ア 上限2年間、交付率定額（上限500万円/年等）

イ 上限2年間、交付率定額（上限250万円/年等）

ウ 上限3年間、交付率定額（上限500万円/年等）

② 期間は上限①に準ずる、交付率定額（上限250万円/研修生タイプ、
上限650万円/専門家タイプ）

③ 上限1年、交付率定額（上限250万円等）

(2) 地域資源活用価値創出整備事業（農泊推進型）

【事業主体】

ア 市町村、地域協議会の中核法人、農業協同組合等

イ 地域協議会と農家民泊経営者等との連携体

【事業内容】

ア 市町村・中核法人実施型

古民家、廃校舎等を活用した滞在施設、農山漁村体験施設等の整備

イ 農家民泊経営者等実施型

農家民泊等における小規模な改修（簡易宿所の営業許可の取得に最低限必要となる設備や、宿泊施設の質の向上のための設備の整備）

【補助限度額等】

ア 上限2年間、交付率1/2（上限2,500万円等）

イ 1年間、交付率1/2（上限5,000万円（経営者等1名当たり上限1,000万円））

問合せ先

◆農村計画課 農村活性化G TEL：029-301-4264

地域間交流の促進等により農山漁村の活性化を図りたい

| | |
|-------------|---|
| 事業名 | 農山漁村振興交付金（地域資源活用価値創出対策）のうち 地域資源活用価値創出整備事業（定住促進・交流対策型） |
| 分類 | 【農村活性化、都市農村交流】 |
| 事業要旨 | 市町村等が作成する活性化計画に基づき、農山漁村における定住・交流の促進、農業者の所得向上や雇用の増大等、農山漁村の活性化を図るために必要となる農産物加工・販売施設、地域間交流拠点等の整備を支援します。 |
| 事業概要 | <p>〔事業主体〕 都道府県、市町村、土地改良区、農業協同組合、森林組合、漁業協同組合、PFI 事業者、NPO 法人、農林漁業者等の組織する団体 等</p> <p>〔事業内容〕</p> <p>(1) 生産基盤及び施設 農林漁業の振興を図る生産施設等の整備を支援 (生産機械施設、処理加工・集出荷貯蔵施設 等)</p> <p>(2) 生活環境施設 良好な生活の場である農山漁村の生活環境整備を支援 (簡易給排水施設、農山漁村定住促進施設 等)</p> <p>(3) 地域間交流拠点施設 都市住民や一時的・短期的滞在等の交流拠点の整備を支援 (廃校・廃屋等改修交流施設、農林漁業・農山漁村体験施設、地域連携販売力強化施設 等)</p> <p>(4) その他 (自然・資源活用施設、指定棚田地域保全整備 等)</p> <p>〔補助要件等〕 農山漁村活性化法に基づく活性化計画（計画期間：3～5年程度）を策定すること。 (都道府県または市町村が単独または共同で作成) ※事業メニューにより五法指定地域等や受益面積、他の計画策定といった要件があります。 ※「五法指定地域等」とは、①振興山村地域、②過疎地域、③離島地域、④半島地域、⑤特定農山村地域、⑥上記①から⑤に準ずる地域であって、人口が相当程度減少し、かつ、高齢化が著しく進行している地域など計画主体が特に必要と認める地域をいう。</p> <p>〔対象経費〕 対象事業の実施に要する経費</p> <p>〔補助限度額・補助率〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 交付率：1/2 以内 ・ 交付対象事業費の上限：国費として4億円まで ・ 事業内容(3)の地域間交流拠点の整備では、延べ床面積の合計が1,500㎡以内かつ1㎡あたり29万円以内とする。 |
| 問合せ先 | ◆農村計画課 農村活性化G TEL：029-301-4264 |

市民農園を開設したい

| 事業名 | 市民農園開設支援 | | | | | | | | | | |
|--|---|---------------------------|-------|------|----|--------|------|--|--|---------------------------|-------|
| 分類 | 【農村活性化、都市農村交流】 | | | | | | | | | | |
| 事業要旨 | 耕作放棄地の解消・発生防止、都市住民の利用による農村地域の活性化などの効果が見込まれる市民農園の開設を支援します。 | | | | | | | | | | |
| 事業概要 | <p>〔事業主体（事業対象）〕 地方公共団体、農協、農地所有者、NPO 法人、企業、個人等</p> <p>〔支援内容〕</p> <p>(1) 市民農園の開設・運営に関する各種相談（開設手続、活用可能な補助事業の紹介等）</p> <p>(2) ホームページ「いばらきのグリーン・ツーリズム」による県内市民農園情報の発信</p> <p><主な活用可能補助事業></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">事業等名</th> <th style="width: 40%;">内容</th> <th style="width: 20%;">主な実施主体</th> <th style="width: 15%;">補助率等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>農山漁村振興交付金 （地域資源活用価値創出対策のうち地域資源活用価値創出整備事業（定住促進・交流対策型））</td> <td>都道府県や市町村が計画主体となり、農山漁村における定住・交流の促進、農山漁村の活性化のために必要となる地域間交流拠点施設の整備として、体験農園・市民農園の整備が可能</td> <td>都道府県、市町村、JA、農林漁業者の組織する団体等</td> <td>1/2 等</td> </tr> </tbody> </table> <p>〔開設方法〕</p> <p>(1) 「市民農園整備促進法」による開設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農地とそれに農機具庫やトイレなどの付帯設備を設置して市民農園を開設する場合のルールを定めた法律です。 ・市民農園の開設できる場所は、市民農園区域または市街化区域に限られます。 <p>(2) 「特定農地貸付法」による開設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小面積に区切られた農地を利用者が借りることのできる、農地法の特例です。 ・利用者あたりの利用面積は 10a 未満とする等の開設要件を満たす必要があります。 <p>(3) 「農園利用方式」による開設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業経営は農家が行い、利用者が農作業を手伝う方式です。 ・開設者（農家）と利用者は農作業に関する契約を結ぶことが必要です。 ・農地の貸し借りは伴いません。 <p>※開設方法により、開設場所や開設要件、開設手続等が異なります。</p> | | | 事業等名 | 内容 | 主な実施主体 | 補助率等 | 農山漁村振興交付金 （地域資源活用価値創出対策のうち地域資源活用価値創出整備事業（定住促進・交流対策型）） | 都道府県や市町村が計画主体となり、農山漁村における定住・交流の促進、農山漁村の活性化のために必要となる地域間交流拠点施設の整備として、体験農園・市民農園の整備が可能 | 都道府県、市町村、JA、農林漁業者の組織する団体等 | 1/2 等 |
| 事業等名 | 内容 | 主な実施主体 | 補助率等 | | | | | | | | |
| 農山漁村振興交付金 （地域資源活用価値創出対策のうち地域資源活用価値創出整備事業（定住促進・交流対策型）） | 都道府県や市町村が計画主体となり、農山漁村における定住・交流の促進、農山漁村の活性化のために必要となる地域間交流拠点施設の整備として、体験農園・市民農園の整備が可能 | 都道府県、市町村、JA、農林漁業者の組織する団体等 | 1/2 等 | | | | | | | | |
| 問合せ先 | ◆農村計画課 農村活性化G TEL：029-301-4264 | | | | | | | | | | |

農家民宿を開設したい

| | |
|-------------|---|
| 事業名 | 農家民宿開設支援 |
| 分類 | 【農村活性化、都市農村交流】 |
| 事業要旨 | 農林漁業者等が営業する、農林漁業に関する作業体験、農林水産物の加工又は調理体験、農山漁村の生活および文化に触れる体験等を提供する宿泊施設「農家民宿」の開設を支援します。 |
| 事業概要 | <p>〔事業主体（事業対象）〕 農林漁業者等</p> <p>〔支援内容〕 (1) ホームページ「いばらきのグリーン・ツーリズム」や、グリーンツーリズム体験ガイドブック「いばらきとあそぼ。」による県内農家民宿情報の発信 (2) パンフレット「農家民宿開業の手引き」の配布 (3) 農家民宿の開設手続きなどに関する相談</p> <p>〔開設方法〕 ※旅館業法に基づく営業許可申請を行う場合 開業までの手続きの流れは以下のとおりですが、まずは農家民宿の開業計画について概要を整理して、市町村や県農業改良普及センター等へ相談してください。 (1) 農家民宿の開業計画について概要を整理して相談（→市町村等） (2) 地域指定の有無や地目の種類など土地について確認（→市町村等） 新築する場所が、自然公園内や市街化調整区域内に該当する場合は、それに応じた各許可申請等が必要となります。 ※市街化調整区域内の場合、都市計画法の許可が別途必要となります。 なお、都市計画法の許可を受ける場合は、事前に県農村計画課へ「農林漁業体験民宿業に係る施設等の証明願」の申請が必要となります。 (3) 保健所に相談し、必要な許認可と各施設の基準等を確認（→保健所） (4) 消防設備について相談（→消防署） (5) 排水に関する手続き（→県民センター環境・保安課等） (6) 建築確認が必要な場合は、建築確認申請を提出（→各市建築担当課、県民センター建築指導課等） (7) 工事の着手・完了 建築確認を申請した場合は、完了検査申請書を提出し、検査を受検します。 (8) 消防用設備等の申請（→消防署） (9) 旅館業法による営業許可申請（→保健所）</p> <p>※開業にあたっては、既存の家屋を利用、空き家や空き部屋を利用、新築などいろいろな場合が考えられます。また、食事の提供方式も、自炊型、1泊2食型など様々です。どの場所でどのような形態で開設するかによって手続きが異なります。</p> <p>※住宅宿泊事業法に基づく届出をして農家民宿を開業したい場合は、県生活衛生課までお問合せください。(TEL：029-301-3414)</p> |
| 問合せ先 | ◆農村計画課 農村活性化G TEL：029-301-4264 |

未利用資源の活用等を通じて山村の所得や雇用の増大を図りたい

| | |
|-------------|---|
| 事業名 | 農山漁村振興交付金（山村活性化支援交付金）のうち山村活性化対策事業 |
| 分類 | 【農村活性化、都市農村交流】 |
| 事業要旨 | 山村の活性化を図るため、山村の特色ある地域資源の活用等を通じた所得・雇用の増大を図る取組を支援します。 |
| 事業概要 | <p>〔事業主体（事業対象）〕 振興山村を有する市町村、振興山村を有する市町村を構成員に含む地域協議会</p> <p>〔対象地域〕 山村振興法のに基づき指定された振興山村</p> <p>〔事業内容〕 山村の特色ある地域資源の潜在力を再評価し、それらを地域ぐるみで活用するためのソフト面の取組（組織・体制づくり、人材育成、付加価値向上等）を支援。 (1) 地域資源の賦存・利用状況等の調査 (2) 地域資源を活用するための合意形成、組織づくり、人材育成 (3) 地域資源の消費拡大や付加価値向上等を図る取組及び販売促進</p> <p>〔補助要件等〕 山村振興法に基づき指定された振興山村、かつ当該振興山村における山村振興計画（H27法改正を踏まえたもの）が作成されていること。</p> <p>〔事業期間〕 上限3年間</p> <p>〔補助限度額・補助率〕 補助率：定額 上限1,000万円/年/地区</p> <p>〔対象経費〕 役務費、委託料、資材等購入費、機械賃料、人件費、旅費 等</p> <p style="text-align: center;">※事業実施主体は、事業開始年度において、事業実施計画を直接、関東農政局に提出する。なお、事業実施計画の作成にあたっては、県と調整をすること。</p> |
| 問合せ先 | ◆農村計画課 農村活性化G TEL：029-301-4264 |

農業生産条件が不利な中山間地域等で農業を続けたい

| 事業名 | 中山間地域等直接支払交付金 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------|---|------------------------------------|---|-----------------------|----------|-----|-----------|---|-----|-----------|---|-------|---------------------------|--------------------------------|-----|----|---|------|-----------|-----------|-----|---|-------------------------|-----|------|---|-------|---------------------------|------------------------------------|-----|------------|---|-----|----|---|---------|-------|---|-----|----|---|-----|----|---|-----|----------|------|-----|----|---|-----|----|---|-----|----|---|----|----|-----------------|--|---|-------------|--------|---|--------------|-------|---|------------|--------|-----------|-------|
| 分類 | 【農村活性化、都市農村交流】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業要旨 | 農業生産条件の不利な中山間地域等において、担い手の育成等による農業生産の維持を通じて、耕作放棄の発生防止や多面的機能を確保するため、直接支払を行います。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業概要 | <p>〔事業主体〕 農業者の組織する団体等（集落等）</p> <p>〔事業対象〕 農業者、新規就農者、農業者組織、その他</p> <p>〔事業内容〕 急傾斜等条件不利な農地を対象に、集落協定または個別協定に基づき5年以上継続して農業生産活動等を行う農業者等に対して、交付金を直接支払います。</p> <p>〔補助要件等〕 山村振興法、過疎法、特定農山村法、棚田地域振興法に基づく指定地域、または知事特認地域において、傾斜等の基準を満たしていること。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">市町村名</th> <th style="width: 40%;">特定農山村法、山村振興法、過疎法の指定地域</th> <th style="width: 40%;">県知事の特認地域</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日立市</td> <td>旧十王町、㊤中里村</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td>古河市</td> <td>㊤岡郷村、旧三和町</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td>常陸太田市</td> <td>㊤誉田村、㊤河内村、旧金砂郷町、旧水府村、旧里美村</td> <td>㊤機初村、㊤世矢村、㊤西小沢村、㊤幸久村、㊤佐竹村、㊤佐都村</td> </tr> <tr> <td>高萩市</td> <td>全域</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td>北茨城市</td> <td>㊤関本村、㊤華川村</td> <td>旧磯原町、旧関南村</td> </tr> <tr> <td>笠間市</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td>㊤大池田村、㊤北山内村、㊤南山内村、㊤西山内村</td> </tr> <tr> <td>潮来市</td> <td>旧牛堀町</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td>常陸大宮市</td> <td>旧御前山村、旧山方町、旧美和村、旧緒川村、㊤大場村</td> <td>旧大宮町（㊤大賀村、㊤世喜村、㊤上野村、㊤静村、㊤塩田村、㊤玉川村）</td> </tr> <tr> <td>坂東市</td> <td>㊤生子菅村、㊤沓掛村</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td>稲敷市</td> <td>全域</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td>かすみがうら市</td> <td>旧霞ヶ浦町</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td>桜川市</td> <td>全域</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td>行方市</td> <td>全域</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td>城里町</td> <td>旧七会村、旧桂村</td> <td>旧常北町</td> </tr> <tr> <td>大子町</td> <td>全域</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td>河内町</td> <td>全域</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td>利根町</td> <td>全域</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> </tbody> </table> <p>※（注）㊤は、昭和25年2月1日当時の市町村名</p> <p>〔対象経費〕 下表の交付単価により、交付対象農用地面積に応じて交付</p> <p>〔補助限度額・補助率（田・畑）〕</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">地目</th> <th style="width: 30%;">区分</th> <th style="width: 20%;">交付単価 (円/10a)</th> <th style="width: 40%;"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">田</td> <td>急傾斜（1/20以上）</td> <td style="text-align: center;">21,000</td> <td rowspan="4" style="vertical-align: top; padding-left: 10px;">※その他、各種要件を満たすことにより、「棚田地域振興活動加算」では傾斜条件により最大14,000円/10a、「ネットワーク化加算」では面積条件により最大10,000円/10a等の加算措置を受けることができます。</td> </tr> <tr> <td>緩傾斜（1/100以上）</td> <td style="text-align: center;">8,000</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">畑</td> <td>急傾斜（15°以上）</td> <td style="text-align: center;">11,500</td> </tr> <tr> <td>緩傾斜（8°以上）</td> <td style="text-align: center;">3,500</td> </tr> </tbody> </table> | | 市町村名 | 特定農山村法、山村振興法、過疎法の指定地域 | 県知事の特認地域 | 日立市 | 旧十王町、㊤中里村 | — | 古河市 | ㊤岡郷村、旧三和町 | — | 常陸太田市 | ㊤誉田村、㊤河内村、旧金砂郷町、旧水府村、旧里美村 | ㊤機初村、㊤世矢村、㊤西小沢村、㊤幸久村、㊤佐竹村、㊤佐都村 | 高萩市 | 全域 | — | 北茨城市 | ㊤関本村、㊤華川村 | 旧磯原町、旧関南村 | 笠間市 | — | ㊤大池田村、㊤北山内村、㊤南山内村、㊤西山内村 | 潮来市 | 旧牛堀町 | — | 常陸大宮市 | 旧御前山村、旧山方町、旧美和村、旧緒川村、㊤大場村 | 旧大宮町（㊤大賀村、㊤世喜村、㊤上野村、㊤静村、㊤塩田村、㊤玉川村） | 坂東市 | ㊤生子菅村、㊤沓掛村 | — | 稲敷市 | 全域 | — | かすみがうら市 | 旧霞ヶ浦町 | — | 桜川市 | 全域 | — | 行方市 | 全域 | — | 城里町 | 旧七会村、旧桂村 | 旧常北町 | 大子町 | 全域 | — | 河内町 | 全域 | — | 利根町 | 全域 | — | 地目 | 区分 | 交付単価 (円/10a) | | 田 | 急傾斜（1/20以上） | 21,000 | ※その他、各種要件を満たすことにより、「棚田地域振興活動加算」では傾斜条件により最大14,000円/10a、「ネットワーク化加算」では面積条件により最大10,000円/10a等の加算措置を受けることができます。 | 緩傾斜（1/100以上） | 8,000 | 畑 | 急傾斜（15°以上） | 11,500 | 緩傾斜（8°以上） | 3,500 |
| 市町村名 | 特定農山村法、山村振興法、過疎法の指定地域 | 県知事の特認地域 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 日立市 | 旧十王町、㊤中里村 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 古河市 | ㊤岡郷村、旧三和町 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 常陸太田市 | ㊤誉田村、㊤河内村、旧金砂郷町、旧水府村、旧里美村 | ㊤機初村、㊤世矢村、㊤西小沢村、㊤幸久村、㊤佐竹村、㊤佐都村 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 高萩市 | 全域 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 北茨城市 | ㊤関本村、㊤華川村 | 旧磯原町、旧関南村 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 笠間市 | — | ㊤大池田村、㊤北山内村、㊤南山内村、㊤西山内村 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 潮来市 | 旧牛堀町 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 常陸大宮市 | 旧御前山村、旧山方町、旧美和村、旧緒川村、㊤大場村 | 旧大宮町（㊤大賀村、㊤世喜村、㊤上野村、㊤静村、㊤塩田村、㊤玉川村） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 坂東市 | ㊤生子菅村、㊤沓掛村 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 稲敷市 | 全域 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| かすみがうら市 | 旧霞ヶ浦町 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 桜川市 | 全域 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 行方市 | 全域 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 城里町 | 旧七会村、旧桂村 | 旧常北町 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 大子町 | 全域 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 河内町 | 全域 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 利根町 | 全域 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 地目 | 区分 | 交付単価 (円/10a) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 田 | 急傾斜（1/20以上） | 21,000 | ※その他、各種要件を満たすことにより、「棚田地域振興活動加算」では傾斜条件により最大14,000円/10a、「ネットワーク化加算」では面積条件により最大10,000円/10a等の加算措置を受けることができます。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 緩傾斜（1/100以上） | 8,000 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 畑 | 急傾斜（15°以上） | 11,500 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 緩傾斜（8°以上） | 3,500 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 問合せ先 | ◆農地整備課 農村環境農道G TEL：029-301-4259 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

鳥獣による農作物被害を減らしたい

| | |
|-------------|--|
| 事業名 | 鳥獣被害防止総合対策事業 |
| 分類 | 【鳥獣被害対策】 |
| 事業要旨 | わなの購入等被害防止体制を整備するための経費、有害鳥獣捕獲に関する経費、鳥獣被害防止施設等の整備の経費を助成することにより、農業者の鳥獣被害防止活動を支援して、被害額の減少による経営の安定化を図ります。 |
| 事業概要 | <p>1 地域ぐるみの被害防止対策に関する経費の支援</p> <p>(1) 鳥獣被害防止総合支援事業（推進事業）（わなの購入等被害防止体制の整備）</p> <p>【事業主体（事業対象）】 地域協議会</p> <p>【事業内容】 地域協議会等が実施する、鳥獣被害防止対策に関する経費の助成 推進体制の整備、有害鳥獣捕獲（箱わな等の購入、研修会開催等）、 被害防除（追払い・追上げ等）</p> <p>【対象経費】 推進体制の整備・・・会場借料、印刷費及び製本費、郵便料など 有害捕獲・・・捕獲活動への役務要請に対する賃金、捕獲に必要な機材 （箱わな、くくりわな）の費用など 被害防除・・・追払い・追上げ活動への役務要請に対する賃金など</p> <p>【補助限度額・補助率】 原則国 1/2 以内（定額の場合あり）</p> <p>(2) 鳥獣被害防止環境整備支援事業（イノシシを近づけない環境整備）</p> <p>【事業主体（事業対象）】 地域協議会</p> <p>【事業内容】 地域協議会等が実施する、緩衝帯整備等の生息環境管理に関する経費の助成</p> <p>【対象経費】 緩衝帯等の整備活動への役務要請に対する賃金など</p> <p>【補助限度額・補助率】 原則国 1/2 以内（定額の場合あり）。事業主体負担分の 1/2 を県補助。</p> <p>2 有害捕獲に関する経費の支援</p> <p>(1) 鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業</p> <p>【事業主体（事業対象）】 地域協議会、市町村</p> <p>【事業内容】 農林水産業に被害を及ぼす野生有害鳥獣捕獲を緊急的に行うための経費の助成</p> <p>【対象経費】 有害鳥獣捕獲活動に要する経費 （有害鳥獣捕獲許可に基づき捕獲されたものに限る。）等</p> <p>【補助限度額・補助率】 定額（上限単価あり）</p> <p>(2) 鳥獣被害防止緊急捕獲活動促進事業</p> <p>【事業主体】 地域協議会、市町村</p> <p>【事業内容】 2-(1)の緊急捕獲活動支援事業（国補）を活用している市町村が実施する 有害鳥獣捕獲報奨金に対する上乗せ助成</p> <p>【対象経費】 （1）に上乗せして市町村が支出する捕獲奨励金等</p> <p>【補助限度額・補助率】 市町村負担額と同額（上限単価あり）</p> |

| | |
|-------------|---|
| | <p>3 鳥獣被害防止施設・処理加工施設の整備に関する経費の支援</p> <p>(1) 鳥獣被害防止総合支援事業（整備事業） 【事業主体（事業対象）】 地域協議会及びその構成員 【事業内容】 鳥獣被害防止施設（原則受益者3戸以上での電気柵設置等）、処理加工施設の整備の経費の助成 【対象経費】 鳥獣被害防止施設（新規・再編）及び処理加工施設の整備に要する経費 【補助限度額・補助率】 原則国1/2以内（自力施工の場合、定額）</p> <p>(2) 鳥獣被害防止施設整備支援事業 【事業主体（事業対象）】 市町村 【事業内容】 国補助対象とならない鳥獣被害防止施設の設置に対し市町村が補助を実施する場合に同額を助成（受益者3戸未満） 【対象経費】 市町村が支出する鳥獣被害防止施設の設置に関する補助金 【補助限度額・補助率】 市町村負担額と同額（上限6万円）</p> <p>〔1～3に関する補助要件等〕 被害防止計画が作成されている又は作成されることが確実に見込まれること 等</p> |
| <p>問合せ先</p> | <p>◆農村計画課 農村活性化G TEL：029-301-4264</p> |

環境にやさしい農業の取組に対する支援を受けたい

| | | | | | | | | | | | | | |
|-------------|---|----|--------------|----|--------------|----|--------------|----|--------------|----|--------------|--|--|
| 事業名 | 環境保全型農業直接支払事業 | | | | | | | | | | | | |
| 分類 | 【環境保全型農業】 | | | | | | | | | | | | |
| 事業要旨 | 環境保全を重視した農業へ転換するため、地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動に取り組む農業者に対し、当該営農活動の実施に伴う追加的コストを支援します。 | | | | | | | | | | | | |
| 事業概要 | <p>〔事業主体（事業対象）〕 農業者の組織する団体、一定の条件を満たす農業者等</p> <p>〔事業内容〕 化学肥料・化学合成農薬の使用を県の慣行レベルから原則5割以上低減する取組又は有機農業の取組と併せて、地球温暖化防止・生物多様性保全に効果の高い営農活動に取り組む農業者に対し、国・市町村とともに掛かり増し経費を支援。</p> <p>〔補助要件等〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主作物について販売することを目的に生産を行っていること。 ・環境負荷低減のチェックシートの各取組にチェックした上で、提出すること。 ・環境保全型農業の取組を広げる活動（技術向上や理解促進に係る活動等）に取り組むこと。 <p>〔対象経費〕 生産資材等の掛かり増し経費について、取組内容別に一定額を支援。 <全国共通取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・有機農業（「国際水準の有機農業」＝有機 JAS 水準に合致する取組） ・堆肥の施用 ・緑肥の施用 ・総合防除 ・炭の投入 <p>〔補助限度額・補助率〕 支援単価 上限 16,000 円/10a（補助率 国：1/2、県：1/4、市町村：1/4） ※取組内容によって支援単価は異なる。 ※国の予算の範囲内で交付金を交付するため、申請額の全国合計が予算額を上回った場合、交付額が減額されることがある。</p> | | | | | | | | | | | | |
| 問合せ先 | <p>◆農業技術課 有機農業・気候変動対策推進室 TEL：029-301-3931 ◆最寄りの農林事務所 企画調整部門 振興・環境室 農業振興課</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <tr> <td style="width: 33%;">県北</td> <td style="width: 33%;">0294-80-3303</td> <td style="width: 33%;">県央</td> <td style="width: 33%;">029-221-3034</td> <td style="width: 33%;">鹿行</td> <td style="width: 33%;">0291-33-4117</td> </tr> <tr> <td>県南</td> <td>029-822-7086</td> <td>県西</td> <td>0296-24-9169</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | 県北 | 0294-80-3303 | 県央 | 029-221-3034 | 鹿行 | 0291-33-4117 | 県南 | 029-822-7086 | 県西 | 0296-24-9169 | | |
| 県北 | 0294-80-3303 | 県央 | 029-221-3034 | 鹿行 | 0291-33-4117 | | | | | | | | |
| 県南 | 029-822-7086 | 県西 | 0296-24-9169 | | | | | | | | | | |

○総合窓口

| | |
|------|--|
| 県北地域 | 県北農林事務所企画調整課 〒313-0013 常陸太田市山下町 4119 常陸太田合同庁舎内 TEL : 0294-80-3301 FAX : 0294-80-3304 |
| 県央地域 | 県央農林事務所企画調整課 〒310-0802 水戸市柵町 1-3-1 水戸合同庁舎内 TEL : 029-350-3017 FAX : 029-225-9254 |
| 鹿行地域 | 鹿行農林事務所企画調整課 〒311-1593 鉾田市鉾田 1367-3 鉾田合同庁舎内 TEL : 0291-33-6285 FAX : 0291-33-4264 |
| 県南地域 | 県南農林事務所企画調整課 〒300-0051 土浦市真鍋 5-17-26 土浦合同庁舎内 TEL : 029-822-7083 FAX : 029-822-8063 |
| 県西地域 | 県西農林事務所企画調整課 〒308-0841 筑西市二木成 615 筑西合同庁舎内 TEL : 0296-24-9164 FAX : 0296-25-3074 |

○このガイドブックについてのご質問・ご意見等については、
下記までご連絡をお願いいたします。

【編集・発行】

茨城県農林水産部 農業政策課 戦略推進グループ

〒310-8555 水戸市笠原町 978 番 6

TEL : 029-301-3828 FAX : 029-301-3847

令和8年4月 発行